

プログラム

3月19日（木） P66 ～P100

3月20日（金） P101～P131

3月21日（土） P132～P156

第31回日本災害医学会総会・学術大会 プログラム

1日目 3月19日(木)

■開会式

1日目(3月19日) 08:30～08:50

第1会場(4Fマリンホール)

■特別企画1(大会ホームページをご覧ください)

1日目(3月19日) 15:00～16:00

第1会場(4Fマリンホール)

座長 石井 正(東北大学病院 総合地域医療教育支援部)
牧野 秀夫(新潟大学 自然科学系(工学))

1-SS1 (新潟大学企画) 産学連携で取り組む災害医療DX -新潟大学の取り組み

リコージャパン株式会社 デジタルサービス営業本部 新潟支社
コーディネイト営業部 プロダクトコーディネイトグループ 大竹 隆生
ボイット株式会社 永富 泰高
株式会社BSNアイネット 成長戦略室 坂田 源彦
新潟大学大学院医歯学総合研究科 新潟地域医療学講座 災害医学・医療人育成部門 高橋 昌

■特別企画2(大会ホームページをご覧ください)

1日目(3月19日) 14:00～15:30

第2会場(2FスノーホールA)

座長 東 賢一(近畿大学 予防医学・行動科学教室)
近藤 久禎(国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)

1-SS2 (衛生学会との合同企画) 衛生学×災害医学でひらく健康危機管理キャリア ～学会横断で考える人材育成の未来～

愛知医科大学 災害医療研究センター 高橋 礼子
日本衛生学会/近畿大学 予防医学・行動科学教室 東 賢一
日本災害医学会/国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局 近藤 久禎
日本衛生学会/防衛医科大学校 衛生学公衆衛生学講座 岩澤 聡子
日本災害医学会/国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局 赤星 昂己
日本衛生学会/日本災害医学会/浜松医科大学 健康社会医学講座 尾島 俊之

■特別企画3(大会ホームページをご覧ください)

1日目(3月19日) 16:00～17:30

第2会場(2FスノーホールA)

座長 大友 康裕(国立病院機構 災害医療センター)
米田 雅子((一社)防災学術連携体/宇都宮大学)

1-SS3 (防災学術連携体共同企画) 災害を科学する～地震研究の最先端～

防災学術連携体/東京大学 平田 直
防災学術連携体/東京科学大学 和田 章
新潟大学 災害・復興科学研究所 卜部 厚志

■特別企画4

1日目 (3月19日) 15:00～16:00

第4会場 (2F中会議室201)

座長 小笠原 賢 (青森県立中央病院)

1-SS4 (緊急報告) 青森県東方沖地震における遠隔地災害拠点病院の一部避難の判断過程
— 異なる立場からみた判断と地域特性の共有 —青森県立中央病院 小笠原 賢
弘前大学 災害・被ばく医療教育センター 辻 貴清
むつ総合病院 看護局 中島さおり
弘前大学 災害・被ばく医療教育センター 伊藤 勝博

■特別企画5

1日目 (3月19日) 09:00～9:30

第5会場 (3F中会議室301)

座長 小井土雄一 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)

1-SS5 (国際委員会企画) 日本の国際医療支援40年の歩みとこれから

甲斐 達朗 (Chairman of Japan Advisory Committee for ARCH Project)

■特別企画6

1日目 (3月19日) 18:20～18:50

第5会場 (3F中会議室301)

1-SS6 (国際委員会企画) Closing Session

■特別企画7

1日目 (3月19日) 15:00～16:30

第7会場 (展示ホールA1(特設))

(学会主導研究) 成果報告会

座長 越智 小枝 (東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座)

原田奈穂子 (岡山大学学術研究院 ヘルスシステム統合科学学域 看護科学分野)

1-SS7-1 「潜在DMAT隊員の実態調査」初年度経過報告

福島県立医科大学医学部 放射線災害医療学講座 菅谷 一樹

1-SS7-2 寒冷地環境が災害救援活動及び傷病者に与える影響

日本医科大学多摩永山病院 救命救急科/日本医科大学 救急医学教室/
国際緊急援助隊 救助チーム医療班 阪本 太吾1-SS7-3 災害用段ボールベッドにおける簡易体圧分散用具の有効性：
ランダム化クロスオーバー試験

藤田医科大学保健衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻 羽柴 涼太

1-SS7-4 厳冬期から酷暑期まで、過酷な環境下で活動する救助隊員の脱水を防ぐ最適な経口
補水の検討

旭川医科大学 脳神経外科学/札幌東徳洲会病院 高橋 未来

1-SS7-5 危機時における医療体制の公正性と持続性にかかるELSIの検討

京都大学大学院文学研究科 三羽恵梨子

1-SS7-6 医療的ケア児の受け入れのための福祉避難所の課題と対応方策

鳥取大学医学部 脳神経小児科学 中村 裕子

- 1-SS7-7 地域在住高齢者における災害関連ヘルスリテラシー尺度の開発
筑波大学人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 ヒューマン・ケア科学学位プログラム 五味 朝樹
- 1-SS7-8 水害が被災地の死因に与える影響に関する研究
岡山大学病院/厚生労働省 飯田 淳義
- 1-SS7-9 災害支援に関連するメンタルヘルスの支援者現況調査
筑波大学大学院 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 医学学位プログラム 博士課程 伊藤結加里
- 1-SS7-10 病院豪雨災害対策の標準化に向けた客観的判断基準構築の試み
秋田大学大学院医学系研究科 救急集中治療医学講座 奥山 学
- 1-SS7-11 危機災害派遣者は本質的には要配慮就労者なのではないか？
－ 職場職員の危機災害派遣者受容度とその関連要因に関する実態調査
3年目経過報告
福島県立医科大学 齋藤 由美
- 1-SS7-12 脆弱な人口集団に関する保健医療・災害リスク管理政策アプローチの国際比較
東京大学大学院新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻 医療イノベーションコース/
国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 加藤真喜子
- 1-SS7-13 災害時のエッセンシャルワーカーに対する育児支援の現状と
必要な支援策に関する調査
名古屋市立大学大学院医学研究科 救命救急医療学 今井 一徳

■特別企画8 (大会ホームページをご覧ください)

1日目 (3月19日) 16:50～18:20

第7会場 (展示ホールA1(特設))

- 1-SS8 災害対応の壁を越える思考法：決め打ちと臨機対応の統合による新たなアプローチ
東北大学 災害科学国際研究所 佐々木宏之
東京都立病院機構 法人本部 中島 康

■教育講演1

1日目 (3月19日) 09:00～10:00

第1会場 (4Fマリンホール)

座長 川原千香子 (帝京大学 シミュレーション教育研究センター)

- 1-EL1 災害医学研究
学会発表を良質な論文に育てるためのポイント
国立病院機構 北海道医療センター 救急科/編集委員会 七戸 康夫

■教育講演2

1日目 (3月19日) 09:00～10:00

第2会場 (2FスノーホールA)

新潟大災害・復興研×東北大災害研合同教育セッション
「災害医療のために災害を理解する 災害科学概論」

座長 卜部 厚志 (新潟大学 災害・復興科学研究所)
佐々木宏之 (東北大学 災害科学国際研究所)

- 1-EL2-1 災害医療従事者に知っておいて欲しい地震防災の基礎知識
東北大学 災害科学国際研究所 福島 洋

- 1-EL2-2 災害医療従事者に知っておいて欲しい津波防災の基礎知識
東北大学 災害科学国際研究所 サッパシーアナワット
- 1-EL2-3 豪雨災害の発災時対応のために知っておくべきこと
東北大学 災害科学国際研究所 森口 周二
- 1-EL2-4 日本海沿岸の地形・地質環境での地震災害の特徴
新潟大学 災害・復興科学研究所 卜部 厚志

■教育講演3

1日目 (3月19日) 17:45～18:45

第2会場 (2FスノーホールA)

社会医学系専門医講習：共通講習（医療安全）

座長 中島 成隆（JA愛知厚生連 豊田厚生病院 救急科）

- 1-EL3 根本原因分析法（RCA）を災害医療の課題解決に応用しよう！
新潟大学大学院医歯学総合研究科 新潟地域医療学講座 災害医学・医療人育成部門 高橋 昌

■教育講演4

1日目 (3月19日) 09:00～10:00

第3会場 (2FスノーホールB)

座長 森田紀代造（東京慈恵会医科大学 心臓外科講座）

- 1-EL4 平時と災害時のマネジメント比較～CSCATTTを経営学的に読み解く～
神戸赤十字病院 築部 卓郎

■シンポジウム1

1日目 (3月19日) 10:10～11:40

第1会場 (4Fマリンホール)

中越のいま～中越地震の振り返り～

座長 井口清太郎（新潟大学大学院医歯学総合研究科 地域医療確保・地域医療課題解決支援講座 地域医療分野）
内藤万砂文（NPO災害医療ACT研究所／元長岡赤十字病院救命救急センター）

- 1-SY1-1 中越地震を省みる
新潟大学大学院医歯学総合研究科 地域医療確保・地域医療課題解決支援講座 地域医療分野 井口清太郎
- 1-SY1-2 小千谷総合病院における避難活動を振り返る
長岡赤十字病院 黒崎 祐也
- 1-SY1-3 プレイバック中越地震 一初めて被災地に立ったあの日から現在の支援を考える一
医療法人社団竹内会 竹内病院 ヴィラ菅谷／新潟薬科大学 臨床薬学教育研究センター 関川 敬
- 1-SY1-4 2004年中越地震における透析医療被害と災害対策体制の構築
立川総合病院 青柳 竜治
- 1-SY1-5 中越地震において新潟県福祉保健部が行った活動
新潟県三条保健所 鈴木 幸雄
- 1-SY1-6 中越地震を振り返って
一 災害時医療はどう変わった？ 今後の課題は？ 一
元長岡赤十字病院／NPO災害医療ACT研究所 内藤万砂文

■シンポジウム2

1日目 (3月19日) 17:45～19:15

第1会場 (4Fマリンホール)

H28 熊本地震を振り返る

座長 近藤 久禎 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)
若井 聡智 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)

1-SY2-1 熊本地震での災害医療コーディネーターの活動

産山村診療所 井 清司

1-SY2-2 熊本地震・東熊本病院における病院避難の決断と安全管理 ーDMAT安全管理教育の転換点となった活動を振り返るー

鹿児島市立病院 吉原 秀明

1-SY2-3 平成28年熊本地震を振り返る

阿蘇立野病院 上村 晋一

1-SY2-4 熊本地震 その時阿蘇は！

阿蘇医療センター 甲斐 豊

■シンポジウム3

1日目 (3月19日) 16:05～17:35

第3会場 (2FスノーホールB)

災害医療ロジスティクス専門家認定者の更なる貢献を目指した制度化についての検討

座長 中田 正明 (兵庫県災害医療センター／神戸赤十字病院 放射線課)
真瀬 智彦 (岩手医科大学 救急・災害医学講座)

1-SY3-1 災害医療ロジスティクス専門家の有効活用のための制度化を考える

神戸学院大学現代社会学部 社会防災学科 中田 敬司

1-SY3-2 災害対策室5年間の歩みから考えるロジスティクス専門職の必要性

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター 災害対策室 西 健太

1-SY3-3 病院防災担当者としての災害医療ロジスティクス専門家の配置の意義

社会福祉法人東京有隣会 有隣病院 楠 孝司

1-SY3-4 感染対策加算の変遷をたどる：制度化の背景と評価の視点

コネクト合同会社 山口 征啓

1-SY3-5 災害医療ロジスティクス専門人材の専任配置による診療報酬等の 医療機関のインセンティブ創設における制度的課題

国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 赤星 昂己

■シンポジウム4

1日目 (3月19日) 10:35～12:05

第4会場 (2F中会議室201)

災害時急性期傷病への挑戦ー現場から命をつなぐ体制づくり

座長 井上 潤一 (日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急センター)

大場 次郎 (国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 国際対策課)

- 1-SY4-1 大規模災害時における圧挫症候群 (クラッシュ症候群) 対応の現状と課題
ー現場から支える急性期傷病体制の強化に向けてー

町田市民病院 看護部 HCU 矢田 哲康

- 1-SY4-2 2023年トルコ・シリア地震におけるクラッシュ症候群の
予後指標に関する文献レビュー

国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 上村 浩貴

- 1-SY4-3 日本整形外科学会災害対応委員会の取り組み

鳥取大学医学部附属病院 生越 智文

- 1-SY4-4 国際消防救助隊と医療班の連携訓練によって得られた国内の救助活動における課題

順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科/国際緊急援助隊救助チーム医療班 高見 浩樹

- 1-SY4-5 都市型地震におけるモバイル診療から見えた外傷対応の要点

特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 戸田はるか

- 1-SY4-6 工学・医学的データに基づく災害現場で求められるCSMと実践的な訓練開発

日本医科大学多摩永山病院 救命救急科/日本医科大学 救急医学教室/
国際緊急援助隊救助チーム医療班 阪本 太吾

■シンポジウム5 (大会ホームページをご覧ください)

1日目 (3月19日) 09:30～10:30

第5会場 (3F中会議室301)

(国際委員会企画) Learning from Korean Disaster Medicine:
MCM and CBRNE Preparedness – Japan–Korea Joint Session

座長 大場 次郎 (国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 国際対策課)

久保 達彦 (広島大学 公衆衛生学/京都大学 ヘルスセキュリティセンター)

- 1-SY5-1 Disaster medicine in Korea

Seoul National University College of Medicine and Hospital Department of Emergency Medicine
Kim Chu Hyun

- 1-SY5-2 Mass Casualty Management in Korea

Uijeongbu Eulji University Hospital, College of Medicine, Eulji University Department of Emergency Medicine
Yang Heebum

- 1-SY5-3 Medical Involvement in CBRNE and Terrorism Events

Kyungpook National University Hospital Department of Emergency Medicine Moon Sungbae

■シンポジウム6 (大会ホームページをご覧ください)

1日目 (3月19日) 15:00～16:30

第5会場 (3F中会議室301)

(国際委員会企画) Session on "Japan's Contribution to the Development and Strengthening of National EMT Systems"

座長 大場 次郎 (国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 国際対策課)
夏川 知輝 (国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局)

- 1-SY6-1 Japan's contribution to the national EMT development in other countries.
Thonburibamrungmuang Hospital SILAPUNT PHUMIN
- 1-SY6-2 Strengthening Health System Resilience: Medical Response Lessons from Major Floods in Chiang Rai and Hat Yai
Division of public health emergency management, Ministry of public health Pintatham Kriangsak
- 1-SY6-3 ASEAN Regional Capacity on Disaster Health Management (ARCH) Plus Project and the Future of Regional Disaster Health Management in ASEAN
ASEAN Institute for Disaster Health Management (AIDHM) Donna Bella
- 1-SY6-4 Overview of the Ukrainian EMS system
Governmental organization
"Ukrainian scientific and practical center of emergency and disaster medicine of MoH of Ukraine"
Krylyuk Vitaliy
- 1-SY6-5 Capacity Building of Emergency Medical Services Personnel for War-Related Emergency Response in Ukraine
Governmental organization
"Ukrainian scientific and practical center for emergency and disaster medicine of MoH of Ukraine"
Tsymbaliuk Halyna
- 1-SY6-6 Impact of Pre-Transport Preparation on Medical Evacuation Outcomes in Severely Burned Patients: Evidence from the Ukrainian Context
Governmental organization
"Ukrainian scientific and practical center for emergency and disaster medicine of MoH of Ukraine",
"Artesans-ResQ Ukraine"
Bilokonov Illia

■シンポジウム7

1日目 (3月19日) 15:00～16:30

第6会場 (3F中会議室302)

マシガザリング対応 EXPO2025 大阪・関西万博での多数来場者帰宅困難事案から考える

座長 織田 順 (大阪大学 救急医学)
鈴木 諭 (国立健康危機管理研究機構 厚生労働省 DMAT事務局/利根中央病院 救急科・総合診療科)

- 1-SY7-1 はじめに：近年のマシガザリングイベント対策から考える、
大阪・関西万博医療のくみたち
2025年日本国際博覧会医療救護協議会/大阪大学 救急医学 織田 順
- 1-SY7-2 大阪万博開催中に発生した地下鉄停止に伴い発生した多数傷病者対応
～現場救護隊より活動報告～
フリーランス (看護師) 中野智香子

1-SY7-3 EXPO2025大阪・関西万博における医療提供環境と災害対応
大阪急性期・総合医療センター 救急診療科 藤見 聡

1-SY7-4 医師がいない時間帯に、医療救護所は何をすべきか、何が出来るか？
ー EXPO2025大阪・関西万博の実務経験から ー
加納総合病院 大桃 丈知

1-SY7-5 そして僕は途方に暮れる
～オールナイト万博における統括医療責任者の対応
堺市立総合医療センター 災害時医療管理センター／堺市立総合医療センター 救命救急センター 中田 康城

■パネルディスカッション1

1日目 (3月19日) 16:05～17:35

第1会場 (4Fマリンホール)

熊本地震から10年ー専門職団体の歩みとこれからの災害支援体制
座長 笠岡 俊志 (熊本大学病院 災害医療教育研究センター)
西 芳徳 (熊本県医師会)

1-PD1-1 DSAM災害支援鍼灸マッサージ師が災害支援にどうかかわるか
～熊本地震から能登半島地震まで～
DSAM 災害支援鍼灸マッサージ合同委員会／(公社)全日本鍼灸マッサージ師会災害対策委員会 仲嶋 隆史

1-PD1-2 熊本地震対応から始まった災害医療通訳ネットワーク～J-MINDの歩み～
J-MIND (日本災害医療通訳ネットワーク) 益田 充

1-PD1-3 鍼灸マッサージ業団による災害支援活動の変遷
～熊本地震から10年を振り返る～
公益社団法人日本鍼灸師会学術研修委員会／公益社団法人福岡県鍼灸マッサージ師会災害対策委員会／
DSAM災害支援鍼灸マッサージ合同委員会／巫仁東洋鍼灸療院 矢津田善仁

1-PD1-4 糖尿病患者に対するLINEによる災害時情報伝達システムの構築
熊本中央病院 糖尿病・内分泌・代謝内科 西田 健朗

■パネルディスカッション2

1日目 (3月19日) 10:10～11:40

第2会場 (2FスノーホールA)

「継ぎ目のない支援」の実現に向けて
平時からの保健・医療・福祉データ連携と制度的課題の克服
座長 稲田 眞治 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 救急科)
酒井 明子 (福井大学)

1-PD2-1 災害対応と生活支援：保健医療「福祉」の連携
八千代リハビリテーション病院／社会福祉士 松本 良二

1-PD2-2 地域医療連携と災害医療連携の融合
ーFLSとHaDROに基づく秦野赤十字病院の実践ー
秦野赤十字病院 医療社会事業部／秦野赤十字病院 整形外科 松山 大輔

1-PD2-3 数理最適化技術を用いた災害時医療継続と在宅療養患者支援を目指した
データ連携モデルの構築
岡山大学学術研究院 医歯薬学域 地域二次救急・災害医療推進講座 平山 隆浩

1-PD2-4 災害後の避難による被災者支援の途絶を防ぐためのAI、DXを用いた取り組み

福島県立医科大学 放射線健康管理学講座 趙 天辰

■パネルディスカッション3

1日目 (3月19日) 10:10～11:40

第3会場 (2FスノーホールB)

災害医療コーディネーターの役割と実際の活動について

座長 金子 拓 (岩手医科大学 救急・災害医学講座)
北川 喜己 (名古屋掖済会病院 救命救急センター)

1-PD3-1 災害医療コーディネーターの新たな役割と広域災害対応における実践的取り組み

横浜市立大学救急医学・高度救命救急センター/
神奈川県災害医療コーディネーター／横浜市災害医療コーディネーター 竹内 一郎

1-PD3-2 災害医療コーディネーターとして地元自治体および医師会の災害準備に参画

市立八幡浜総合病院 麻酔科 越智 元郎

1-PD3-3 国民保護における全島避難計画作成における地域災害医療コーディネーターの役割

沖縄県立八重山病院 竹島 茂人

1-PD3-4 熱海市伊豆山地区土砂災害の教訓から、災害医療コーディネーターのあり方と適性を考える

まつおか内科循環器クリニック／島田市立総合医療センター 救急科 松岡 良太

1-PD3-5 石川県災害医療コーディネーターとしての活動令和4年能登半島地震、令和5年能登半島地震、令和6年能登半島地震／大水害での経験

公立能登総合病院 圓角 文英

1-PD3-6 能登半島地震における看護師派遣調整の経験からみる
災害医療コーディネーターにおける看護職参画の意義と今後の展望

国立健康危機管理研究機構 危機管理運営局 DMAT事務局 千島佳也子

■パネルディスカッション4

1日目 (3月19日) 17:45～19:15

第3会場 (2FスノーホールB)

多職種連携と情報システムによる災害支援体制

座長 中山 雅晴 (東北大学大学院医学系研究科 医学情報学)
藤原 弘之 (岩手医科大学医学部 救急・災害医学講座)

1-PD4-1 赤十字救護班要員への災害時情報システム教育の取り組みについて

総合病院山口赤十字病院 末永利一郎

1-PD4-2 災害支援現場での運用を見据えた電子版診療記録の導入と課題

特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 佐々木綾菜

1-PD4-3 クラウド型通信アプリ Buddycom を用いた災害時の多職種連携情報共有体制の検証

青森県立中央病院 小笠原 賢

1-PD4-4 SNSを使った被災者側からの自発的情報提供体制は災害時多職種連携の中心として機能する

恵寿総合病院 新井 隆成

1-PD4-5 災害医療通訳支援の現状

～どこから「医療」かを見極めるための情報収集活動等～

日本災害医療通訳ネットワーク (J-MIND) 益田 充

■パネルディスカッション5

1日目 (3月19日) 09:00～10:30

第4会場 (2F中会議室201)

災害医療に関わる人材養成の現状と課題

座長 石井 正 (東北大学病院 総合地域医療教育支援部)
藤田 基 (山口大学大学院医学系研究科 救急医学講座)

1-PD5-1 災害医療人材養成プログラムの効果と今後の課題

熊本大学病院 災害医療教育研究センター 笠岡 俊志

1-PD5-2 災害医療人材養成の基本はやはりCSCATTTと災害サイクルの理解から
～専門職養成から一般市民講座までを比較して～日本赤十字社和歌山医療センター 救急科・消化器外科・精神科・国際医療救援/
日本災害医療通訳ネットワーク (J-MIND) / JEMDRA-HAP (日本EMDR学会人道支援プログラム) /
心のサポートネット和歌山 益田 充

1-PD5-3 国内で育む日本の国際災害医療人材：JICA本邦研修の意義

兵庫県災害医療センター 甲斐聡一朗

1-PD5-4 DMAT事務局CMTPプログラム 2025年活動報告

国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 上村 浩貴

1-PD5-5 復旧・復興支援を見据えた人材育成

－NGO登録隊員育成における成果と今後の展望－

特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 林田 光代

1-PD5-6 福島県CBRNE研修

－原子力災害を経験した地域から発信する包括的教育プログラム－

総合南東北病院 薬谷 暢

■パネルディスカッション6

1日目 (3月19日) 16:05～17:35

第4会場 (2F中会議室201)

超高齢社会における災害対策

座長 田口裕紀子 (札幌医科大学保健医療学部 看護学科)
三村 誠二 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)

1-PD6-1 高齢化地域における災害時福祉避難所運営の実態と示唆：能登半島地震の事例より

福島県立医科大学医学部 放射線健康管理学講座 学生 山村 桃花

1-PD6-2 令和6年能登半島地震における在宅避難者の健康・生活ニーズと支援の実際：
専門職支援者の視点から

東海大学医学部付属病院 加藤 鮎美

1-PD6-3 災害時における福祉施設支援体制の現状と課題

国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 是枝 大輔

- 1-PD6-4 令和6年能登半島地震におけるDMATによる新たな搬送拠点の試み
—高齢化率が高い地域への災害支援課題—

珠洲市健康増進センター 奥佐 千恵

- 1-PD6-5 避難所等における指揮調整体制の確立に必要な体制

浜松医科大学 健康社会医学講座 尾島 俊之

■パネルディスカッション7 (大会ホームページをご覧ください)

1日目 (3月19日) 16:40～18:10

第5会場 (3F中会議室301)

座長 久保 達彦 (広島大学 公衆衛生学/京都大学 ヘルスセキュリティセンター)
豊國 義樹 (国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局)

- 1-PD7 (国際委員会企画) Receiving International EMTs in Japan: Coordination Mechanisms and the Roles of Government and NGO Teams

■パネルディスカッション8

1日目 (3月19日) 09:00～10:30

第6会場 (3F中会議室302)

空港災害対応のこれまでの取り組みと課題

座長 川瀬 鉄典 (兵庫県災害医療センター 兵庫県災害救急医療情報指令センター)
成田麻衣子 (りんくう総合医療センター 危機管理室/救命診療科)

- 1-PD8-1 ICAO指針について

国土交通省 航空局 航空ネットワーク部 空港技術課 空港保安防災企画室 中嶋 裕樹

- 1-PD8-2 2024年1月羽田空港航空機衝突事故対応を踏まえた
航空機事故初動対応要員育成・定期訓練導入の試み

日本赤十字社医療センター 国内医療救護部・救命救急センター/
日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 情報企画連携室 鷲坂 彰吾

- 1-PD8-3 成田国際空港航空災害対策の取り組みと課題

日本医科大学千葉北総病院救命救急センター/日本医科大学 救急医学教室 川上 翔平

- 1-PD8-4 福岡空港における空港災害対応体制構築の現状と課題

福岡県済生会福岡総合病院 救命救急センター/九州大学大学院 救急医学講座/
日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター 久城 正紀

- 1-PD8-5 関西国際空港における航空機災害対応の取り組み
—多機関連携と標準化の視点から—

りんくう総合医療センター 成田麻衣子

■パネルディスカッション9

1日目 (3月19日) 10:35～12:05

第6会場 (3F中会議室302)

産学官連携のあり方を探る

座長 島田 二郎 (福島県立医科大学附属病院)
中田 敬司 (神戸学院大学現代社会学部 社会防災学科)

1-PD9-1 産学官連携とD-Call Net

日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター／日本医科大学 救急医学講座 本村 友一

1-PD9-2 異分野共創のために作られた研究団体と公共性のある企業との産学連携について

兵庫県災害医療センター 島津 和久

1-PD9-3 災害医学分野における産学官連携の実践
～現場実証・実災害対応を通じた経験的知見～福岡県済生会福岡総合病院 救命救急センター／九州大学大学院 救急医学講座／
日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター／日本医科大学 救急医学教室 久城 正紀

1-PD9-4 簡秀技術の発想と新理工学による災害医工学

大阪大学医学部／立命館大学総研 生田 幸士

1-PD9-5 聴覚障害者の災害・緊急時の情報保障 開発から社会実装へ

岡山大学病院聴覚支援センター 片岡 祐子

1-PD9-6 三重県紀宝町における産学官医連携推進事業
「みんなでえがく救護所研究会」設立の報告

紀宝町立相野谷診療所／紀宝町地域医療研修センター 森本真之助

■パネルディスカッション10

1日目 (3月19日) 17:45～19:15

第6会場 (3F中会議室302)

救援者の“見えない負担”と災害対応のこれからの支援者支援

座長 小井土雄一 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)
高橋 晶 (筑波大学医学医療系 災害・地域精神医学／茨城県立こころの医療センター)

1-PD10-1 大規模災害におけるDMAT派遣時補償体制の変遷と課題

国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 大場 次郎

1-PD10-2 医療救援者のメンタルヘルスに関する研究と
日本における災害派遣救援活動の研究の紹介

東京大学大学院医学系研究科 精神保健学分野 浅岡 絃季

1-PD10-3 災害対応にあたる行政職員が受援にあたり抱える葛藤に関するインタビュー調査

東京都立大学／災害鍼灸マッサージプロジェクト 三輪 正敬

1-PD10-4 «傷病者はなくとも看護は活かせる»
～十島村悪石島での群発地震発災中における災害支援ナースの活動～

鹿児島市立病院 永尾 香織

1-PD10-5 被災地における船舶を活用した支援者休息拠点の重要性

特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 杉本 陸

1-PD10-6 災害時の精神的支援者支援を産業メンタルヘルスの視点から考える

筑波大学医学医療系 災害・地域精神医学／茨城県立こころの医療センター／
筑波メディカルセンター病院 精神科 高橋 晶

■パネルディスカッション11

1日目 (3月19日) 10:10～11:40

第7会場 (展示ホールA1(特設))

BHELP10周年記念企画 多職種で作る幸せな避難所

座長 伊崎田和歌 (千葉県総合救急災害医療センター リハビリテーション科)
峯田 雅寛 (山形県立中央病院)

1-PD11-1 発災から生活再建まで支える避難所支援

特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 木下真由香

1-PD11-2 リハビリ専門職が支える避難所「生活」

公益社団法人大阪府理学療法士会 松岡 雅一

1-PD11-3 避難所の食事は「誰」が守る？！

兵庫県栄養士会／内閣府 (防災) 地域防災力強化担当 濱田 真里

1-PD11-4 災害関連死を防ぐこれからの避難所のあり方について～SUM基準のTKB48とは～

Jパックス株式会社 水谷 嘉浩

1-PD11-5 「生活の場」としての避難所を多職種で支える

－文献から読み解く保健医療福祉の関与の変遷と課題－

東北大学 災害科学国際研究所 災害医療国際協力学分野 佐々木宏之

■ワークショップ1

1日目 (3月19日) 15:00～16:00

第3会場 (2FスノーホールB)

災害医療従事者に知ってほしい妊婦と子どもの災害対応

座長 今井 一徳 (名古屋市立大学大学院医学研究科 救命救急医療学)
神 美穂 (半蔵門のびすこどもクリニック)

1-WS1-1 災害時における小児周産期医療提供体制の現状と展望

国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局 上杉 泰隆

1-WS1-2 フェーズフリーという考え方

～小児周産期医療・保健に必要な支援と地域連携BCPについて～

高知医療センター 渡邊 理史

1-WS1-3 災害時に必要な子どもとその家族支援：

「災害時の子どもの居場所」づくりから見える課題

認定NPO法人カタリバ 稲葉 将大

1-WS1-4 医療依存度の高い児の災害対策における在宅避難の多角的検討と課題

新潟県長岡地域振興局 健康福祉環境部 (長岡保健所) 室岡 真樹

■ワークショップ2

1日目 (3月19日) 17:45～18:45

第4会場 (2F中会議室201)

フクシマのいま

座長 熊谷 謙 (新潟市民病院 救命救急・循環器病・脳卒中センター)
島田 二郎 (福島県立医科大学附属病院)1-WS2-1 東日本大震災時の福島第一原子力発電所事故による放射線災害の影響
および大規模住民避難の問題点

南相馬市立総合病院 及川 友好

1-WS2-2 福島第一原子力発電所における廃炉作業の進捗状況について

東京電力ホールディングス株式会社 鈴木 純一

1-WS2-3 コミュニティ再生に欠かせない医療

特定非営利活動法人富岡町3・11を語る会 青木 淑子

1-WS2-4 福島第一原子力発電所事故避難指示解除地域の医療の現状と課題、そしてこれから

福島県ふたば医療センター 谷川 攻一

■ワークショップ3

1日目 (3月19日) 16:35～17:35

第6会場 (3F中会議室302)

"問い"を育てる：メンターとメンティーが教える災害医学・医療研究の最初の一步

座長 越智 小枝 (東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座)
原田奈穂子 (岡山大学学術研究院 ヘルスシステム統合科学学域 看護科学分野)

1-WS3-1 「芽生えた問い」気づき、育ててみた：メンティ編

藤田医科大学保健衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻 羽柴 涼太

1-WS3-2 「芽生えた問い」気づき、育ててみた：メンター編

藤田医科大学/新潟大学 和泉 邦彦

1-WS3-3 「日頃の疑問・課題を解明・解決したい！」積極的・独創的なメンティー編

福島県立医科大学医学部 放射線災害医療学講座 長谷川有史

1-WS3-4 「まずはバントヒットから」保守的・現実的なメンター編

福島県立医科大学医学部 放射線災害医療学講座 長谷川有史

1-WS3-5 災害を(広く)科学するーELSIの視点で"問い"を育てるメンティ編

京都大学大学院文学研究科 倫理学研究室 三羽恵梨子

1-WS3-6 災害を(広く)科学するー"問い"の種まきー

国立保健医療科学院 富尾 淳

■ワークショップ4

1日目 (3月19日) 09:00～10:00

第7会場 (展示ホールA1(特設))

原子力災害時にDMATはどう動くか

座長 相田 浩 (新潟県厚生連 柏崎総合医療センター 産婦人科)
 西山 慶 (新潟大学 救急集中治療医学講座)

1-WS4-1 原子力災害時の放射線防護措置により予想される医療ニーズとその対応

弘前大学 花田 裕之

1-WS4-2 原子力災害対策における原発立地県からみた制度上の課題

新潟大学 西山 慶

1-WS4-3 DMATの皆さま

なにとぞ原子力災害時も災害医療活動への従事を宜しくお願い申し上げます
 ～原子力災害医療・総合支援センターの立場から

福島県立医科大学 長谷川有史

■学生チャレンジ【学部生・大学院生・若手研究者部門】

1日目 (3月19日) 10:40～11:40

第5会場 (3F中会議室301)

(国際委員会企画) STUDENT CHALLENGE: EMERGING VOICES IN GLOBAL DISASTER HEALTH MANAGEMENT

座長 五十嵐 豊 (日本医科大学 救急医学教室)
 江川 新一 (東北大学 災害科学国際研究所 災害医療国際協力学)

1-SC-1 Evaluation of Self-Efficacy in Non-Technical Skills Among Paramedic Student Volunteers: World Athletics Championships Tokyo 2025

Nippon Sport Science University Ueno Hina

1-SC-2 Disaster Relief Activities during the 2024 Noto Peninsula Earthquake Enabled by Disaster Education at Nippon Sport Science University

Graduate School of Nippon Sport Science University Saito Misato

1-SC-3 Cost-Benefit Analysis of Natural Disaster Management: A Scoping Review and Implications for Health

Department of Health Security System, Center for Health Security,
 Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan Watanabe Omi

1-SC-4 Deaths from Secondary Health Impacts of Disasters: Documentation Gaps in Japan and the Need for a Global Reporting Framework

Advanced Emergency and Critical Care Center, Japanese Red Cross Saitama Hospital Tsuboi Motohiro

1-SC-5 Activation of the WHO Emergency Medical Team Minimum Data Set in the 2023 Flood Response in Libya

Department of Public Health and Health Policy, Graduate School of Biomedical and Health Sciences,
 Hiroshima University Qoidah Nurul

■口演 1-1

1日目 (3月19日) 09:00～10:00

第8会場 (展示ホールA2(特設))

「BCP」を科学する

座長 小澤 和弘 (愛知医科大学 災害医療研究センター)

矢野 和美 (社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 国際協力診療部)

1-01-1 病院電源喪失時における生命維持装置への緊急電源確保について

大阪府立中河内救命救急センター 西島 章

1-01-2 関連グループにおける医療機関・福祉施設のグループBCP策定の取り組み
～南海トラフ地震に備えて～

医療法人治久会 もみのき病院/高知大学大学院総合人間自然科学研究科 水口紀代美

1-01-3 「オールハザードBCP」の考え方

国際医療福祉大学 熱海病院 堀内 義仁

1-01-4 実災害に基づいたタイムラインで対応可能な災害に対する
BCP作成と院内災害訓練の実施

山形県立新庄病院 福田 拓也

1-01-5 がん診療連携拠点病院等におけるBCP策定状況と
都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会でのBCPに関する議論の実態調査

国立がん研究センター がん対策研究所 佐藤 綾子

1-01-6 平時から活用可能な病棟BCPの作成ー勤務変更, 病床管理への活用ー

埼玉病院 江津 繁

1-01-7 基幹災害拠点病院を対象とした受援体制構築の現状に関する横断研究
ーBCPにおける受援計画の整備実態を踏まえてー

兵庫県災害医療センター 成 俊浩

1-01-8 参画型アプローチによる災害拠点病院の防災体制改革
ーDMAT隊員の活用とBCP整備ー

京都山城総合医療センター 村田 智春

■口演 1-2

1日目 (3月19日) 10:10～11:10

第8会場 (展示ホールA2(特設))

「人材育成」を科学する 1

座長 青木 正志 (茨城県立中央病院救急センター)

富田 啓介 (千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学)

1-02-1 防災リンクナース・防災リンクドクターを活用した防災訓練参加者を増やす試み

筑波大学附属病院 看護部 田中 聡社

1-02-2 平時にできないことは災害時にはできない!
～1スタッフが取り組む、災害にそなえた組織作り～

新潟県地域医療推進機構 魚沼基幹病院 事務部総務課 今井 麻奈

- 1-02-3 DMAT隊員をファシリテーターとした院内訓練における
指導スタッフ育成の取り組み
筑波メディカルセンター病院 看護部 内田 里実
- 1-02-4 多数傷病者事案は地域を超えたAll Chibaで対応する
～医療は現場で活躍するのではない、病院支援で活躍するのだ！～
日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター 平林 篤志
- 1-02-5 病院機構所属の一病院を対象とした派遣型研修の成果と課題
－自由記述解析と災害訓練への展開－
大阪急性期・総合医療センター 医療技術部 セラピスト部門 高尾 弘志
- 1-02-6 当院の災害医療人材養成は全職種参加型の院内災害医療研修から始まった。
国立病院機構 高崎総合医療センター 町田 浩志
- 1-02-7 研修医の災害医療へのエントランスは十分か？
加古川中央市民病院 救急科 佐藤 圭路

■口演1-3

1日目 (3月19日) 15:00～16:00

第8会場 (展示ホールA2(特設))

「災害看護」を科学する

座長 立松 美穂 (独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 統括診療部)
増田由美子 (埼玉医科大学総合医療センター 看護部)

- 1-03-1 災害時救護所で活動する看護職の人材確保と研修の実態
－静岡県全市町調査に基づく報告－
浜松医科大学 地域創成防災支援人材教育センター 近藤 誠人
- 1-03-2 災害拠点病院における救急外来看護師の災害対応能力向上に向けた取り組み
茨城県立中央病院 救急外来 海老澤ひかる
- 1-03-3 東日本大震災復興期における看護師による長期的な支援活動の意味
－被災地の保健師の視点から－
日本赤十字北海道看護大学 尾山とし子
- 1-03-4 都市型搜索救助チームにおける看護師の活動
東京都立広尾病院 外傷センター 尾石 早織
- 1-03-5 医療的ケア児に対する個別避難計画策定への災害看護専門看護師としての関わり
鶴岡市立荘内病院 木村 晃一
- 1-03-6 災害時における診療看護師(NP)の役割についての考察
藤田医科大学病院 FNP室/救急総合内科 加藤 夏美
- 1-03-7 災害時に医療救護所での活躍を期待する登録看護師を増やす取り組み
順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科 野村 智久
- 1-03-8 重症エリアのコマンダーとなる看護師育成のための課題と対策
－地震発生直後から重症者受け入れまでに焦点をあてて－
順天堂大学医学部附属練馬病院 高橋 玲衣

■口演1-4

1日目(3月19日)16:05～17:05

第8会場(展示ホールA2(特設))

「院内災害対策」を科学する

座長 田治 明宏(広島大学大学院医系科学研究科 公衆衛生学)
八十川雄団(社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院 救急総合診療科)

- 1-04-1 災害時初動対応検証に対する映像記録の有益性—阪神淡路大震災から30年—
六甲アイランド甲南病院 循環器内科 水谷 和郎
- 1-04-2 病院の人工透析室における塩素ガス災害対策の一例
市立豊中病院 竹治 正展
- 1-04-3 院内発災を経験して明らかになった情報伝達の課題
健和会大手町病院 原 舞子
- 1-04-4 防災委員会BCMワーキンググループの設立における成果
～豪雪災害時の活動を振り返る～
新潟県厚生農業協同組合連合会 柏崎総合医療センター 行田 由香
- 1-04-5 現場医療活動における疼痛管理改善に向けた院内ルール改訂とその初運用事例
市立青梅総合医療センター 比嘉 武宏
- 1-04-6 放射線部門における発災時初期対応の標準化に向けた取り組み
岩手医科大学附属病院 阿部 裕平
- 1-04-7 災害拠点精神科病院に求められる機能に関する課題と対応
千葉県長生保健所 余田 悠介
- 1-04-8 桜島の大規模噴火を想定した事前病院避難シミュレーション
鹿児島市立病院 救命救急センター 吉原 秀明

■口演1-5

1日目(3月19日)17:10～18:10

第8会場(展示ホールA2(特設))

「災害訓練」を科学する

座長 上村 浩貴(国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局)
切田 学(加古川中央市民病院 救急科)

- 1-05-1 災害訓練は質より量
沖縄県立南部医療センター・こども医療医療センター 後藤 法広
- 1-05-2 5年ぶりに再開した院内災害訓練の実施と課題
京都第一赤十字病院 救命救急センター 竹上 徹郎
- 1-05-3 手術室における地震・火災を想定した災害訓練の構築と実践
—アクションカードを用いた多職種連携訓練の取り組み—
新小文字病院 藤田 寛之
- 1-05-4 院内における水害対応に対する各部署訓練の開催
社会医療法人共愛会 戸畑共立病院 高崎 裕介

- 1-05-5 サイバーテロ対応マニュアルを活用したシミュレーション訓練の実施と考察
公立昭和病院 井部 昌彦
- 1-05-6 夜間休日時間外発災への備え
ー 防災保安課との協働訓練から見た成果と課題 ー
東京女子医科大学病院 薬剤部/病院防災・減災対策支援室 小野寺美琴
- 1-05-7 院内亜急性期災害対応机上訓練の経験
佐賀県医療センター好生館 災害対策室/総務課 末安 正洋
- 1-05-8 災害医療訓練における意思決定支援と対応力向上の試み：
シミュレーションモデルを用いた反復的学習環境
芝浦工業大学 藤田 楓

■口演1-6

1日目 (3月19日) 18:15～19:15

第8会場 (展示ホールA2(特設))

「災害対応」を科学する

座長 佐々木吉子 (東京科学大学大学院保健衛生学研究所 災害・クリティカルケア看護学分野)
吉田 隆浩 (高山赤十字病院 救命救急センター)

- 1-06-1 HFNC 多台数使用による酸素消費量増大と院内酸素供給逼迫への対応の検討
一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院 循環器内科 扇野 泰行
- 1-06-2 災害時に重症妊産婦を救うためのICU運用計画の策定
北里大学医学部 救命救急医学 服部 潤
- 1-06-3 大規模地震直後に高層階の分娩室に到達できない場合の代替分娩場所の検討
東京都立墨東病院 事務局 市原 英司
- 1-06-4 放射線部門における災害時初動対応に沿ったアクションカードの作成
和歌山県立医科大学附属病院 井上 健二
- 1-06-5 非属人的運用を実現するための備蓄倉庫利用環境の整備
長浜赤十字病院 松村 晟仁
- 1-06-6 大規模災害時における医療機関の燃料補給可能性に関する検討
国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局 鈴木 教久
- 1-06-7 東京都の医療対策拠点運用におけるアクションカード活用
東京都立多摩総合医療センター 清水 翔平
- 1-06-8 発災時のリハビリ室内での初動対応と課題について
～患者・スタッフを守るために～
日本赤十字社和歌山医療センター リハビリテーション課 高根 良輔

■口演 1-7

1日目 (3月19日) 09:00～10:00

第9会場 (展示ホールA3(特設))

「原子力災害医療」を科学する 1

座長 庄古 知久 (東京女子医科大学附属立医療センター 救急医療科)
細谷龍一郎 (湘南医療大学薬学部 臨床薬剤学研究室)

1-07-1 演題取下

1-07-2 原子力災害を想定した医療機関の病院機能維持支援に関する研究

弘前大学大学院保健学研究科 前川 瑠星

1-07-3 医療機関における屋内退避時の空調運用の課題

福島県立医科大学医学部 放射線健康管理学講座 松本 智絃

1-07-4 消防職員家族への意識調査

一家族は消防職員の原子力災害時派遣活動についてどう感じているのかー

佐世保市消防局/長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 災害・被ばく医療科学共同専攻 岩本 玄樹

1-07-5 原子力施設立地地域における災害時安全管理の指標としての
災害医療支援チーム活動指針の提案

弘前大学 災害・被ばく医療教育センター 伊藤 勝博

1-07-6 放射線防災におけるリスクコミュニケーションツールとしての
原子力防災ガイドブック作成の試み

福島県立医科大学大学院医学研究科 佐藤 美佳

1-07-7 夜間・休日帯における放射性物質汚染に対するアクションカードの作成

獨協医科大学病院 放射線部 村岡 祐基

1-07-8 被ばく医療における事務職員の養生研修効果の検討

福井大学医学部附属病院 救急部 森田 浩史

■口演 1-8

1日目 (3月19日) 10:10～11:10

第9会場 (展示ホールA3(特設))

「原子力災害医療」を科学する 2

座長 伊藤 裕介 (大阪府済生会千里病院 千里救命救急センター)
箱崎 貴大 (福島県立医科大学附属病院 集中治療部)

1-08-1 県原子力防災訓練への参加報告

＝複合災害想定での院内災害対策本部の立ち上げと
他県よりの原子力災害派遣チームの受け入れの経験＝

唐津赤十字病院 酒井 正

1-08-2 福島第一原子力発電所事故災害により避難を強いられた市町村保健師の体験

ー他市町村に避難する住民の健康支援に焦点をあててー

日本赤十字看護大学 内木 美恵

1-08-3 原子力施設隣接県の原子力災害拠点病院である当院の活動状況について

鳥取県立中央病院 医療局 放射線科 中村 一彦

- 1-08-4 原子力災害時におけるBCP策定に向けた看護師参集状況の検証
松江赤十字病院 須田 祐子
- 1-08-5 事務職員が原子力災害医療に関する専門研修を受けた効果について
浜松医科大学医学部附属病院 夏目 紗海
- 1-08-6 原子力災害時に有用な防護服着用動画の作成
浜松医科大学医学部附属病院 加藤 真嗣
- 1-08-7 当院職員における原子力災害医療の認知度変化
ー2023・2024年度アンケート結果よりー
鹿児島大学病院 救命救急センター・集中治療部 入来 泰久
- 1-08-8 看護管理者が考える原子力災害医療における看護師の役割と必要性
弘前大学医学部附属病院 三上 純子

■口演 1-9

1日目 (3月19日) 15:00～16:00

第9会場 (展示ホールA3(特設))

「DMAT」を科学する 1

座長 井原 則之 (社会医療法人近森会 近森病院)
楠 孝司 (社会福祉法人東京有隣会 有隣病院)

- 1-09-1 能登半島地震における小規模専門医療チームによる総合的災害支援の実態と
国際基準を使用した評価の検証
大阪府済生会千里病院 千里救命救急センター 伊藤 裕介
- 1-09-2 能登半島地震におけるDMAT薬剤師による被災病院薬剤部支援の報告
埼玉医科大学総合医療センター 薬剤部 天海 知明
- 1-09-3 DMATは歓迎されているのか
公立能登総合病院 圓角 文英
- 1-09-4 支援DMAT受け入れに難渋した経験からの改善策
市立青梅総合医療センター 遠藤 一平
- 1-09-5 能登半島地震に対して行なった三重DMAT派遣調整から考える
今後の派遣体制について
三重中央医療センター 信岡 祐
- 1-09-6 病院内での墜落外傷に対して東京DMAT出動が行なわれた1例
東京医科大学病院 石上 雄太
- 1-09-7 事態対処事案における大阪府警と大阪DMATの情報共有
国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 矢嶋 祐一
- 1-09-8 福祉避難所開設における支援DMATと高齢者施設の協働体制の検証
JA三重厚生連 松阪中央総合病院 鈴木 紗知

■口演 1-10

1日目 (3月19日) 16:05～17:05

第9会場 (展示ホールA3(特設))

「DMAT」を科学する 2

座長 高階謙一郎 (京都第一赤十字病院 救命救急センター)
吉田 修 (市立大津市民病院 看護局)

- 1-O10-1 DMAT事務局による“Tranquil Passport”視察報告
国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 増留 流輝
- 1-O10-2 石川県DMAT局地災害等対応力向上研修の実施報告と課題
金沢市立病院 中央診療部 放射線室 柏屋総一郎
- 1-O10-3 中国ブロック実働訓練における活動拠点本部設置の経験から見えた課題
独立行政法人国立病院機構 呉医療センター 救急科 診療看護師 竹田明希子
- 1-O10-4 十勝岳噴火総合防災訓練でのDMAT活動と課題
旭川医科大学病院 救命救急センター 岡田 基
- 1-O10-5 発災3日目を想定した大規模地震時訓練実施の試み
松阪中央総合病院救命救急センター 谷口健太郎
- 1-O10-6 令和6年度中部ブロックDMAT実働訓練における業務調整員の活動実態と課題
～共起ネットワーク分析による検討～
三重県厚生連 松阪中央総合病院 向井 慎治
- 1-O10-7 EMISデータに基づくDMAT業務調整員の職種構成解析
－全体と救急救命士の二重焦点
国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 木村 磨功
- 1-O10-8 東日本大震災被災地を会場とした派遣型実践研修、
日本災害医療ロジスティクス研修の意義－第11回報告－
岩手医科大学医学部 救急・災害医学講座 富永 綾

■口演 1-11

1日目 (3月19日) 17:10～18:10

第9会場 (展示ホールA3(特設))

「救助医療」を科学する

座長 家田 淳史 (平成立石病院 救命救命士科)
甲斐聡一朗 (兵庫県災害医療センター)

- 1-O11-1 現場との連携により良好な予後を獲得したクラッシュ症候群の1例
豊橋市民病院 整形外科 福岡 大史
- 1-O11-2 厳冬期における救助隊員の都市型搜索救助活動に伴う脱水の特徴
旭川医科大学 脳神経外科学/札幌東徳洲会病院 高橋 未来
- 1-O11-3 海上自衛隊救難飛行艇US-2による洋上救難活動
海上自衛隊 航空集団司令部/海上自衛隊 自衛隊横須賀病院 松尾 勇気
- 1-O11-4 INSARAGから見た日本の災害救助現場の現状と課題
日本医科大学多摩永山病院/日本医科大学 救急医学教室/国際緊急援助隊救助チーム医療班 阪本 太吾

- 1-011-5 被災した都民の命を救う：東京DMATの局所災害における医療救護活動
日本赤十字社医療センター 諸江 雄太
- 1-011-6 狭隘空間内における救助医療と多機能連携：
国際緊急援助隊救助チーム医療班の取り組み
国立病院機構 災害医療センター 救命救急科/JICA 国際緊急援助隊 救助チーム 医療班 小崎 良平
- 1-011-7 神戸市消防局における救助隊と救急隊、医療との連携強化に向けた取り組み
～レスキューメディカルラリーを通じた相互理解とCSRの実践～
神戸市消防局 花村 直人
- 1-011-8 災害時急性期傷病救命のための国際的時間尺度と治療ガイドライン、
それを実現させる装備体系について
日本大学/新潟大学医学部 災害医療教育センター 照井 資規

■口演 1-12

1日目 (3月19日) 18:15～19:15

第9会場 (展示ホールA3(特設))

「CBRNE」を科学する

座長 関根 和弘 (京都橘大学大学院健康科学研究科)
中林 洋介 (前橋赤十字病院 集中治療科・救急科)

- 1-012-1 院内 CBRNE 対応マニュアルの改訂 - 実効性を重視する取り組み
公立昭和病院 救命救急センター 小島 直樹
- 1-012-2 高知県での初めて行った多職種での CBRNE 災害机上演習
松山赤十字病院 救急部 森實 岳史
- 1-012-3 兵庫県の災害拠点病院における CBRNE 災害対策の実態調査～6年間の推移～
兵庫県災害医療センター 菊田 正太
- 1-012-4 当院における CBRNE 患者受け入れ訓練の継続的実施と課題
社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 内堀 貴之
- 1-012-5 CBRNe、テロ、大規模自然災害、原子力災害等の複合事態に対処できる
医療従事者を育成するための統合型災害医療教育の提案
日本大学/新潟大学医学部 災害医療教育センター 照井 資規
- 1-012-6 ADDIEモデルに基づく「CBRNE状況下の看護」の授業設計
防衛医科大学校 佐藤 昭太
- 1-012-7 災害観の形成は特殊災害対応への従事意図を高める
- 医学生を対象とした教育における反復横断研究 -
福島県立医科大学医学部 放射線災害医療学講座/福島県立医科大学附属病院 災害医療部 菅谷 一樹
- 1-012-8 院内職員を対象とした CBRNE 研修に関する考察
一般財団法人脳神経疾患研究所 附属 総合南東北病院 災害医療部開設準備室/
一般財団法人脳神経疾患研究所 附属 総合南東北病院 薬剤科 塚本 宇史

■口演 1-13

1日目 (3月19日) 09:00～10:00

第10会場 (展示ホールA4(特設))

「災害薬事」を科学する 1

座長 林 秀樹 (岐阜薬科大学 地域医療実践薬学研究室)
藤本万理恵

- 1-013-1 日本赤十字社新潟県支部の救護員訓練における災害処方箋の記載についての講義
—能登半島地震で日赤救護班を現地本部で調整した経験から—
長岡赤十字病院 小林 和紀
- 1-013-2 長崎県での災害時に活動できる薬剤師の育成と医薬品供給についての今後の検討
長崎大学病院 薬剤部・災害医療支援室 若杉 和美
- 1-013-3 京都府薬剤師会における災害対応の取り組み
京都府薬剤師会／京都第二赤十字病院 薬剤部 川島 裕明
- 1-013-4 わが国における災害時医薬品供給のあり方を問い直す
藤田医科大学／新潟大学 和泉 邦彦
- 1-013-5 国際基準を踏まえた医薬品品質管理の国内展開と教育体系化の課題
日本赤十字社医療センター 薬剤部・国際医療救援部 小林 映子
- 1-013-6 平時から災害時へつなぐ医療DX：インスリン依存患者支援のLINE連携システム
高邦会高木病院糖尿病内分泌肝疾患センター／JADEC (日本糖尿病協会) 安西 慶三

■口演 1-14

1日目 (3月19日) 10:10～11:10

第10会場 (展示ホールA4(特設))

「熊本地震」を科学する

座長 竹中 隆一 (大分大学医学部 救急医学講座)
田中 啓司 (JA長野厚生連佐久総合病院 佐久医療センター)

- 1-014-1 災害医療支援室の設立とその歩み
—熊本地震を契機の1つとした災害対応体制の構築—
長崎大学病院 災害医療支援室 木谷 貴嘉
- 1-014-2 活断層に近接した地域災害拠点病院での熊本地震の経験と教訓を、
今後の災害時医療へ反映する
社会医療法人黎明会 宇城総合病院 松田 貞士
- 1-014-3 熊本地震での経験をもとに作成された災害診療記録と一体になった
病院トリアージ票
国立病院機構 熊本医療センター 救命救急科 清水千華子
- 1-014-4 熊本地震から教訓とて得たドクターヘリ派遣の在り方
久留米大学病院高度救命救急センター 山下 典雄
- 1-014-5 当施設における周産期災害対応への課題
—熊本地震の経験を活かして—
熊本大学病院 総合周産期母子医療センター 田口 弘美

- 1-014-6 熊本地震で行った病院避難を振り返る
～現状分析と課題シートを用い再評価してわかったこと～
社会医療法人潤心会 熊本セントラル病院 金田明日香
- 1-014-7 熊本地震の経験に基づく多職種連携を志向した避難所アセスメント研修の活動報告
熊本大学病院 災害医療教育研究センター 内田 彩香
- 1-014-8 「最期の声を語り継ぐーKarin-Projectによる防災教育の取り組みー」
災害関連死を考える会 宮崎さくら

■口演 1-15

1日目 (3月19日) 15:00～16:00

第10会場 (展示ホールA4(特設))

「災害医療におけるAI」を科学する

座長 和泉 邦彦 (藤田医科大学 防災教育センター)
清住 哲郎 (防衛医科大学校病院 救急部)

- 1-015-1 生成AIはクロノロジーから現状分析と活動方針決定が可能か
浜松医科大学医学部附属病院 加藤 真嗣
- 1-015-2 非医療従事者の意思決定を支援する避難者支援AIツールの開発と検証
ー HUG研修を通じた共助強化の試みー
北海道大学病院 齊藤 良女
- 1-015-3 生成AIを用いたBCP評価に関する基礎検討
三重大学医学部附属病院 臨床工学部 行光 昌宏
- 1-015-4 災害対応レジリエンス向上に向けた行動支援型AIシステム構想
東北大学病院 救急科 古川 宗
- 1-015-5 検索拡張生成(RAG)を用いた健康危機管理業務引き継ぎ支援に関する研究
国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 感染症危機管理研究センター 小森賢一郎
- 1-015-6 生成AI(ノートブックLM)を用いた病院災害対応文書群の矛盾解消と
持続的な整合性維持に関する実践評価
新小文字病院 熊 奈津代

■口演 1-16

1日目 (3月19日) 16:05～17:05

第10会場 (展示ホールA4(特設))

「情報管理」を科学する 1

座長 鈴木 教久 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)
高間 辰雄 (鹿児島市立病院 救命救急センター)

- 1-016-1 高精度即時コミュニケーションシステムを用いた被災者遠隔支援の試み
大分大学福祉健康科学部/大分大学大学院医学系研究科/大分大学大学院福祉健康科学研究科/
大分大学クライシスマネジメント機構/大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター 徳丸 治
- 1-016-2 発災時におけるメッシュネットワークにより延伸した複数衛星回線の実践活用
奈良先端科学技術大学院大学 辻井 高浩

- 1-016-3 宇宙からのアリーナ・スタジアムの災害拠点化
ー神戸市内にオープンした次世代型アリーナの実例報告ー
スカパーJSAT株式会社 瀬尾 淳
- 1-016-4 基幹災害拠点病院における災害時通信環境の強化
ー低軌道高速衛星通信の院内ネットワークへの収容とその効果ー
香川県立中央病院 吉田 誠治
- 1-016-5 現場と本部の情報共有～デジタルホワイトボードを導入して～
神戸大学医学部附属病院 救命救急科 高山 和之
- 1-016-6 災害時の薬剤師法・薬機法特例を補完する遠隔医療の活用
ーNPO法人遠隔医療災害支援機構による連携モデルの検証ー
特定非営利活動法人遠隔医療災害支援機構/あかつきオンライン診療所/東京曳舟病院救急科 藤原 翔
- 1-016-7 道路被害を考慮した避難所の脆弱性の評価
芝浦工業大学 理工学研究科 藤田進太郎
- 1-016-8 災害時の院内情報共有のためのシステム開発とその有効性
清水建設株式会社 設計本部 上田 嘉之

■口演 1-17

1日目 (3月19日) 17:10～18:10

第10会場 (展示ホールA4(特設))

「情報管理」を科学する 2

座長 安心院康彦 (帝京大学医学部 救急医学講座)
吉田 元治 (大阪府立中河内救命救急センター 検査室)

- 1-017-1 大分県における病院前12誘導心電図判読件数の医療機関別傾向
大分大学医学部附属病院 災害マネジメント総合支援センター 中嶋 辰徳
- 1-017-2 災害医療支援におけるAsynchrony (非同期性) の検討:能登半島地震の経験
湘南鎌倉総合病院 脳神経外科/東海大学医学部 脳神経外科学 堀田 和子
- 1-017-3 徳島市医師会会員による災害時安否確認訓練
徳島市医師会 救急・防災対策委員会/医療法人倚山会 田岡病院 救急科 上山 裕二
- 1-017-4 能登半島地震にみる災害時健康支援の情報連携課題とその構造的要因
慶應義塾大学 宮川 祥子
- 1-017-5 安否確認システムの運用見直しと訓練 (第3報)
横浜市立大学附属市民総合医療センター 荻田 義明
- 1-017-6 新EMIS移行に伴う操作研修の実施と課題の検討
社会医療法人財団池友会 新小文字病院 薬剤科 辻本 朗
- 1-017-7 病棟看護スタッフにおける災害時連絡手段の比較検討
ーメーリングリストとLINEの有効性を探るー
兵庫医科大学病院 一般病棟内科・外科 井上 幹也
- 1-017-8 QRコードを用いた簡易的トリアージ情報管理システムを
地域消防組織に展開する試み (第2報)
みさと健和病院 救急総合内科 山田浩二郎

■口演 1-18

1日目 (3月19日) 18:15～19:15

第10会場 (展示ホールA4(特設))

「データ分析」を科学する

座長 佐藤 大 (東北医科薬科大学医学部 救急・災害医療学教室)
水野 浩利 (札幌医科大学医学部 救急医学講座)

- 1-O18-1 大規模災害時における道路・通信・宿営環境が救急活動に与える影響
—能登半島地震における三重県救急小隊の課題と実践的提言—
日本赤十字社 伊勢赤十字病院/三重県救急搬送医療連携協議会 宮崎伊佐夫
- 1-O18-2 大規模災害後の子どもの生活に関する文献検討
第3報 被災した子どもとの各専門職の関わり
防衛医科大学校医学教育部 看護学科 小児看護学講座 本宮めぐみ
- 1-O18-3 災害医学研究におけるデータ収集源と活用の現状と課題
東北大学 野中小百合
- 1-O18-4 南海トラフ地震では災害派遣精神医療チーム (DPAT) が何隊必要か? :
災害後の心的外傷後ストレス症状および抑うつ症状のメタ解析から
筑波大学人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 フロンティア医科学学位プログラム/
茨城県立こころの医療センター 矢口 知絵
- 1-O18-5 新型コロナウイルス感染症対応におけるDMAT看護師の看護実践の構造
県立広島大学 山田 裕紀
- 1-O18-6 大規模災害における医療・看護支援活動上の課題と構造的要因:
質的研究に基づく課題の抽出と持続可能な支援体制構築への提言
東邦大学 尾立 篤子

■ポスター 1-1

1日目 (3月19日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「津波・浸水対策」を科学する

座長 安部 亮 (社会医療法人陽明会 小波瀬病院)
大山 太 (東海大学医学部 看護学科)

- 1-P1-1 カムチャッカ半島地震における津波警報発令時の対応と課題
市立函館病院 救命救急センター 武山 佳洋
- 1-P1-2 津波警報発令時の横須賀市の対応
横須賀市保健所 松川加奈子
- 1-P1-3 津波到達までに何ができるか? 第3報 —垂直避難の先に待っていた混乱—
市立室蘭総合病院 下館 勇樹
- 1-P1-4 地震等の実害のない津波警報 (令和7年7月30日) に伴う
本学の対応方針と振り返りについて
和歌山県立医科大学 宮田 亜季
- 1-P1-5 浸水被害を想定した救命救急病棟垂直避難訓練の概要
海老名総合病院 若井慎二郎

- 1-P1-6 簡易型止水板を用いた浸水対策の有効性の検証
地方独立行政法人加古川市民病院機構 加古川中央市民病院 事務局 企画総務部 村上佑太郎
- 1-P1-7 内水氾濫に対応した止水板の運用マニュアルの作成
東京都立墨東病院 事務局 市原 英司
- 1-P1-8 止水板設置判断を契機とした防災体制見直しの一例
厚生連高岡病院 看護部 救命救急センター外来 南本 祐希

■ポスター1-2

1日目 (3月19日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「支援者支援」を科学する

座長 白子 隆志 (下伊那赤十字病院)
吉岡 留美 (人間総合科学大学保健医療学部 看護学科)

- 1-P2-1 被災地における医事業務支援
海陽町国民健康保険海南病院 國永 直樹
- 1-P2-2 能登半島地震における支援者の健康管理
公立能登総合病院 圓角 文英
- 1-P2-3 避難所支援からみる民間NGO医療チームの役割 - TMATの30年の活動を通して -
NPO法人TMAT 野口 幸洋
- 1-P2-4 NGOの医療支援活動における事務職の役割
- 病院業務経験を生かした災害医療支援の可能性 -
NPO法人TMAT / 一般社団法人徳洲会 阪木 志帆
- 1-P2-5 フィールドホスピタル展開訓練を行い見えた課題について
医療法人徳洲会 四街道徳洲会病院 薬剤部 / NPO法人TMAT 柳川 拓哉
- 1-P2-6 災害時におけるウィメンズヘルスの課題に関する文献検討
京都橘大学 小野 愛梨
- 1-P2-7 災害支援活動に参加した女性看護師が派遣前から派遣後において感じた問題と対策
東京科学大学医学部 保健衛生学科 看護学専攻 新部 智佳
- 1-P2-8 見える英雄 / 見えないケア労働
——台湾・花蓮の消防士における災害、男性性、ヒロイズム
国立清華大学 人類学研究科 呉 恵如

■ポスター1-3

1日目 (3月19日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「災害対応」を科学する 1

座長 嶋村 文彦 (千葉県総合救急災害医療センター 副病院長)
西 健太 (大阪急性期・総合医療センター 災害対策室)

- 1-P3-1 演題取下

- 1-P3-2 消防局と合同で行なった院内多数傷病者受入訓練
神戸市立医療センター中央市民病院 寺本 昇生
- 1-P3-3 2025年度 埼玉県国民保護訓練
深谷赤十字病院 長島真理子
- 1-P3-4 数年間連続参加している埼玉県国民保護実働訓練の変化
埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター 園田健一郎
- 1-P3-5 愛知県重症外傷センターに指定された当院における
病院救命士の外傷診療への参画について
JCHO中京病院 江森 達輝
- 1-P3-6 地震等の災害発生時における診療報酬上の施設基準について
厚生労働省 保険局医療課 青木 大宗
- 1-P3-7 災害時の整形外科臨床能力を日常業務で意識していく試み
国立国際医療センター 福島 憲治
- 1-P3-8 原子力災害時の屋内退避計画における課題～病院支援の必要性和不確実性～
松江赤十字病院 田邊 翔太

■ポスター1-4

1日目 (3月19日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「災害薬事」を科学する

座長 藤本万理恵
涌嶋伴之助 (鳥取大学医学部附属病院 薬剤部)

- 1-P4-1 災害薬事研修会実施に向けた取り組みと課題
～初開催に向けた取り組み～
国立療養所栗生楽泉園 百武 宏志
- 1-P4-2 西方沖地震の避難所における災害時処方医薬品の使用動向調査
福岡大学薬学部 健康危機管理薬学/宮崎大学医学部附属病院 森崎 愛夢
- 1-P4-3 災害時薬物治療を行う際に必要となる資材の作成と使用時の課題
NPO法人TMAT/医療法人徳洲会 四街道徳洲会病院 薬剤部 吉川 瑞帆
- 1-P4-4 震災に備えた市中病院ERにおける配置推奨薬剤の検討
名古屋市立大学病院 薬剤部 早川 智章
- 1-P4-5 災害・緊急時における医療機器の薬事承認等に係る考え方の整理のための研究
国立医薬品食品衛生研究所 山本 栄一
- 1-P4-6 深部静脈血栓症における抗凝固薬の使用状況
江東病院 循環器内科 高部 智哲
- 1-P4-7 災害処方箋の記載演習から見えてきた平時の課題
多根総合病院/薬剤部 岩井 裕香
- 1-P4-8 薬学生・薬剤師のための薬事トリアージ演習における
シミュレーション教材の開発 (第2報)
九州医療科学大学薬学部 薬学科 徳永 仁

■ポスター1-5

1日目 (3月19日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「データ解析」を科学する

座長 萩原 康友 (名古屋掖済会病院 救急科)
森田 浩史 (福井大学医学部附属病院 救急科)

- 1-P5-1 東日本大震災後の双葉郡における災害関連死データ収集の現場の課題
福島県立医科大学 伊東 尚美
- 1-P5-2 欠番
- 1-P5-3 避難生活と仮設住宅での生活を経験した令和6年能登半島地震による被災者の
血圧の推移と血圧に影響を与えた要因に関する検討
特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 木下真由香
- 1-P5-4 能登半島地震被災地における高齢者の健診受診とフレイル率変化に関する調査
福島県立医科大学医学部 放射線健康管理学講座 阿部 暁樹
- 1-P5-5 クラスタリング解析を用いた東日本大震災後の南相馬市における
大腸がん検診受診状況の変化に関する研究
福島県立医科大学医学部 放射線健康管理学講座/国立病院機構 災害医療センター 吉村 弘記
- 1-P5-6 自然災害時に、Footwrapは靴下を代替し得るか
相澤病院 形成外科 水藤 元武
- 1-P5-7 住まい再建までの長期化が被災高齢者の肥満
およびサルコペニア発症リスクに及ぼす影響
帝京大学医学部 衛生学公衆衛生学講座/岩手医科大学 衛生学公衆衛生学講座 坪田 (宇津木) 恵
- 1-P5-8 WADEM 2025抄録群のトピック分析
岡山大学学術研究院 医歯薬学域 地域医療共育推進オフィス 香田 将英

■ポスター1-6

1日目 (3月19日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「救護所訓練」を科学する

座長 林 宗博 (日本赤十字社医療センター 救命救急センター)
三浦由紀子 (山梨大学大学院 医工農学総合教育部 博士課程 ヒューマンヘルスケア学専攻)

- 1-P6-1 ゼロから考えた現場で動ける緊急医療救護所の運用
地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立多摩総合医療センター 災害対策チーム 木本 雅人
- 1-P6-2 院内大規模災害訓練と津市三師会開設救護所の同時訓練を実施して
国立病院機構 三重中央医療センター 竹田ゆかり
- 1-P6-3 行政と地区医師会との連携に基づく緊急医療救護所訓練から得られた課題
東京女子医科大学病院 病院防災・減災管理支援委員会 武田 宗和
- 1-P6-4 地方自治体の病院前救護所の設置に向けたチャレンジ
～新たな医療救護体制への移行～
静岡県磐田市役所 伊藤 貴規

- 1-P6-5 初めての病院前救護所訓練を実施したその評価と考察
医療法人社団誠馨会 新東京病院 増井 敏郎
- 1-P6-6 病院前救護所訓練の当院経営への寄与について
医療社団法人誠馨会 新東京病院 安倍 晋也
- 1-P6-7 冬季防災訓練の必要性和安全に実施するための課題について
日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 吉川 靖之
- 1-P6-8 多職種学生対象の災害ロジスティクス演習 (SMILE) の運営評価
—新上五島町での第3回実施の事後解析—
長崎大学病院高度救命救急センター 遠藤 成矩

■ポスター1-7

1日目 (3月19日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「災害訓練」を科学する 1

座長 佐藤めぐみ (福島県立医科大学附属病院)
中谷 宜章 (東京慈恵会医科大学 救急災害医学講座)

- 1-P7-1 ここから始める災害対応力向上の第一歩
～多忙な非災害拠点病院の救急外来における災害時初動に関する図上訓練の実践～
一宮西病院 豊口 大樹
- 1-P7-2 地域病院の災害対応力の強化への支援
兵庫医科大学病院 雑賀 逸平
- 1-P7-3 ファシリテーションを活用した災害対策訓練の実践報告
—発災初動訓練、患者受け入れから手術室までの流れを通じて—
聖路加国際病院 救命救急センター 小田 美瑛
- 1-P7-4 院内訓練の振り返りと今後の課題 ～医療従事者の災害対応力の向上に向けて～
京都府立医科大学附属病院 野村 奈央
- 1-P7-5 体験を取り入れた多職種との災害訓練の効果
東京家政大学 柳橋 正智
- 1-P7-6 病院管理者向けに行なった災害訓練の振り返り
水戸済生会総合病院 井坂 健一
- 1-P7-7 A病院における災害時病棟業務継続訓練の再検証
富山市立富山市民病院 山路 修平
- 1-P7-8 院内災害訓練における「見える化」した運営支援体制の整備
関東労災病院 星野まりや

■ポスター1-8

1日目 (3月19日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「災害関連死」を科学する

座長 内海 清乃 (国際医療福祉大学大学院 災害医療分野・国際医療福祉大学大学院 災害保健医療研究センター)
松田 宏樹 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)

- 1-P8-1 災害後の長期的支援の必要性：福島原発事故後の災害関連死基準から得られた教訓
福島県立医科大学 放射線健康管理学講座 石川 悠杏
- 1-P8-2 災害関連死における災害弔慰金不支給処分取消等請求訴訟の症例検討
東京慈恵会医科大学医学部 医学科 加藤璃璃子
- 1-P8-3 慢性疾患を死因とする災害関連死の認定要件の検討
浜松医科大学医学部 医学科 高木 柊哉
- 1-P8-4 災害関連死認定の偏りとその是正策
浜松医科大学医学部 医学科 森崎 澁
- 1-P8-5 災害関連後遺症の定義付けについて
福島県立医科大学 放射線健康管理学講座 二上 純奈
- 1-P8-6 災害用段ボールベッドの体圧分散性に関するスコوپングレビュー
藤田医科大学保健衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻 羽柴 涼太
- 1-P8-7 青森県における酷暑期の避難所環境下での睡眠の質の評価
弘前大学医学部 保健学科看護学専攻 中松 樹
- 1-P8-8 「新たな困りごと」が視える実践型避難所シミュレーション
滋賀医科大学 大坪 琉奈

■ポスター1-9

1日目 (3月19日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「院内災害対策」を科学する 1

座長 沢本 主悟 (札幌医科大学医学部 救急医学講座)
田中 航 (鳥根大学医学部附属病院 高度外傷センター)

- 1-P9-1 安否確認システムを活用した全職員を対象とした
災害時の登院に関するアンケート調査
一宮西病院 池戸 亮治
- 1-P9-2 病院災害対策に救急救命士が参画する意義
社会福祉法人同愛記念病院 中村 聡馬
- 1-P9-3 当院における災害時の職員の登院・帰宅困難対策
彩の国東大宮メディカルセンター 山田 千丸
- 1-P9-4 病院水害タイムラインの作成 その1
～2023年7月東北豪雨の再現シミュレーションに基づく災害対応開始基準の策定～
清水建設株式会社 技術研究所 長谷部雅伸

- 1-P9-5 災害時勤務可能職員数の予測と診療体制維持の課題：院内防災訓練アンケートから
三重大学医学部附属病院 薬剤部 森川 祥彦
- 1-P9-6 A災害救護病院における災害発生時の招集要請に応じる職員の実態調査
公益社団法人有隣厚生会 富士病院 赤平 法三
- 1-P9-7 災害対策訓練縮小化に伴う救命救急センター看護師への代替教育の効果検証
聖路加国際病院 救命救急センター 松井 沙樹
- 1-P9-8 師長と主任の災害対応における課題抽出のための調査
社会医療法人緑泉会 米盛病院 看護部 田原 彩乃

■ポスター1-10

1日目 (3月19日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「多職種連携」を科学する

座長 染谷 泰子 (帝京平成大学健康メディカル学部)
山田 裕彦 (岩手県立大船渡病院 救命救急センター)

- 1-P10-1 防災・危機管理部門から見た部局間の情報連携体制の現状と課題
徳島大学 環境防災研究センター 坂東 淳
- 1-P10-2 災害時に求められる医療ソーシャルワーカーの役割
ー1.5次避難所現地責任者の実践分析から教育的示唆へー
神戸学院大学 伊藤 隆博
- 1-P10-3 災害時に動く地域資源：住民や団体・NPO・企業・大学等の支援機能の見える化
松本看護大学 原岡 智子
- 1-P10-4 病院救急救命士は災害現場で十分活動できるか？
～災害救護担当者と連携した病院救急救命士の教育体制の構築～
長浜赤十字病院 谷村 仁志
- 1-P10-5 在宅医療におけるフェイズフリーかつシームレスな
多職種連携支援システムの構築と地域レジリエンス向上
大阪府健康医療部 辻野 悦次
- 1-P10-6 三重県における多数傷病者対応訓練プログラムの開発と実践ー第2報ー
日本赤十字社 伊勢赤十字病院 説田 守道
- 1-P10-7 共通言語 (CSCAHHH) の理解を主眼とした多職種連携下の避難所訓練の工夫
南奈良総合医療センター 高山 良光
- 1-P10-8 災害時の保健・医療・福祉の連携を促進する多職種協働研修の実践報告
ー相互理解と協働関係の構築を目指してー
熊本赤十字病院 看護部手術センター 兼 国際医療救援部 救援課 小林 賢吾

■ポスター1-11

1日目 (3月19日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「災害拠点病院」を科学する 1

座長 神原 淳一 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 救急科)
竹上 徹郎 (京都第一赤十字病院 救命救急センター)1-P11-1 災害拠点病院指定に向けた人材育成と組織体制の構築
ー災害対策委員会4年間の取り組みー

社会福祉法人同愛記念病院財団 同愛記念病院 富永 千晶

1-P11-2 知ることからはじめる災害拠点病院づくり

社会福祉法人済生会 新潟県中央基幹病院 渡邊 晶

1-P11-3 災害拠点病院増床計画における当院の役割

大台厚生病院 鈴木 悠子

1-P11-4 地域災害拠点病院における災害対応能力の向上を図るための活動

地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院 上田 篤史

1-P11-5 令和7年度大規模地震時医療活動訓練参加報告

社会医療法人敬愛会 中頭病院 仲宗根 智

1-P11-6 災害基幹病院における職員の災害対応能力向上を目指した訓練手法

千葉県総合救急災害医療センター 高橋 勇樹

1-P11-7 災害拠点病院における大規模災害時手術室運用訓練の取り組み

聖隷浜松病院 外傷救急外科/聖隷浜松病院 防災管理室 伊良部真一郎

1-P11-8 地域災害拠点病院に指定されてから初めての炊き出し訓練

伯鳳会 東京曳舟病院 救急救命士課 磯崎 千尋

■ポスター1-12

1日目 (3月19日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「調査」を科学する

座長 奥村 順子 (長崎大学熱帯医学研究所)
高橋 耕平 (横浜市立市民病院 救急診療科)

1-P12-1 西方沖地震の避難所における抗菌薬の処方状況の調査

福岡大学薬学部 健康危機管理薬学 中邑 風貴

1-P12-2 ふくしまシティハーフマラソンにおける医療救護体制の変遷

福島県立医科大学医学部 高橋 知己

1-P12-3 ミャンマー地震に対する国際緊急援助隊医療チーム1次隊の救護活動における
医薬品使用状況の調査

福岡大学薬学部 健康危機管理薬学 中原沙知子

1-P12-4 医療系学生が被災地で災害医療を学ぶ
「災害医療 Study Days in 能登半島」の活動報告と効果の実証

国際医療福祉大学 田村 晃子

- 1-P12-5 新型コロナウイルス感染症流行時の子ども虐待に関する文献検討
京都橋大学 矢田 帆花
- 1-P12-6 令和6年能登半島地震 被災地診療所の発災後2週間の受診者分析
福島県立医科大学 放射線健康管理学講座 丸井 秀則
- 1-P12-7 高血圧患者の令和6年能登半島地震発災前後における血圧の変化
福島県立医科大学 放射線健康管理学講座 北澤 賢明
- 1-P12-8 石川県珠洲市における小学生に対する学習支援活動並びに発災1年半後の状況報告
千葉大学医学部 萱原慎太郎

■ポスター1-13

1日目 (3月19日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「職能団体」を科学する

座長 恩部 陽弥 (鳥取大学医学部附属病院 看護部)
丸山 嘉一 (日本赤十字看護大学附属災害研究所)

- 1-P13-1 災害支援における医療ソーシャルワーカーの意義
国立健康危機管理研究機構 厚生労働省 DMAT事務局 中野めぐみ
- 1-P13-2 IMAT訓練・実動から抽出された課題に対する解決策の評価
日本医科大学千葉北総病院 海老原由季
- 1-P13-3 災害支援における心理職専門職能団体としての関わり
社会医療法人へいあん 平安病院 滝 友秀
- 1-P13-4 歯科における災害医療に対する認識の向上について
医療法人社団ニイガタクリニック 成澤 祥子
- 1-P13-5 災害支援が届きにくい鹿児島におけるJDA-DAT養成研修とDMAT連携
— 大規模災害での即応力
鹿児島市立病院 救命救急センター 高間 辰雄
- 1-P13-6 災害支援が届きにくい鹿児島におけるJDA-DAT養成研修の取り組み
(公社)鹿児島県養士会/鹿児島県立若駒学園 山下 雅世
- 1-P13-7 VMAT (災害派遣獣医療チーム) による避難所運営への介入と防災教育
始良市消防本部 上湯湯貴志
- 1-P13-8 避難所運営とペット同行避難
健生会土庫病院 中尾 武

2日目 3月20日(金)

■会長講演

2日目(3月20日) 13:00～13:45

第1会場(4Fマリンホール)

座長 近藤 久禎(国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)

2-PL 災害を科学する～経験を科学に

新潟大学大学院医歯学総合研究科 地域医療確保・地域医療課題解決支援講座
災害医学・医療人育成分野 高橋 昌

■特別企画9

2日目(3月20日) 10:10～11:40

第1会場(4Fマリンホール)

(新潟県医師会企画)新潟県の災害における保健医療活動
～被災地医師会、DMAT、行政の連携～

座長 大谷 哲也(新潟市民病院)

廣瀬 保夫(新潟市民病院 救命救急・循環器病・脳卒中センター)

2-SS9-1 新潟県が被災地であった災害に対する医療活動の歴史

新潟市民病院 救命救急・循環器病・脳卒中センター 熊谷 謙

2-SS9-2 新潟県中越地震における地元医師会の災害医療活動

中村内科消化器科医院 中村 忠夫

2-SS9-3 中越沖地震における災害拠点病院、医師会、DMATの連携、 そして災害対応から学んだこと

つよしクリニック/日本DMAT/新潟DMAT 津吉 秀樹

2-SS9-4 新潟県中越沖地震における保健医療活動～地域医師会、DMAT、行政の連携～ 現地保健所の立場から

新潟県柏崎保健所(兼)新潟県福祉保健部 堀井 淳一

2-SS9-5 震災・災害後の静脈血栓塞栓症(エコノミークラス症候群)予防活動について

新潟大学大学院医歯学総合研究科 先進血管病・塞栓症治療・予防講座 榛沢 和彦

■特別企画10(大会ホームページをご覧ください)

2日目(3月20日) 15:00～16:00

第6会場(3F中会議室302)

座長 飯村 学(国際協力機構(JICA)国際緊急援助隊事務局)

富岡 譲二(社会医療法人緑泉会 米盛病院)

2-SS10 (緊急報告)ミャンマー連邦共和国地震被害における国際緊急援助隊医療チームの 活動について

横浜労災病院 中森 知毅

日本医科大学武蔵小杉病院 井上 潤一

埼玉医科大学総合医療センター 増田由美子

岩手医科大学 藤原 弘之

埼玉医科大学総合医療センター 井上 信明

■特別企画11 (大会ホームページをご覧ください)

2日目 (3月20日) 10:35～11:35

第7会場 (展示ホールA1(特設))

座長 石井美恵子 (国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究所 保健医療学専攻 災害医療分野)
塚田 芳久 (新潟県厚生農業協同組合連合会)

2-SS11 (新潟大学企画) 新潟からの発信! 一企業の取り組み—

安達紙器工業株式会社 安達真知男
船山株式会社 小山 敦史
株式会社ブルボン 井手 規秀
NPO法人コメリ災害対策センター 西室 幸徳
株式会社塚田牛乳 塚田 正幸

■特別企画12 (大会ホームページをご覧ください)

2日目 (3月20日) 10:10～11:40

第9会場 (展示ホールA3(特設))

座長 笠岡 俊志 (熊本大学病院 災害医療教育研究センター)
内藤 久貴 (熊本県健康福祉部健康局 健康づくり推進課)

2-SS12 (熊本大学企画) (語り部) 熊本からの発信 一熊本地震、南阿蘇—

熊本地震 震災ミュージアム KIOKU 久保 亮之
熊本地震 震災ミュージアム KIOKU 市村 孝広
国立大学法人熊本大学工学部 土木建築学科/学生災害復旧支援団体「熊助組」 竹内裕希子

■教育講演5

2日目 (3月20日) 09:00～10:00

第1会場 (4Fマリンホール)

座長 高橋 昌 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 災害医学・医療人育成分野)

2-EL5-1 本人主体のPHR (パーソナルヘルスレコード) で実現する災害医療DX

京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 予防医療学分野 石見 拓

2-EL5-2 災害時要医療的配慮者の情報管理—災害時に活用できるPHRシステム“PHReD”

新潟大学大学院医歯学総合研究科 新潟地域医療学講座 災害医学・医療人育成部門 高橋 昌

■教育講演6

2日目 (3月20日) 15:00～16:00

第1会場 (4Fマリンホール)

座長 千島佳也子 (国立健康危機管理研究機構 危機管理運営局 DMAT事務局)

2-EL6 介護医療都市と能登半島地震

穴水総合病院 中橋 毅

■教育講演7

2日目 (3月20日) 09:00～10:00

第2会場 (2FスノーホールA)

座長 伊藤 宏保 (新潟大学 未来社会共創ラボ)

2-EL7 新潟県中越地震からの教訓～DiaMATの創設に向けて

長岡中央総合病院 糖尿病センター 八幡 和明

■教育講演8

2日目 (3月20日) 15:00～16:00

第2会場 (2FスノーホールA)

座長 堂前洋一郎 (一般社団法人新潟県医師会)

2-EL8 世界初の日本酒学 (Sakeology)

新潟大学 平田 大

■教育講演9

2日目 (3月20日) 16:40～17:40

第3会場 (2FスノーホールB)

座長 中島 康 (東京都立病院機構 法人本部)

2-EL9 イノベーションを生み出す人材と組織：忍者（起承）と武士（転結）の融合が
創り出す「起承転結」の現場対応力～災害医療を動かすヒント～大阪大学フォアサイト株式会社／麗澤大学／横浜市立大学大学院国際マネジメント研究科／
名古屋電機株式会社／株式会社サニックス資源開発グループ 竹林 一

■教育講演10

2日目 (3月20日) 15:00～16:00

第4会場 (2F中会議室201)

座長 山口 順子 (日本大学医学部 救急医学系 救急集中治療医学分野)

2-EL10 災害時の要支援者に対する口腔ケアと食支援

新潟大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野 井上 誠

■教育講演11

2日目 (3月20日) 7:50～8:50

第5会場 (3F中会議室301)

2-EL11 社会医学系専門医「指導医講習会」

新潟大学大学院医歯学総合研究科 災害医学・医療人育成分野 高橋 昌
愛知医科大学病院 救急診療部 加納 秀記

■教育講演12

2日目 (3月20日) 15:00～16:00

第5会場 (3F中会議室301)

座長 岡崎 史子 (新潟大学医学部 医学教育学分野)

2-EL12 災害医療現場に必要なリーダーシップ・マネジメントを考える

山口大学医学部附属病院 総合診療部／山口大学医学部附属病院 臨床教育センター 齊藤 裕之
新潟市民病院 救急科／岐阜大学大学院医学系研究科 医科学専攻医学教育学博士課程 吉田 暁

■教育講演13

2日目 (3月20日) 16:40～17:40

第6会場 (3F中会議室302)

社会医学系専門医講習：共通講習（感染症）

座長 五十嵐 豊 (日本医科大学 救急医学教室)

2-EL13 感染症アウトブレイク・パンデミックの対処と課題～公衆衛生倫理と人権問題～

地方独立行政法人神奈川県立病院機構 阿南 英明

■シンポジウム8

2日目 (3月20日) 16:10～17:40

第1会場 (4Fマリンホール)

熊本地震から10年～その教訓はどのように活かされたか

座長 笠岡 俊志 (熊本大学病院 災害医療教育研究センター)

中森 知毅 (労働者健康安全機構 横浜労災病院 救命救急センター)

2-SY8-1 熊本地震：急性期の本部、搬送体制の立上げを振り返る

済生会熊本病院 佐藤 友子

2-SY8-2 熊本地震における多数傷病者受入、手術対応、受援の経験からの教訓

熊本託麻台リハビリテーション病院 堀 耕太

2-SY8-3 熊本地震からの教訓 ～災害時VTE（静脈血栓塞栓症）対応～

医療法人木星会 山鹿温泉リハビリテーション病院 細川 浩

2-SY8-4 災害時小児周産期リエゾンの歩みと今後の展望

国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局 上杉 泰隆

2-SY8-5 熊本地震から10年～災害に備える心構え～

阿蘇医療センター 甲斐 豊

2-SY8-6 熊本地震での支援経験を生かした災害支援活動の考え方の構築と
地域災害医療体制の確立に向けた試み

栢記念病院 災害救急医療部 石川 敏仁

■シンポジウム9

2日目 (3月20日) 16:10～17:40

第2会場 (2FスノーホールA)

越の民は立ち直りたり

座長 伊藤 宏保 (新潟大学 未来社会共創ラボ)

森川 精二 (長野松代総合病院 整形外科)

2-SY9-1 大学メンタルケア専門家チーム「KEYPAT」の活動から振り返る
令和6年能登半島地震・水害

金沢大学保健管理センター 吉川 弘明

2-SY9-2 能登半島地震における輪島市の保健医療福祉提供体制の復旧・復興支援

国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局／
共立女子大学大学院修士課程 療養生活支援看護学領域 小児看護学分野 上吉原良実

2-SY9-3 令和6年能登半島地震における社会福祉施設復興の現状と課題

公立松任石川中央病院 災害医療対策センター 安間 圭一

2-SY9-4 越の民 (医) よく堪えて ここに立ち直りたり -能登の医療現場より-

公立能登総合病院 圓角 文英

■シンポジウム10

2日目 (3月20日) 10:10～11:40

第3会場 (2FスノーホールB)

病院・福祉施設の籠城支援を考える

座長 近藤 久禎 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)
鈴木 教久 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)2-SY10-1 (市立輪島病院) 災害拠点病院としての機能を失った極限の状況下における
施策・受援そして職員を守る視点

輪島市役所 河崎 国幸

2-SY10-2 令和6年能登半島地震における養護老人ホームでの籠城・避難の経験

養護老人ホーム ふるさと能登 大角 千加

2-SY10-3 福島第一原子力発電所事故における病院の屋内退避(籠城)の経験と支援の必要性

福島県立医科大学医学部 放射線健康管理学講座/南相馬市立総合病院 地域医療センター/
台東区立台東病院 総合診療科 野中 沙織2-SY10-4 大規模地震を想定した重症心身障害児者施設における籠城支援の課題と提言
—みちのく療育園メディカルセンター訓練の振り返りを通して—

三重大学医学部附属病院 高度救命救急・総合集中治療センター 新貝 達

■シンポジウム11

2日目 (3月20日) 17:50～19:20

第4会場 (2F中会議室201)

災害と在宅医療

座長 井口清太郎 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 地域医療確保・地域医療課題解決支援講座 地域医療分野)
高橋 在也 (日本在宅ケアアライアンス)

2-SY11-1 “必ず来る災害”に備える在宅呼吸療法支援 一臨床工学技士が守る患者の呼吸—

諏訪中央病院 松尾 昌

2-SY11-2 クラウド型災害情報システムを用いた在宅医療患者の情報収集と集約

大阪急性期・総合医療センター 中西 泰造

2-SY11-3 災害時における在宅酸素・人工呼吸器使用者支援体制の構築に向けた取り組み

国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局/利根中央病院 救急科・総合診療科 鈴木 諭

2-SY11-4 洪水時における在宅医療患者の避難課題と支援方策：三段階調査による多面的検討

医療法人社団悠翔会 ノビシロクリニック藤沢 宮武 寛知

2-SY11-5 災害連絡網の情報共有から明らかになった、在宅ケアに係る災害支援の課題

日本在宅ケアアライアンス 高橋 在也

■シンポジウム12

2日目 (3月20日) 10:10～11:40

第5会場 (3F中会議室301)

WHOKC ジョイントセッション：Health EDRM(災害・健康危機管理)研究の現在地と未来地図

座長 茅野 龍馬 (WHO神戸センター)
原田奈穂子 (岡山大学学術研究院 ヘルスシステム統合科学学域 看護科学分野)

2-SY12-1 災害・健康危機管理 (Health EDRM) 研究の現状と今後の展望：
日本の先進性と世界貢献への期待

WHO神戸センター／長崎大学／広島大学 茅野 龍馬

2-SY12-2 WHO神戸センターでのHealth EDRMの国内普及の取り組み

東京大学大学院新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻 医療イノベーションコース／
国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 加藤真喜子

2-SY12-3 The Future Trajectory of the WHO Health EDRM Research Network:
Sustaining Global Evidence and the Imperative for Japanese Disaster Medical
Research Leadership

Global Disaster Risk Reduction, UK Health Security Agency Murray Virginia

2-SY12-4 我が国における災害・健康危機による健康影響研究の動向と課題：
Health EDRMの視点からのスコーピングレビュー

国立保健医療科学院 富尾 淳

指定発言 災害による二次的健康被害への科学的アプローチへの期待

厚生労働省 大臣官房厚生科学課 災害等危機管理対策室 野中 良恵

■シンポジウム13

2日目 (3月20日) 16:10～17:40

第5会場 (3F中会議室301)

大震災における呼吸器疾患患者

座長 大河内真也 (東北大学大学院医学研究科 産業医学分野)
大嶋 康義 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 呼吸器・感染症内科学分野)

2-SY13-1 新潟県中越地震・中越沖地震における呼吸器疾患患者と在宅呼吸療法

新潟大学大学院医歯学総合研究科 呼吸器・感染症内科学分野 大嶋 康義

2-SY13-2 熊本地震における熊本中央病院の対応と発災後の呼吸器疾患入院患者について

熊本中央病院 呼吸器内科 平田奈穂美

2-SY13-3 災害時の呼吸器疾患に起因する健康被害に対する考察 ～東日本大震災の経験から～

東北大学大学院医学系研究科 産業医学分野／東北大学病院 呼吸器内科 大河内真也

2-SY13-4 災害時におけるD-MAPを活用した呼吸器疾患患者への対応

帝人ファーマ株式会社 流通管理部 田村 優次

2-SY13-5 在宅療養者への災害対策支援

フクダ電子株式会社 ライフテック本部 薬師川聡子

■シンポジウム 14

2日目 (3月20日) 17:50～19:20

第7会場 (展示ホールA1(特設))

「BCP研修には何が求められるか？」—企画する立場から—

座長 堀内 義仁 (国際医療福祉大学 熱海病院)
本間 正人 (鳥取大学医学部 救急災害医学分野)

- 2-SY14-1 「BCP研修には何が求められるか？」—企画する立場から— (BCP研修検討委員会)
国際医療福祉大学 熱海病院 堀内 義仁
- 2-SY14-2 被災地支援に求められるBCP (業務継続計画) と研修項目
国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 三村 誠二
- 2-SY14-3 介護福祉施設を対象とした防災対応研修～愛知県での5年間の取り組み～
愛知医科大学 災害医療研究センター 柴田 隼人
- 2-SY14-4 平面図と駒を用いた行動シミュレーションによるBCP研修
—楽しさから実感を生む仕掛けづくり—
淀川平成病院 中田 直子
- 2-SY14-5 風水害BCPワークショップの質的分析に基づく平時のCSCATTT活用の示唆
長岡赤十字病院救命救急センター 小林 和紀
- 2-SY14-6 アクションリサーチによるボトムアップ型策定の効果
—BCP研修に求められる実践知—
長岡赤十字看護専門学校 看護学科 平野美樹子
- 2-SY14-7 災害急性期BCP研修に求められる患者安全状況モニターとHHH?
恵寿総合病院 新井 隆成
- 2-SY14-8 BCPは災害対応にとどまらず、未来を創る企業戦略である
大浜第一病院 萩池 昌信

■シンポジウム 15

2日目 (3月20日) 16:40～18:10

第9会場 (展示ホールA3(特設))

透析医療を確保する災害時広域連携の進歩と課題

座長 岩瀬 史明 (山梨県立中央病院 高度救命救急センター)
島崎 哲弥 (富山市立富山市民病院 臨床工学科)

- 2-SY15-1 実際の大災害と大規模地震時医療活動訓練における透析患者の広域搬送で得られた課題
東北大学腎臓内科学 宮崎真理子
- 2-SY15-2 東日本大震災における透析医療の維持と広域避難の教訓
—地域からみた災害時透析医療確保体制の課題と展望—
公益財団法人ときわ会 常磐病院リハビリテーション科 高松 克守
- 2-SY15-3 災害時の透析医療継続に向けた隣接県行政の協力の必要性と広域搬送体制構築の課題
青森県立中央病院 小笠原 賢
- 2-SY15-4 災害時における透析情報の共有—アンケート調査から
東北大学大学院医学系研究科 医学情報学 中山 雅晴

2-SY15-5 災害時広域関東圏連携における神奈川県の記事

独立行政法人労働者健康安全機構 関東労災病院／一般社団法人神奈川県透析危機対策協議会 矢尾 淳

■パネルディスカッション12

2日目 (3月20日) 17:50～19:20

第1会場 (4Fマリンホール)

広域避難の受け入れ～1.5次避難・遠隔避難

座長 稲田 眞治 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 救急科)
中村 光伸 (前橋赤十字病院 集中治療科・救急科)

2-PD12-1 薬事対応から見た広域避難の受け入れ

藤田医科大学／新潟大学 和泉 邦彦

2-PD12-2 令和6年能登半島地震DMAT4次隊派遣において経験した広域避難の受け入れとその課題

多根総合病院 救急科 柳 英雄

2-PD12-3 令和6年能登半島地震における高齢者広域避難後の転帰～死亡リスクと移動制約の分析～

愛知医科大学 災害医療研究センター 高橋 礼子

2-PD12-4 令和6年能登半島地震における1.5次避難所での福祉団体の役割と課題

国立健康危機管理研究機構 厚生労働省 DMAT事務局 中野めぐみ

■パネルディスカッション13

2日目 (3月20日) 10:10～11:40

第2会場 (2FスノーホールA)

CSM訓練の軌跡と未来—災害医療の魂を次世代へ—

座長 大場 次郎 (国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 国際対策課)
阪本 太吾 (日本医科大学多摩永山病院 救命救急科)

2-PD13-1 CSMによって助かる命は存在するのか？

—阪神・淡路大震災ならびにJR福知山列車脱線事故対応の経験から考察する

兵庫県災害医療センター／順心神戸病院 中山 伸一

2-PD13-2 本学におけるCSM研修の今までと今後

岩手医科大学医学部 救急・災害医学講座 眞瀬 智彦

2-PD13-3 新潟県消防学校高度救助コースと連携したDMATのCSRM訓練の意義と課題

新潟大学大学院医歯学総合研究科 地域医療確保・地域医療課題解決支援講座
災害医学・医療人育成分野 高橋 昌

2-PD13-4 国際緊急援助隊救助チームにおけるUSARとCSM

—25年間のあゆみと世界標準への挑戦、そして改めて国内展開へ—

日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急センター／
国際緊急援助隊医療チーム、同救助チーム医療班 井上 潤一

2-PD13-5 先達の使命を未来へつなぐ

—委員会企画CRASHコースの設計と人材育成—

国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局／
日本災害医学会 災害時急性期傷病対応検討委員会 大場 次郎

■パネルディスカッション14

2日目(3月20日)17:50~19:20

第2会場(2FスノーホールA)

災害による健康被害の科学的検証：学際的合意と協働を目指して

座長 小谷 聡司(厚生労働省 感染症対策課)
富尾 淳(国立保健医療科学院 健康危機管理研究部)

2-PD14-1 市町村における災害関連死の審査指針について

弁護士法人芦屋西宮市民法律事務所 津久井 進

2-PD14-2 日本の災害関連死の制度的課題と改善にむけた提言

さいたま赤十字病院高度救命救急センター／東北大学 災害科学国際研究所 災害医療国際協力学分野／
日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 坪井 基浩

2-PD14-3 Redesigning MHPSS with Evidence: What works, for Whom, and How to Implement as Scale

Curtin University Elizabeth Newham

2-PD14-4 日本における自然災害後の二次的健康被害に関するスコーピングレビュー

東北大学 災害科学国際研究所(IRIDeS) グローバルヘルス政策学分野 野村 周平

指定発言 日本災害医学会における正しい用語理解と使用の社会的インパクト

京都第一赤十字病院 救命救急センター 高階謙一郎

指定発言 災害による2次的健康被害への科学的アプローチへの期待

厚生労働省 大臣官房厚生科学課 災害等対策室 野中 良恵

指定発言 国民の命と健康を守るための重層的取り組み

内閣府 政策統括官(防災担当)付 参事官(避難支援担当)付 参事官 水野 忠幸

■パネルディスカッション15

2日目(3月20日)08:30~10:00

第3会場(2FスノーホールB)

行政のBCPの現状

座長 阿南 英明(地方独立行政法人神奈川県立病院機構)
近藤 久禎(国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)

2-PD15-1 超高齢社会における地域に必要なBCPとは

国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局 近藤 久禎

2-PD15-2 新潟市における保健医療福祉分野のBCP整備状況と課題について

新潟市保健所 山崎 哲

2-PD15-3 行政による医療機関BCP策定支援の成果と課題—広島県の取組と今後の展望—

広島県健康福祉局 健康危機管理課／広島大学大学院医系科学研究科 公衆衛生学 小山 智士

2-PD15-4 地域主導で始めるBCP—行政BCPを補完する現場からの取り組み—

倉敷中央病院 池上 徹則

■パネルディスカッション16

2日目(3月20日)15:00～16:30

第3会場(2FスノーホールB)

日本そして海外の「避難所支援」と「炊き出し」～イタリアだけじゃない事例から考える～

座長 奥田 博子(国立保健医療科学院 統括研究官)
福田 靖(徳島赤十字病院 救急科)

2-PD16-1 避難所の食のあり方～熊本地震、能登半島地震から学ぶ～

元内閣府(防災担当) 参与 高崎健康福祉大学・農学部 櫻庭 英悦

2-PD16-2 災害時におけるキッチンカーの活用事例と今後への期待

兵庫県栄養士会/日本栄養士会災害支援チーム JDA-DAT リーダー 濱田 真里

2-PD16-3 インドネシア共和国における避難所での生活支援と炊き出し

宇都宮大学 坪山 宣代

2-PD16-4 2024年台湾花蓮地震における避難所運営～日本が参考にできること～

お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科/日本学術振興会 特別研究員DC2 佐藤 寛華

2-PD16-5 大韓民国における避難所での生活支援と炊き出し

宇都宮大学 坪山 宣代

2-PD16-6 TKBのK、国内外の実践例比較

日本赤十字社 事業局救護・福祉部/日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 植田 信策

■パネルディスカッション17

2日目(3月20日)17:50～19:20

第3会場(2FスノーホールB)

自然災害で多発する循環器疾患の現状と対策

座長 植田 信策(日本赤十字社 医療事業推進本部(兼)事業局救護・福祉部)
笠岡 俊志(熊本大学病院 災害医療教育研究センター)

2-PD17-1 多彩な自然災害発災時における循環器病発症予防に関する研究

阿蘇医療センター 甲斐 豊

2-PD17-2 令和6年能登半島地震後の脳血管疾患の発症状況

公立能登総合病院 圓角 文英

2-PD17-3 災害・気候変動時代の慢性心不全管理: 医療現場における脆弱性評価と予防戦略

済生会加須病院 木村 祐也

2-PD17-4 循環器専門医が災害支援に行ったら避難所の心不全患者さんにカップ麺しかないと言われた件: 疾患適応型災害食の備蓄率に関する全国横断調査

徳島大学病院 循環器内科 高橋 智紀

■パネルディスカッション18

2日目(3月20日)08:30~10:00

第4会場(2F中会議室201)

私はなぜ災害医療を志したか

座長 佐藤 友子(済生会熊本病院 救急総合診療センター 救急科)
松田 宏樹(国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)

2-PD18-1 資格がゴールではなかった～実災害が教えたDMAT看護師の継続的な学び～

市立大津市民病院 吉田 修

2-PD18-2 「想定外」の中で問われる「医」のあり方

済生会熊本病院 救急総合診療センター 救急科 佐藤 友子

2-PD18-3 「私はなぜ災害医療を志したか」

災害医療へのターニングポイント過去を振り返ってみる

社会医療法人陽明会 小波瀬病院 安部 亮

2-PD18-4 義務を果たす

長崎大学病院 災害医療支援室 山下 和範

2-PD18-5 「志」の源泉は「覚悟」

国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局 松田 宏樹

■パネルディスカッション19

2日目(3月20日)10:10~11:40

第4会場(2F中会議室201)

原子力災害時の放射線防護措置

座長 小西英一郎(国立病院機構 災害医療センター 中央放射線部)
塚田 泰彦(福島県立医科大学 救急医療学講座)

2-PD19-1 原子力災害への我が国の対応とIARA GSR Part 7との比較検討

国立健康危機管理研究機構 牧野 友彦

2-PD19-2 災害医療支援活動に従事する医療者からみた「原則20mSv以下」という被ばく線量限度

千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学/千葉大学災害治療学研究所/
量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所 栗田 健郎

2-PD19-3 原子力災害時に活動する保健医療福祉活動チームの放射線防護措置等に関する指針の提言

長浜赤十字病院/日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 中村 誠昌

2-PD19-4 原子力災害時の屋内退避計画における課題～陽圧化と線量管理の問題点～

松江赤十字病院 田邊 翔太

2-PD19-5 原子力災害医療計画にみる放射線防護措置

市立八幡浜総合病院 麻酔科 越智 元郎

2-PD19-6 原子力災害時の防護行動を支えたDirty Bomb対応訓練の経験

筑波メディカルセンター病院 救急診療科 阿竹 茂

■パネルディスカッション20

2日目 (3月20日) 16:10～17:40

第4会場 (2F中会議室 201)

病院BCPと地域連携

座長 佐々木宏之 (東北大学 災害科学国際研究所)

本間 正人 (鳥取大学医学部 救急災害医学分野)

2-PD20-1 令和6年能登半島地震における病院BCPの有効性検証と地域連携BCPへの展望

愛知医科大学 災害医療研究センター 高橋 礼子

2-PD20-2 地域の復旧・復興から考える病院BCPと地域連携

徳島大学環境防災研究センター 湯浅 恭史

2-PD20-3 地域BCPのススメ スタッフ、患者、住民のいのちと暮らしを守るために一

慶應義塾大学 衛生学公衆衛生学教室/コミュニティヘルス研究機構 山岸 暁美

2-PD20-4 三重大学病院における受援体制を重視したBCP改定と防災訓練による初動期検証の取り組み

三重大学医学部附属病院 災害対策推進・教育センター/三重県・三重大学 みえ防災・減災センター/
三重大学医学部附属病院 肝胆腔・移植外科 岸和田昌之

2-PD20-5 札幌市東区地域連携BCP策定協議会(HBC5)の合同災害訓練報告

勤医協中央病院 救急センター 田口 大

■パネルディスカッション21

2日目 (3月20日) 17:50～19:20

第5会場 (3F中会議室 301)

災害医療教育の未来図 一学生に何をどう教えるか一

座長 岡崎 史子 (新潟大学医学部 医学教育学分野)

張替喜世一 (国士館大学体育学部 スポーツ医科学科)

2-PD21-1 浜松医科大学における講座連携による健康危機管理教育の実践と展望

浜松医科大学 救急災害医学講座 高橋 善明

2-PD21-2 日米の大学協働による大災害シミュレーション体験実習 実践報告

Brigham Young University/石川県立看護大学 戸部 浩美

2-PD21-3 多職種連携を基盤とした災害医療教育の在り方と学部間協働の可能性

兵庫医科大学 救急・災害医学講座 山田 太平

2-PD21-4 災害医療支援を模擬体験する多大学多職種による災害医療ロジスティクス演習

長崎大学病院 災害医療支援室/長崎大学病院 高度救命救急センター/長崎大学病院 麻酔科 山下 和範

2-PD21-5 救急救命士教育における災害ロジスティクス演習を核とした実践的災害医療教育

日本体育大学大学院保健医療学研究科/日本体育大学保健医療学部 救急医療学科 鈴木 健介

■パネルディスカッション22

2日目(3月20日)10:10～11:40

第6会場(3F中会議室302)

災害看護の実践知の構造化と標準化に向けて

座長 高村 ゆ希(東京科学大学病院 看護部)

三浦由紀子(山梨大学大学院 医工農学総合教育部 博士課程 ヒューマンヘルスケア学専攻)

2-PD22-1 A病院ERにおける看護師の災害対応知識向上と実践訓練

東京都立墨東病院 岩崎 知子

2-PD22-2 災害時に強い病院を支える看護師育成～キャリアラダーに基づく災害研修の導～

京都府立医科大学附属病院 看護部 嶋島 尚美

2-PD22-3 ネパール地震における看護実践の抽出と整理

埼玉医科大学総合医療センター 増田由美子

2-PD22-4 トルコ地震における看護実践の整理と構造化

独立行政法人国立病院機構 災害医療センター 高以良 仁

2-PD22-5 災害に向けた看護の実践知を構造化するための取り組み

国立大学法人東京科学大学 東京科学大学病院 宮前 繁

■パネルディスカッション23

2日目(3月20日)17:50～19:20

第6会場(3F中会議室302)

これからの国際緊急援助の在り方について

座長 池田 龍介(独立行政法人国際協力機構 国際緊急援助隊 事務局)

夏川 知輝(淀川キリスト教病院 救急科・集中治療科)

2-PD23-1 国際医療救援の新たな展開ー日本赤十字社の取り組みと官民連携の可能性

大阪赤十字病院 国際医療救援部/日本赤十字社看護大学付属災害救護研究所 光森 健二

2-PD23-2 2025年ミャンマー大地震における超急性期から現在に至るまでの活動報告

特定非営利活動法人ジャパンハート 高橋茉莉子

2-PD23-3 「All Japan」で挑む国際緊急援助の未来ーミャンマー地震でのGO-NGO連携を超えてー

医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院 救急・集中治療センター/NPO法人TMAT 合田 祥悟

2-PD23-4 国際緊急援助におけるNGOの役割と官民連携の可能性

ーミャンマー地震でのザガイン地域医療支援の経験からー

特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 坂本 陽

2-PD23-5 循環型国際協力による緊急援助の進化

ーARCHプロジェクトとミャンマー地震からの示唆

兵庫県災害医療センター/国際緊急援助隊(JDR)医療チーム PHM/EMTイニシアティブ対応班/
国際協力機構(JICA)ASEAN災害保健医療管理に係る地域能力強化プロジェクト(ARCH2)国内支援委員会
甲斐聡一朗

■パネルディスカッション24

2日目 (3月20日) 15:00～16:30

第8会場 (展示ホールA2(特設))

災害関連死予防の取り組み

座長 奥山 学 (秋田大学大学院医学系研究科 救急集中治療医学講座)
富永 綾 (岩手医科大学医学部 救急・災害医学講座)

2-PD24-1 経口補水液とミネラルウォーターでの排尿回数と体内水分保持の比較試験
＜災害避難所でのトイレ衛生改善・脱水対策に繋げ！＞

西奈良中央病院 整形外科 富和 清訓

2-PD24-2 災害時におけるロコモ管理と災害関連死の予防 ― 整形外科開業医の役割

カワムラ整形外科 河村 英徳

2-PD24-3 令和6年能登半島地震における災害関連死認定事例の背景要因：
叙述記録の定量的テキスト解析

さいたま赤十字病院高度救命救急センター／東北大学 災害科学国際研究所 災害医療国際協力学分野／
日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 坪井 基浩

2-PD24-4 福島第一原子力発電所事故後の福島県南相馬市における災害関連死の概要：
南相馬市の災害関連死520例の全例調査

ときわ会常磐病院／福島県立医科大学／千葉大学 澤野 豊明

2-PD24-5 基礎自治体の災害対策本部における要配慮者対策の一元化

東京都保健医療局 医療政策部 上村 淳司

■パネルディスカッション25

2日目 (3月20日) 17:50～19:20

第8会場 (展示ホールA2(特設))

極限状況を乗り越える力―国際緊急人道支援における『支援者支援』の多角的アプローチ―

座長 茅野 龍馬 (WHO神戸センター)
原田奈穂子 (岡山大学学術研究院 ヘルスシステム統合科学学域 看護科学分野)

2-PD25-1 日本の同盟国8カ国に対応できる災害時急性期傷病記録の提案。
傷病者とMPC/K9(使役犬)の標準化

日本大学／新潟大学医学部 災害医療教育センター 照井 資規

2-PD25-2 能登半島地震における災害支援者のプレゼンティーズム関連要因の検討

広島大学大学院医系科学研究科 公衆衛生学 村山 華子

2-PD25-3 海外紛争地派遣におけるリスク～自己管理と後方支援～

下伊那赤十字病院 白子 隆志

2-PD25-4 NGOにおけるオフサイト支援者支援体制の構築と運用

ピースウィンズ・ジャパン 戸田はるか

2-PD25-5 民間NGO医療支援チームにおける海外派遣隊員のサポート体制

NPO法人TMAT 野口 幸洋

2-PD25-6 多層的支援体制による支援者のレジリエンス強化：国境なき医師団の取り組みから
国境なき医師団日本 福島 正樹

■パネルディスカッション26

2日目 (3月20日) 15:00～16:30

第9会場 (展示ホールA3(特設))

保健医療福祉調整本部での連携に向けた研修のあり方
～多職種での研修と分野別の研修との関係性～

座長 中久木康一 (東北大学大学院歯学研究科 災害・環境歯学研究センター)
服部希世子 (熊本県有明保健所 兼 山鹿保健所)

2-PD26-1 災害時「食べる」連携研修会の展開と多職種での研修における課題

東北大学大学院歯学研究科 災害・環境歯学研究センター/
東京科学大学大学院歯学総合研究科 救急災害医学分野 中久木康一

2-PD26-2 多機関連携による千葉県DMAT (CLDMAT) 研修の教育的効果と今後の課題

千葉県総合救急災害医療センター 武政 輝希

2-PD26-3 多機関連携による県保健医療福祉調整本部運営体制構築を目指した研修の実践

青森県立中央病院 小笠原 賢

2-PD26-4 保健医療福祉連携に向けた卒前教育のあり方と本部活動への連続性

藤田医科大学/新潟大学 和泉 邦彦

2-PD26-5 災害派遣福祉チーム (DWAT) 研修の実践と課題 -保健医療分野との連携に向けて-

神戸学院大学総合リハビリテーション学部 伊藤 隆博

■ワークショップ5

2日目 (3月20日) 09:00～10:00

第5会場 (3F中会議室301)

2-WS5 振り返りの技法 significant event analysis を学ぼう

新潟大学 岡崎 史子
新潟市民病院 吉田 暁

■ワークショップ6

2日目 (3月20日) 09:00～10:00

第6会場 (3F中会議室302)

富士山セッション 富士山噴火への対応

座長 井上 潤一 (日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急センター)
小井土雄一 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)

2-WS6-1 2025年3月に内閣府(防災担当)が公表した富士山噴火を想定した
降灰対策ガイドラインの概要紹介

山梨県富士山科学研究所 石峯 康浩

2-WS6-2 当院職員の富士山噴火に関する調査～これまでの避難訓練を踏まえた知識と意識～

富士吉田市立病院 近藤 充徳

2-WS6-3 富士山噴火に対するDMATの役割

山梨県立中央病院 高度救命救急センター 岩瀬 史明

2-WS6-4 富士山噴火の降灰における医療提供体制の影響について

神奈川県健康医療局 保健医療部/神奈川県健康医療局 村田 沢人

2-WS6-5 災害拠点病院長会議で明らかとなった鹿児島県災害拠点病院の火山災害対策の現状と課題

鹿児島市立病院救命救急センター 吉原 秀明

■ワークショップ7

2日目(3月20日) 09:00～10:00

第7会場(展示ホールA1(特設))

災害対策基本法の改正が「医療」にもたらすもの

座長 根本 昌宏(日本赤十字北海道看護大学 災害対策教育センター)
安間 圭一(公立松任石川中央病院 災害医療対策センター)

2-WS7-1 2025年の災害法制の改正一餅は餅屋の被災者支援への一步となるかー

大阪公立大学大学院文学研究科 菅野 拓

2-WS7-2 災害時の介護施設支援:医療が担った現実と福祉の課題
～能登半島地震から考える医療・福祉連携の在り方～

国立健康危機管理研究機構 厚生労働省 DMAT事務局/
共立女子大学大学院修士課程 療養生活支援看護学領域 小児看護学分野 上古原良実

2-WS7-3 災害時の福祉支援活動について

群馬県社会福祉協議会 鈴木 伸明

■ワークショップ8

2日目(3月20日) 09:00～10:00

第9会場(展示ホールA3(特設))

災害を科学する ～災害研究最前線～

座長 上杉 泰隆(国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)
林 達彦(済生会新潟県中央基幹病院)

2-WS8-1 大規模災害における多数遺体の対応と課題ー災害医療に隣接する遺体管理の視点からー

立教大学社会デザイン研究所 山形 真紀

2-WS8-2 南海トラフ地震時における患者搬送の課題と対応

愛知医科大学 災害医療研究センター/愛知医科大学 救急集中治療講座 津田 雅庸

2-WS8-3 データに基づく災害拠点病院における多数傷病者受入れ訓練の分析評価
4年間の経年比較と評価手法の標準化ー

東京大学大学院工学研究科 システム創成学専攻 遠藤 直人

2-WS8-4 NICUからの避難トリアージを科学する

名古屋市立大学大学院医学研究科 救命救急医療学 今井 一徳

■ワークショップ9(大会ホームページをご覧ください)

2日目(3月20日) 15:00～16:00

第10会場(展示ホールA4(特設))

2-WS9 病院災害対策 はて、何から始めてよいのやら

座長 山下 和範(長崎大学病院 災害医療支援室)

■口演2-1

2日目 (3月20日) 15:00～16:00

第7会場 (展示ホールA1(特設))

「経験知」を科学する

座長 津下 詩帆 (順天堂大学医学部附属順天堂医院 救急科)
中野 実 (前橋赤十字病院)

2-01-1 令和6年7月山形県北部豪雨災害を振り返る

最上広域市町村圏事務組合消防本部 加藤 賢治

2-01-2 秋田県東成瀬村の熊による多数傷病者事案の検討

秋田大学医学部附属病院 平澤 暢史

2-01-3 旭川空港航空機災害想定訓練における情報連携と傷病者管理の課題

旭川医科大学病院救命救急センター 大武 志帆

2-01-4 局地災害における受け入れ体制構築と当院の課題

医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院 リハビリテーション科 古田 宏

2-01-5 遠方での地震への津波警報により津波避難者が殺到し、病院診療に問題が生じた事例

神栖済生会病院 藤井 猛雄

2-01-6 富士スバルラインにおける多数傷病者事故の問題点

山梨県立中央病院 高度救命救急センター 岩瀬 史明

2-01-7 船舶事故の患者対応の経験

東京慈恵会医科大学病院 救急災害医学講座 中谷 宣章

■口演2-2

2日目 (3月20日) 16:10～17:10

第7会場 (展示ホールA1(特設))

「災害時輸送」を科学する

座長 奥野 史寛 (埼玉県済生会加須病院 災害対策室)
信岡 祐 (国立病院機構 三重中央医療センター 救急診療科)

2-02-1 大規模災害時の船舶を活用した水上医療搬送

東京女子医科大学附属足立医療センター 岩崎 恵

2-02-2 鉄道における緊急時・災害時搬送のための車椅子固定システムの開発

兵庫県災害医療センター 島津 和久

2-02-3 軍関係の無人航空機による搬送の医学的利用に関するスコーピングレビュー

防衛医科大学校 医学科/防衛医科大学校 防衛医学講座 水野晃太郎

2-02-4 無人航空機を用いた輸血用血液製剤搬送の実効性と品質への影響

独立行政法人NHO長崎医療センター 臨床検査科 長井 一浩

2-02-5 離島地域における医療コンテナ巡回検診のロジスティック実証

—長崎県新上五島町における輸送・設営・運用の検証—

神戸学院大学 前林 清和

2-02-6 南海トラフ巨大地震における医療コンテナ搬送路確保のための

ドローン活用シミュレーション：障害物検出手法の検討

兵庫県立大学大学院 前林明日香

- 2-02-7 都道府県への災害時における医療コンテナ活用「ガイドライン」について
神戸学院大学現代社会学部 社会防災学科 中田 敬司
- 2-02-8 被災地での小型医療車両から医療コンテナへの展開を考える
神戸学院大学現代社会学部 社会防災学科 中田 敬司

■口演2-3

2日目 (3月20日) 09:00～10:00

第8会場 (展示ホールA2(特設))

「学生研究」を科学する

座長 橋本真由美 (福島県立医科大学大学院医学研究科 災害危機管理看護学講座)
吉野 篤人 (浜松医科大学 地域医療学講座)

- 2-03-1 水害対策タイムラインの作成・その2—科学的基準の導入と検証—
秋田大学医学部 医学科 田崎 梨子
- 2-03-2 医療コンテナ実証を経て考える災害時の医療コンテナの運用
長崎大学医学部 医学科 下野 舞花
- 2-03-3 COVID-19パンデミック期の主観的幸福度の変化に影響を与えた因子の解析
東京慈恵会医科大学医学部 医学科 無藤 鼓子
- 2-03-4 日本国内で報告された災害訓練の実施と課題に関する文献レビュー
北里大学看護学部 清水 大輝
- 2-03-5 高知県災害拠点病院検査部門の事業継続性の調査結果
高知大学医学部 医学科 山崎 直樹
- 2-03-6 津波被災が想定される地域の住民を対象としたシーツ搬送訓練と
拡張現実 (AR) 浸水没入体験に対するアンケート調査
三重大学医学部 医学科 西野 任
- 2-03-7 病院エレベーター停止時の歩行不能患者の垂直避難の方法：narrative review
日本医科大学医学部 宮本 紗英
- 2-03-8 データに基づく災害拠点病院における多数傷病者受入れ訓練の分析評価(2)
一タスク所要時間を考慮した患者の流れの計算機シミュレーション—
東京大学大学院工学系研究科 田中 来実

■口演2-4

2日目 (3月20日) 10:10～11:10

第8会場 (展示ホールA2(特設))

「広域搬送」を科学する

座長 柴田 高明 (和歌山県立医科大学 救急集中治療医学講座)
山内 延貴 (日本医科大学千葉北総病院 災害対策室)

- 2-04-1 SCU運用方式の検討—小松基地と病院設置型診療部門の協働—
公立松任石川中央病院 災害医療対策センター 安間 圭一
- 2-04-2 災害時のボトルネック～重症者の搬送体制の確立にむけて～
正志会 平成立石病院 大桃 丈知
- 2-04-3 大規模災害時における自衛隊輸送機 (C-130) を活用した傷病者搬送能力の検証
国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局 池田 初男

- 2-04-4 兵庫県航空運用調整チーム（航空運用調整班）における医療側の役割と問題点
兵庫県立加古川医療センター 救急科 宮崎 大
- 2-04-5 広域医療搬送時の機内における患者マネジメントを考える
上杉 如子
- 2-04-6 籠城支援における船舶の可能性
NGOピースウィンズ・ジャパン (PWJ) 村上 朗
- 2-04-7 大規模災害時の[空路・陸路]医療搬送に関する指揮官の育成
日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター／日本医科大学 救急医学講座／
日本医科大学千葉北総病院 災害対策室 本村 友一

■口演2-5

2日目（3月20日）16:40～17:40

第8会場（展示ホールA2(特設)）

「災害薬事」を科学する2

座長 関 啓輔（社会医療法人財団大樹会 総合病院 回生病院 災害管理室）
早川 実優（市立函館病院 薬剤部薬剤科）

- 2-05-1 災害時備蓄用医薬品の選定・備蓄量最適化についての再検討
社会医療法人緑泉会 米盛病院 薬剤課 日高伸之介
- 2-05-2 埼玉県およびさいたま市における薬剤師会の災害対策の試み。
災害薬事コーディネーターを中心に
株式会社実務薬学総合研究所／埼玉県薬剤師会／さいたま市薬剤師会／武蔵野大学薬学部 水 八寿裕
- 2-05-3 藤田医科大学防災訓練におけるOTC薬供給訓練
藤田医科大学／新潟大学 和泉 邦彦
- 2-05-4 災害訓練での手書き処方箋の運用と様式についての検討～調剤の観点から～
地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター 薬局 木村 亜実
- 2-05-5 災害対応力の高い薬剤師を目指して：江戸川区の調剤薬局・病院薬剤師の意識と課題
公益社団法人江戸川区薬剤師会／森山記念病院 薬剤部 川奈部英洋
- 2-05-6 東日本大震災石巻医療圏災害薬事コーディネーションシステム（メロンパンシステム）
を基にした将来の災害時医薬品供給体制構築について
宮城県薬剤師会 丹野 佳郎
- 2-05-7 薬剤師の介入による疑義照会分析に基づく災害時手書き処方箋の安全対策：
教育訓練からマニュアル・処方箋様式改訂への提言
奈良県総合医療センター 薬剤部 濱咲 萌
- 2-05-8 災害活動薬剤師講習会の教育効果と今後の課題 — Kirkpatrickモデルによる評価 —
昭和医科大学薬学部 小林 靖奈

■口演2-6

2日目 (3月20日) 09:00～10:00

第10会場 (展示ホールA4(特設))

「国際災害支援」を科学する 1

座長 上村 修二 (札幌医科大学 医療安全・病院医管理学講座)
武川 礼子 (埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター)

- 2-06-1 ミャンマー中部地震 国際緊急援助隊医療班派遣での現地支援者との連携
国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 武田 徹
- 2-06-2 シエラレオネの小児専門三次病院における看護師に対する医療機器トレーニングについて
大阪赤十字病院 池田 載子
- 2-06-3 モルドバにおけるDMAT設立支援プロジェクトの成果と展望
国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 大場 次郎
- 2-06-4 ARCH2第6回RCD参加報告:
タイでの国際緊急医療支援訓練における看護師の包括的役割と課題
熊本大学病院 災害医療教育研究センター 内田 彩香
- 2-06-5 ミャンマー地震の医療支援で見えた野外X線撮影の課題と可能性
日本医科大学付属病院 放射線科 平井 国雄
- 2-06-6 紛争下におけるストレスマネジメントの実践
—ガザ地区での武力衝突発生から3週間半の活動を振り返って—
大阪赤十字病院 看護部 川瀬佐知子
- 2-06-7 国際緊急援助隊医療チームにおける緊急避難判断基準の検討:
2016年以降の国際緊急援助隊医療チームの活動から
独立行政法人国立病院機構 災害医療センター 高以良 仁
- 2-06-8 ミャンマー地震に対するJDR医療チーム一次隊の薬事対応
福岡大学薬学部 健康危機管理薬学研究室 江川 孝

■口演2-7

2日目 (3月20日) 10:10～11:10

第10会場 (展示ホールA4(特設))

「国際災害支援」を科学する 2

座長 石川 源 (東京女子医科大学 産婦人科)
堀内 義仁 (国際医療福祉大学 熱海病院)

- 2-07-1 台湾における大規模震災・津波想定訓練への参加経験
福岡徳洲会病院 牟田 隆則
- 2-07-2 大規模災害時における国際医療チーム受援体制の実践と課題
—令和7年度合同訓練の検証—
国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局 豊國 義樹
- 2-07-3 国際受援実動訓練における大学生 (傷病者役) 投入の効果
国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 金井 澁己

- 2-07-4 日本赤十字社の病院型ERUのEMT Type2認証過程と問題点について
大阪赤十字病院 国際医療救援部/日本赤十字社看護大学付属災害救護研究所 光森 健二
- 2-07-5 AUSMAT ロジスティクス演習の視察報告と日本DMATへのフィードバック
国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 増留 流輝

■口演2-8

2日目 (3月20日) 16:40～17:40

第10会場 (展示ホールA4(特設))

「人材育成」を科学する2

座長 有吉 孝一 (神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター)
林 靖之 (大阪府済生会千里病院 千里救命救急センター)

- 2-08-1 言語聴覚士のための災害リハビリテーション基礎研修を実施して
山鹿温泉リハビリテーション病院/熊本県災害リハビリテーション推進協議会 (熊本JRAT) 事務局 佐藤 亮
- 2-08-2 地域医師会を中心とした多職種連携研修
— 情報管理を中心とした災害医療研修の実践と評価 —
日本体育大学保健医療学部 鈴木 健介
- 2-08-3 災害時におけるソーシャルワーク研修プログラムモデルの開発
桃山学院大学 平野 裕司
- 2-08-4 プライマリ・ケアの視点から見た災害医療人材育成の二つの柱
岡山大学学術研究院 医歯薬学域 地域医療共育推進オフィス 香田 将英
- 2-08-5 長崎県における災害医療に関わる人材養成の現状と課題
長崎大学病院 災害医療支援室 山下 和範
- 2-08-6 被災者の心に寄り添うための警察官教育～災害時を見据えて、平時から
日本赤十字社和歌山医療センター 救急科・消化器外科・精神科 益田 充

■口演2-9

2日目 (3月20日) 17:50～18:50

第10会場 (展示ホールA4(特設))

「能登半島地震」を科学する

座長 佐藤 圭路 (加古川中央市民病院 救急科)
若井 聡智 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)

- 2-09-1 令和6年能登半島地震で運営された1.5次避難所での転倒事例に関する調査
有限会社LUPIN 水家健太郎
- 2-09-2 令和6年能登半島地震1.5次避難所における退所支援の必要性についての考察 その1
豊島区医師会 中辻 康博
- 2-09-3 令和6年能登半島地震1.5次避難所における退所支援の必要性についての考察 その2
— 支援対象者のスクリーニング —
武蔵野大学 原田とも子
- 2-09-4 令和6年能登半島地震における二次避難に対する歯科保健医療対応の検討
東北大学大学院歯学研究科 災害・環境歯学研究センター 中久木康一

- 2-09-5 災害リハビリテーション支援における遠隔下肢エコー評価導入の試み
— 珠州市におけるへき地避難者支援の一事例 —
奈良県総合医療センター 中島 咲歩
- 2-09-6 能登半島地震における全避難および籠城施設の復興過程の影響について
国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局 松田 宏樹
- 2-09-7 令和6年能登半島地震の発災直後におけるメンタルヘルス問題に関する分析
広島大学 福永 亜美
- 2-09-8 避難所環境が避難者の健康状態に与える影響に関する実態調査
— 能登半島地震後のデータから —
佐賀大学医学部 看護学科 鈴木智恵子

■ ポスター2-1

2日目 (3月20日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「災害拠点病院」を科学する 2

座長 武田 宗和 (東京女子医科大学 救急医学講座)
森川 祥彦 (三重大学医学部附属病院 薬剤部)

- 2-P1-1 DMAT派遣時の遠隔後方支援の在り方について
健和会大手町病院 中橋 厚子
- 2-P1-2 後方支援チームの設置と自己分析
慶應義塾大学病院 看護部 森 理乃
- 2-P1-3 現場を支える後方支援の役割
地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立多摩総合医療センター 災害対策チーム 星野 夏生
- 2-P1-4 訓練を通じて見えたDMATの地域貢献：一般病院支援の実際と今後の課題
医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院 加瀬 怜子
- 2-P1-5 演題取下
- 2-P1-6 災害拠点病院と地域連携の模索
社会医療法人財団池友会 新小文字病院 災害対策支援室 /
社会医療法人財団池友会 新小文字病院 薬剤科 辻本 朗
- 2-P1-7 大規模アンサンブル気候予測データd4PDFを用いた水害時の病院間連携に関する勉強会
～人吉球磨地域における医療連携の取り組み・その4～
清水建設株式会社 技術研究所 長谷川夏来
- 2-P1-8 当院での経験から感じた基盤のない環境での災害医療の立ち上げにあたり重要な観点
帝京大学医学部附属溝口病院 澁谷 勲

■ポスター2-2

2日目 (3月20日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「災害医療における情報」を科学する

座長 安藤和佳子 (神戸赤十字病院 薬剤部)
山内 聡 (仙台市立病院 救急科)

- 2-P2-1 医療圏内における災害時要支援対象施設等のマッピングによる可視化
佐久総合病院佐久医療センター 河合 俊輔
- 2-P2-2 救急タグを用いた避難所の受付時スクリーニング 第3報
大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター 酒井 智彦
- 2-P2-3 2024年青島太平洋マラソンにおける救護チームの通信確保について
宮崎善仁会病院 牧原 真治
- 2-P2-4 災害現場での情報を共有するIT基盤の整備への試み (スポーツ大会大での試行)
履正社国際医療スポーツ専門学校/災害支援鍼灸マッサージ師合同委員会DSAM/
公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会 古田 高征
- 2-P2-5 Notionを利用したDMAT隊所有資器材管理
小樽市立病院DMAT 村岡 大起
- 2-P2-6 カラスによる光ファイバー通信障害の一例
戸畑共立病院 綾塚 仁志
- 2-P2-7 令和7年熊本県大雨特別警報地域のEMIS入力状況について
国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 川野 聡美
- 2-P2-8 災害時におけるトリアージ管理システムの構築と情報共有の改善
広島市立北部医療センター安佐市民病院/放射線技術部 横元 剛祐

■ポスター2-3

2日目 (3月20日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「院内災害対策」を科学する2

座長 田口 茂正 (さいたま赤十字病院 高度救命救急センター)
寺本 昇生 (神戸市立医療センター中央市民病院)

- 2-P3-1 薬剤部における院外用自主登院アクションカードの所持状況と運用課題
長野市民病院 薬剤部 金子 泰也
- 2-P3-2 地域救命救急センター外来初動対応マニュアル作成と暫定災害対策本部設置訓練が
看護師の知識・不安・行動に与える効果
山形県立新庄病院 上野 智可
- 2-P3-3 職員の防災意識向上を目指した取り組み
新城市民病院 守屋 賢志
- 2-P3-4 NICUで働く医療者の防災知識・防災意識および災害自己効力感との関連
総合病院土浦協同病院 看護部 上野 ゆき

- 2-P3-5 病院災害対策ワークショップに参加した受講生の意識・行動変容：
参加直後および半年後アンケートによる分析
千葉県総合救急災害医療センター 伊崎田和歌
- 2-P3-6 看護補助者を対象とした災害対応ラダー研修の評価と課題
社会医療法人緑泉病院 米盛病院 看護部 上野 佑太
- 2-P3-7 演題取下
- 2-P3-8 病院内の災害対策における人材育成～プロジェクト立ち上げから委員会へ、
災害対策チームとしての活動・組織づくり～
宝塚第一病院 雪田 智子

■ポスター2-4

2日目(3月20日) 13:55～14:55

ポスター会場(展示ホール)

「広域搬送」を科学する

座長 平林 篤志(日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター)
松井 賢(島根県立中央病院 医療技術局 放射線技術科)

- 2-P4-1 大規模災害時の香川県ドクターヘリの運用体制を構築する
—新たなワーキンググループの立ち上げ—
香川県立中央病院 佐々木和浩
- 2-P4-2 ドクターヘリ出動要請時に指令センターに対して三者通話システムを通じ
基地病院側から他施設のドクターカーの同時出動を要請した1事案
国立病院機構 水戸医療センター 山名 英俊
- 2-P4-3 都市部多数傷病者事案における搬送手段選択の検討
—2024年11月広島市安佐南区でのドクターヘリ出動事例から—
県立広島病院 小山 和宏
- 2-P4-4 爆発事故による傷病者4名をランデブーポイントに集結し搬送トリアージを行った
一例
鳥取県西部広域行政管理組合消防局 足立 海人
- 2-P4-5 静岡県東部ドクターヘリ要請時、運航不能時の対応とドクターカーの積極的運用の
差別化
順天堂大学医学部附属静岡病院 大坂 裕通
- 2-P4-6 病院移転における患者搬送を機に病院避難の課題について
地方独立行政法人那覇市立病院 黒崎 浩史
- 2-P4-7 航空機災害対応訓練における今後の課題
旭川医科大学病院救命救急センター 大滝 達也
- 2-P4-8 多様な医療機関の参加する空港災害訓練の見直しについて
地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館 災害対策室 小山 敬

■ポスター2-5

2日目(3月20日)13:55~14:55

ポスター会場(展示ホール)

「院内災害対策」を科学する3

座長 加地 正人(埼玉医科大学国際医療センター 救命救急センター)
金畑 圭太(前橋赤十字病院 集中治療科・救急科)

- 2-P5-1 インフルエンザ流行期における救急外来の多数患者受診に対する対応
一宮西病院 瀬尾 亮太
- 2-P5-2 演題取下
- 2-P5-3 非災害拠点病院における災害対策の現状と課題
医療法人永井病院 看護部 加藤 智子
- 2-P5-4 院内災害対策本部における情報収集の効率化を目的とした報告書様式の標準化
近畿大学奈良病院 加藤 宏樹
- 2-P5-5 院内被害が想定されない規模の災害への対応
東北医科薬科大学医学部 佐藤 大
- 2-P5-6 病院に求められる災害対応力強化事業「災害時行動指針策定研修」に関する一考察
岩手医科大学 救急・災害医学講座 金子 拓
- 2-P5-7 資機材バッグの効果的な管理方法の構築
国民健康保険小松市民病院 北林 千紗
- 2-P5-8 災害拠点病院の搬送拠点活動に使用する諸室に関する調査研究
日本大学 江川 香奈

■ポスター2-6

2日目(3月20日)13:55~14:55

ポスター会場(展示ホール)

「災害訓練」を科学する2

座長 落合 秀信(宮崎大学医学部 病態解析医学講座 救急・災害医学分野)
高寺由美子(前橋赤十字病院 看護部)

- 2-P6-1 南海トラフ地震を想定した災害拠点病院における災害図上訓練(DIG)の実践と成果
香川大学創造工学部 笠井 武志
- 2-P6-2 被災時の病院方針決定をわかりやすく～「現状分析と課題」シート活用の効果～
独立行政法人市立大津市民病院 高木 美紀
- 2-P6-3 自院被災を想定した病院防災訓練の実践と課題
—TMAT講師による実地シミュレーションの報告
医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院/NPO法人TMAT 村田 宇謙
- 2-P6-4 当院における平時の災害訓練・教育体制と大規模災害訓練の報告
総合病院山口赤十字病院 名越 万真
- 2-P6-5 複合災害下における病院機能維持と患者搬送:市立函館病院の訓練報告
市立函館病院 救命救急センター管理係 河瀬 亨哉

- 2-P6-6 院内DMATを対象としたアドバンス研修の経過と今後の課題
宝塚市立病院 上坂 剛
- 2-P6-7 当院における消火・避難訓練への取り組み
東京慈恵会医科大学附属柏病院 救命救急センター 卯津羅雅彦
- 2-P6-8 2次救急の災害拠点病院における傷病者の想定について
独立行政法人労働者健康安全機構 関東労災病院 丸茂 晋也

■ポスター2-7

2日目(3月20日) 13:55~14:55

ポスター会場(展示ホール)

「災害対応」を科学する2

座長 藤江 直輝(大阪府立病院機構 大阪精神医療センター 薬局)
渡邊 栄三(愛知医科大学病院 高度救命救急センター)

- 2-P7-1 たった1時間の電子カルテ停止で露出した当院の課題とこれからの対応。
国立病院機構 高崎総合医療センター 町田 浩志
- 2-P7-2 車両突入事故の経験から明らかとなった院内災害対応のアプローチ
千葉徳洲会病院 看護部 診療看護師 小栗 悠太
- 2-P7-3 透析室での洗浄液誤入による塩素ガス災害対応の経験と初動課題
健和会大手町病院 救急科 馬庭 幸詩
- 2-P7-4 海外要人対応の経験の報告
東京慈恵会医科大学病院 救急災害医学講座 中谷 宣章
- 2-P7-5 病院の停電点検で露呈した病院機能の脆弱性
社会医療法人愛仁会 千船病院 災害対策委員会 管理科 武田 裕充
- 2-P7-6 病院停電を経験して
飯塚病院 救急科 山田 哲久
- 2-P7-7 常用発電機故障による院内停電と対応
新潟県立新発田病院 診療部 臨床工学科 渡邊結季斗
- 2-P7-8 病院機能維持に関する一考察(主に電源喪失施設への電源供給と法的課題)
法務省 施設等機関(沖縄刑務所) 山田 光郎

■ポスター2-8

2日目(3月20日) 13:55~14:55

ポスター会場(展示ホール)

「資機材」を科学する

座長 金澤 豊(京都橘大学看護学部)
問田 千晶(信州大学医学部 救急集中治療医学教室)

- 2-P8-1 CYR-04Tエアストレッチャー・ラップ・ローバルの有用性の検討
NHO岡山医療センター 奥家弓美子
- 2-P8-2 訓練参加時における自チームへのタスク負荷について
~航空機で参集する際の取り組み~
大阪府立中河内救命救急センター 吉田 元治

- 2-P8-3 EXPO2025開会式への実戦配備から考えるモバイルSCOTの遠隔地派遣
東京女子医科大学附属足立医療センター 岩崎 恵
- 2-P8-4 海上自衛隊における艦艇搭載医療機器の機能維持への取り組み
自衛隊横須賀病院 衛生資材課 岩田 英城
- 2-P8-5 大規模地震に向けた在宅人工呼吸器転倒予防策の検証
地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立広尾病院 明野 仁郎
- 2-P8-6 スライド型非常用階段降下ストレッチャーの人に対する負担に関する実験
関西国際大学 田中 綾子
- 2-P8-7 能登半島地震における全民救患者搬送協会ストレッチャー搬送の検討
一発災後期別の搬送元・搬送先の特徴一
国立健康危機管理研究機構 (JIHS) 危機管理・運営局 DMAT事務局/
日本体育大学大学院保健医療学研究科 大山 凌治
- 2-P8-8 DMATの装備を考える 化学災害対応の側面から
法務省 奥村 徹

■ポスター2-9

2日目 (3月20日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「学校教育」を科学する

座長 金子 唯 (藤田医科大学ばんだね病院 救急科)
本村あゆみ (国際医療福祉大学 医学部法医学)

- 2-P9-1 日本における看護系学生の防災意識と防災行動に関する研究の動向と課題
学校法人藍野大学 藍野大学短期大学部 渡辺 史子
- 2-P9-2 こどもや非医療者でもできる災害対応教育
千葉県がんセンター 小原 裕樹
- 2-P9-3 「遊びながら学ぶ防災」—小学生を対象とした体験型講習会の実践—
埼玉医科大学国際医療センター 遠山 笑里
- 2-P9-4 高校生への防災教育の実践とその教育的意義
掛川市・袋井市病院企業団立 中東遠総合医療センター 高井 純太
- 2-P9-5 看護大学生における防災意識と災害自己効力感の関連—学年別の比較分析—
高知大学医学部 看護学科/高知大学教育研究部 医療学系 看護学部門 中野 葉子
- 2-P9-6 大学病院としての医看学生への災害医療教育～勉強会, 訓練, そして実災害対応へ～
千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学/千葉大学災害治療学研究所 栗田 健郎
- 2-P9-7 鍼灸マッサージ師養成学校における災害意識調査と授業後の結果報告
朝日山治療室/公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会/災害支援鍼灸マッサージ師会合同委員会/
東海医療学園専門学校/湘南慶病院 朝日山一男
- 2-P9-8 ADDIEモデルに基づく災害看護教育におけるeラーニングと演習を組み合わせた
個人防護具着脱教育の授業設計
防衛医科大学校 佐藤 昭太

■ポスター2-10

2日目 (3月20日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「福祉・介護」を科学する

座長 是枝 大輔 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)
長橋 和希 (医療法人伯鳳会 東京曳舟病院 救急救命士課)

- 2-P10-1 輪島市門前町における仮設住宅の訪問リハビリテーション活動報告
特定非営利活動法人ジャパンハート 田中 志帆
- 2-P10-2 一時待機ステーションでの活動報告～理学療法士が行う介護度トリアージ～
済生会滋賀県病院 リハビリテーション技術科 植田 征太
- 2-P10-3 令和6年能登半島地震の被災地における高齢者施設での支援活動報告
大場 久美
- 2-P10-4 福祉施設を対象とした事前リスト
(災害時社会福祉施設対応と機能維持支援シミュレーション) 作成の試み
三重中央医療センター 信岡 祐
- 2-P10-5 名古屋市における福祉施設版「事前リスト」作成の取組み
名古屋市健康福祉局 健康部 保健医療課 中島 大樹
- 2-P10-6 有事における訪問リハビリテーション提供事業所の継続・早期再開に関する課題調査
千葉県千葉リハビリテーションセンター 太田 直樹
- 2-P10-7 能登半島地震において自施設でのケアを継続した介護施設への
ヒアリングから考える災害時の避難支援
福島県立医科大学 放射線健康管理学講座 山本 知佳
- 2-P10-8 令和6年能登半島地震における高齢者施設入所者の広域避難に係る
入所者情報提供の実態調査
りんくう総合医療センター 西村 直子

■ポスター2-11

2日目 (3月20日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「BCP」を科学する

座長 佐々木秀章 (沖縄赤十字病院 救急集中治療部)
辻野 悦次 (大阪府)

- 2-P11-1 爆破予告を受けた病院におけるBCPに基づく対応
岡山済生会総合病院 野崎 哲
- 2-P11-2 当院におけるリスク管理・危機管理の現状とその課題～災害訓練の重要性について～
富山大学医学部 救急医学講座/富山大学附属病院 災害・救命センター 土井 智章
- 2-P11-3 院内給水ポンプ故障による病院機能低下事例
～ライフライン障害を契機とした事業継続計画 (BCP) 整備の重要性～
三重県厚生連 松阪中央総合病院 向井 慎治
- 2-P11-4 A病院における大規模災害発生時の医療体制構築と人的資源確保に向けた検討
社会医療法人財団池友会 新行橋病院 岩城 遼夏

- 2-P11-5 令和6年能登半島地震を経験した訪問看護ステーションにおける
業務継続計画の策定状況とその有用性に関する調査
合同会社ムラタ 訪問ナースステーションHERO 田中見栄晴
- 2-P11-6 院内災害対応設備見学ツアーを通じたスタッフ意識向上と
事業継続計画（BCP）への展開
さいたま赤十字病院 八坂 剛一
- 2-P11-7 内視鏡センターにおける危機管理体制の構築
川崎医科大学総合医療センター 内視鏡センター 大島万里子
- 2-P11-8 長年の運用で生じた病院災害対応文書群（マニュアル、BCP等）の矛盾と
その是正困難性
新小文字病院 富永 尚樹

■ポスター2-12

2日目（3月20日）13:55～14:55

ポスター会場（展示ホール）

「災害弱者とボランティア」を科学する

座長 梶野健太郎（関西医科大学 救急医学講座）
吉田 茜（東京医療保健大学立川看護学部）

- 2-P12-1 岡山大学ボランティア学生センターにおける災害支援モデルの構築：
実働訓練に基づく課題分析
岡山大学医学部 医学科/岡山大学 災害支援学生チーム「Aegis（イーゼス）」 原 菜々瀬
- 2-P12-2 大気汚染と妊娠に関連する合併症の現状と課題：ナラティブレビュー
東京医療保健大学立川看護学部 看護学科 土屋 和花
- 2-P12-3 洪水災害時の避難所における子どもの課題—一般小児と医療的ケア児の比較から
和歌山県立医科大学 医学部 山本明日美
- 2-P12-4 聴覚障害者が災害時に配慮を求めることへのための関連要因
高知県立大学看護学部 一ノ瀬 航
- 2-P12-5 大学隣接の大学病院における、災害時の医療ボランティアへの学生の意欲と
医療者の期待の差異
東京科学大学医学部 保健衛生学科 看護学専攻 澁谷優妃乃
- 2-P12-6 看護学生の災害ボランティア活動の実際と学びに関する文献検討
山形県立保健医療大学 栗原 美月
- 2-P12-7 生活困窮者における災害時の健康・社会的二次的影響：文献レビューによる検討
京都大学大学院医学研究科 社会的インパクト評価学講座 西岡 大輔

■ポスター-2-13

2日目 (3月20日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「地域と防災」を科学する 1

座長 石井 史子 (NPO救命おかやま)
渡辺 勝也 (日南町役場 総務課)

2-P13-1 「形式的訓練から実践的訓練へ — 教職員机上演習を導入した小学校避難訓練の
取り組み —」

長崎大学病院 災害医療支援室 宮田 佳之

2-P13-2 行政、医師会との協働訓練

日野市立病院 佐竹 恵

2-P13-3 市民参加を主体とした地域総合防災訓練での、救護所運営やDVT検診訓練に関する
医師会の取り組み

国立病院機構 呉医療センター 救急科 岩崎 泰昌

2-P13-4 市防災訓練への係わり方の変更

黒部市民病院 能登 啓尚

2-P13-5 地域特性を考慮した2地域合同多数傷病者対応訓練

東千葉メディカルセンター 看護部 深谷 舞香

2-P13-6 避難所における健康管理とレジリエンス向上を支える共創型の「場」の理論的検討

福島県立医科大学大学院 災害危機管理看護学講座 橋本真由美

2-P13-7 原子力災害オンサイト医療ネットワークの構築および取り組み状況について

電源開発株式会社/電気事業連合会 緊急作業中防災対応ワーキンググループ 成田 隆二

■ポスター-2-14

2日目 (3月20日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「赤十字」を科学する

座長 岡本 貴大 (神戸赤十字病院 医療社会事業部)
長島真理子 (深谷赤十字病院 救急診療科)

2-P14-1 病院ERU資機材動員手順書の見直しと運用体制改善の取り組み

大阪赤十字病院 加貫 亮三

2-P14-2 院内救護班研修での災害時保険医療福祉活動システム (D24H) 入力訓練の試み

日本赤十字社和歌山医療センター 災害医療支援センター 室 圭子

2-P14-3 市町・保健所が参画した日赤ブロック合同災害訓練
—避難所支援協働の実践と地域効果

北見赤十字病院 谷口 治

2-P14-4 日本赤十字社の講習事業は令和8年12月に100周年を迎えます

日本赤十字社福島県支部 久保 芳宏

2-P14-5 日本赤十字社における救護員育成の組織体系と現状

日赤愛知医療センター名古屋第二病院/日赤救護員育成検討委員会/
日赤看護大学附属災害救護研究所 稲田 眞治

- 2-P14-6 避難所開設時から雑魚寝を排除し尊厳を護る空間を実現する「人・モノ・仕組み」
日本赤十字北海道看護大学 根本 昌宏
- 2-P14-7 医療班による搬送訓練も交えた局地災害訓練
前橋赤十字病院 集中治療科救急科 藤塚 健次
- 2-P14-8 これからの国際緊急援助には、「開発援助」の視点も必要！
～バングラデシュ赤新月社／パレスチナ赤新月社支援の経験から～
日本赤十字社和歌山医療センター 救急科・集中治療部／日本赤十字社和歌山医療センター 消化器外科／
日本赤十字社和歌山医療センター 精神科／日本赤十字社和歌山医療センター 国際医療救援登録要員
益田 充

3日目 3月21日(土)

■特別企画13 (大会ホームページをご覧ください)

3日目 (3月21日) 09:10～10:10

第3会場 (2FスノーホールB)

座長 飯村 学 (国際協力機構 (JICA))

井上 潤一 (日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急センター)

3-SS13 (緊急報告) スリランカ民主社会主義共和国サイクロン被害における
国際緊急援助隊医療チームの活動について

広島大学 久保 達彦

帝京大学 黒住 健人

東京科学大学病院 高村 ゆ希

新潟大学 中込 悠

国際協力機構 幅野由樹子

■特別企画14

3日目 (3月21日) 14:20～15:20

第5会場 (3F中会議室301)

3-SS14 災害対応思考の理論と実践: OODAループで読み解く決め打ちと臨機対応の相補性

東北大学 災害科学国際研究所 佐々木宏之

東京都立病院機構 法人本部 中島 康

■特別企画15 (大会ホームページをご覧ください)

3日目 (3月21日) 15:30～17:00

第5会場 (3F中会議室301)

座長 高橋 善明 (浜松医科大学 救急災害医学講座)

中邑 風貴 (福岡大学薬学部)

3-SS15 DMAS企画 第13回学生フォーラム座談会「CBRNE(複合)災害における多職種連携」

日本災害医学会学生会部会・高知県立大学看護学部 看護学科 佐藤 大耀

国立健康危機管理研究機構 危機管理運営局 DMAT事務局 若井 聡智

一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院/災害医療部開設準備室/福島県医師会 薬谷 暢

日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター 本村 友一

独立行政法人国立病院機構 災害医療センター 高良 仁

福岡大学薬学部 健康危機管理薬学研究室 江川 孝

■教育講演14

3日目 (3月21日) 09:10～10:10

第1会場 (4Fマリンホール)

社会医学系専門医講習: 共通講習 (医療倫理)

座長 山岸 正明 (奈良県立医科大学 先天性疾患センター)

3-EL14 仏教思想から考える死生観と苦の定義

実験寺院 寶幢寺 松波 龍源

■教育講演15

3日目 (3月21日) 09:50～10:50

第4会場 (2F中会議室201)

座長 今井 一徳 (名古屋市立大学大学院医学研究科 救命救急医療学)

3-EL15 VUCA（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）の時代のキャリアと志を考える

グロービス経営大学院／藤田医科大学 田久保善彦

■シンポジウム16

3日目（3月21日）10:20～11:50

第1会場（4Fマリンホール）

中越沖地震 最前線で起きていたこと

座長 近藤 久禎（国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局）

高橋 昌（新潟大学大学院医歯学総合研究科 災害医学・医療人育成分野）

3-SY16-1 平成19年（2007年）新潟県中越沖地震 発災～復興～伝承

柏崎市消防本部 佐藤 貴志

3-SY16-2 中越沖地震の最前線で起きていたのは、DMATの実証実験であった

新潟市民病院 救命救急・循環器病・脳卒中センター 熊谷 謙

3-SY16-3 地域大学の被災地行政支援とその後の制度化

ー日本初の災害医療コーディネーター制度の運用から生まれた仕掛け

新潟大学大学院医歯学総合研究科 災害医学・医療人育成分野 高橋 昌

3-SY16-4 災害医療コーディネーターとして1か月活動して

新潟県柏崎保健所（兼）新潟県福祉保健部 堀井 淳一

■シンポジウム17

3日目（3月21日）14:20～15:50

第1会場（4Fマリンホール）

被災地における現地保健所（長）の役割

座長 池田 和功（和歌山県新宮保健所）

尾島 俊之（浜松医科大学 健康社会医学講座）

3-SY17-1 新潟県中越沖地震における柏崎保健所の対応

新潟県柏崎保健所（兼）新潟県福祉保健部 堀井 淳一

3-SY17-2 被災地保健所長の機能を支えるもの ～平時の活動と専門性～

熊本県有明保健所兼山鹿保健所 服部希世子

3-SY17-3 令和6年能登半島地震における能登北部保健所の役割

～普段から市町に頼られる存在であるという備え～

石川県能登中部保健所／元能登北部保健所 後藤 善則

■シンポジウム18

3日目（3月21日）14:20～15:50

第2会場（2FスノーホールA）

歴史に学ばない災害対応

座長 熊谷 謙（新潟市民病院 救命救急・循環器病・脳卒中センター）

末永利一郎（総合病院山口赤十字病院 医療情報課）

3-SY18-1 愛知県ドクターヘリ2機目導入後の局地災害への複数ヘリコプター運用の取り組み

愛知医科大学 救急集中治療医学講座 寺島 嗣明

- 3-SY18-2 災害時ドローン情報共有と物資搬送
健生会土庫病院 中尾 武
- 3-SY18-3 人流データを活用した災害対応
京都大学防災研究所 畑山 満則
- 3-SY18-4 デジタル技術を活用した災害対応での情報共有・連携
国立研究開発法人防災科学技術研究所 佐野 浩彬
- 3-SY18-5 災害訓練における情報収集電子化の有用性と運用上の課題
名古屋市立大学病院 薬剤部 大橋 一輝

■シンポジウム19

3日目 (3月21日) 10:20～11:50

第3会場 (2FスノーホールB)

令和8年防災庁の設置で日本の避難生活環境は改善されるのか

座長 石井美恵子 (国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究所 保健医療学専攻 災害医療分野)
植田 信策 (日本赤十字社 医療事業推進本部 (兼) 事務局救護・福祉部)

- 3-SY19-1 イタリアから学ぶ避難所環境を抜本的に改善する方法
新潟大学医歯学総合研究科先進血管病・塞栓症治療・予防講座 榛沢 和彦
- 3-SY19-2 避難所を「社会的共通資本」へ：
公有民営 (PFI) による統合運用システムの社会実装と持続可能な資金モデル
株式会社シェルターワン 中林 秀仁
- 3-SY19-3 避難生活の質向上に向けたクラスターアプローチの国内展開
特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 稲葉 基高
- 3-SY19-4 皆でともに創る防災立国の実現へ～防災庁設置に向けた基本方針について～
内閣官房防災庁設置準備室 大山 璃久
- 3-SY19-5 災害時の避難所環境改善を目指す超党派議員連盟の設置について
衆議院議員 鳩山紀一郎

■シンポジウム20

3日目 (3月21日) 10:20～11:50

第6会場 (3F中会議室302)

病院・施設搬送

座長 武田 徹 (国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局)
宮島 衛 (長岡赤十字病院 救命救急センター)

- 3-SY20-1 東日本大震災被災地中心地における災害拠点病院での大規模搬送調整
一病院職員による効率的マネジメントの実際一
石巻赤十字病院 救急科 小林 道生
- 3-SY20-2 能登半島地震における介護施設入所者の死亡率調査と支援体制の影響
福島県立医科大学 坪倉 正治
- 3-SY20-3 能登半島地震における介護老人保健施設支援とその後の交流
新潟県立新発田病院 長谷川 聡

3-SY20-4 大規模災害時に空路医療搬送に付随する陸路搬送負担を軽減するために

日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター／日本医科大学 救急医学講座／日本医科大学千葉北総病院 災害対策室 本村 友一

3-SY20-5 首都直下地震における千葉県の災害医療体制の提案：

房総半島南側への搬送フローおよび港湾を活用した大型船舶による医療支援と海上搬送の検討

独立行政法人労働者健康安全機構 千葉ろうさい病院 重症・救命科／集中治療部 矢野 清崇

■パネルディスカッション27

3日目 (3月21日) 10:20～11:50

第2会場 (2FスノーホールA)

「熊本地震から10年－DHEATによる被災者支援活動の継承と挑戦～地域で守る命と暮らし～」

座長 是枝 大輔 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)

早川 貴裕 (栃木県保健福祉部 医療政策課／全国DHEAT協議会)

3-PD27-1 災害時健康危機管理支援チーム (DHEAT) の体制整備

及び運用に係る現状と今後の課題

栃木県保健福祉部 医療政策課／全国DHEAT協議会 早川 貴裕

3-PD27-2 地方ブロック単位で開催されるDHEAT訓練などを通じた、

大規模災害時のDHEATの役割の明確化

富山県厚生部 医務課 小倉 憲一

3-PD27-3 DHEAT訓練を通じた県・政令市の連携について

広島市健康福祉局保健部 健康推進課 城間 紀之

3-PD27-4 DHEATの活動および人材育成に関する課題と将来展望

ー令和6年能登半島地震における活動の検証をふまえてー

国立保健医療科学院 富尾 淳

■パネルディスカッション28

3日目 (3月21日) 14:20～15:50

第3会場 (2FスノーホールB)

災害時における医療提供体制 (医療用車両・コンテナ・船舶の活用) を考える

座長 中田 敬司 (神戸学院大学現代社会学部 社会防災学科)

山口 順子 (日本大学医学部 救急医学系 救急集中治療医学分野)

3-PD28-1 能登半島における災害復旧ヘルスケアMaaS事業と

その後のプライマリケアにおける展開

コミュニティヘルス研究機構／慶應義塾大学医学部 公衆衛生学教室 山岸 暁美

3-PD28-2 「統合型医療モビリティシステム」が拓く災害医療のパラダイムシフト：

船舶・コンテナ・MaaSの役割分担による医療提供体制

名古屋大学 山本 尚範

3-PD28-3 可搬式コンテナ医療ユニット (CoMU[®]) の災害急性期活用と今後の課題

愛知医科大学病院 高度救命救急センター 渡邊 栄三

3-PD28-4 医療コンテナの現状と展望

長崎大学病院／医療コンテナ推進協議会 山下 和範

3-PD28-5 陸路途絶下の医療継続における船舶の位置づけ—医療施設整備支援の観点から—

ピースウィンズジャパン (PWJ) 稲葉 基高

■パネルディスカッション29

3日目 (3月21日) 10:20～11:50

第5会場 (3F中会議室301)

社会医学の視点ではぐくむ地域連携

座長 高桑 大介 (災害医療ACT研究所)

檜垣 高史 (愛媛大学医学部 小児・思春期療育学講座)

3-PD29-1 命をつなぐスキルと行動力の育成～救急車に引き継ぐまで～

愛南町立一本松中学校 中井 孝一

3-PD29-2 学生と市民が学び合う災害シチズンサイエンス教育の社会実装

千葉大学大学院 石橋みゆき

3-PD29-3 社会医学的視点でみる地方医療圏における地域防災連携の育成

—オホーツク地域の実践から—

北見赤十字病院 谷口 治

3-PD29-4 地域の潜在的な脅威によって引き起こされる住民の健康危機管理に関する提案

国立健康危機管理研究機構 危機管理運営局 DMAT事務局 若井 聡智

3-PD29-5 地域独自の研修と技能時訓練を基盤とした小児周産期リエゾンと

DMATの協働モデル

順天堂大学医学部附属浦安病院 高度救命救急センター 石原 唯史

■パネルディスカッション30

3日目 (3月21日) 14:20～15:50

第6会場 (3F中会議室302)

統合された災害精神・心理対応を考える。海外のMHPSSの概念を日本で再考する。

座長 高橋 晶 (筑波大学医学医療系 災害・地域精神医学/茨城県立こころの医療センター)

原田奈穂子 (岡山大学学術研究院 ヘルスシステム統合科学学域 看護科学分野)

3-PD30-1 精神保健と心理社会支援 (MHPSS) : 世界の動向と日本への期待

WHO健康開発総合研究センター/長崎大学/広島大学 茅野 龍馬

3-PD30-2 WHO EviMaPS 日本データ集計レポート :

本邦における災害関連MHPSS実践のマッピング

岡山大学学術研究院 ヘルスシステム統合科学学域 看護科学分野 原田奈穂子

3-PD30-3 緊急時の精神保健・心理社会的支援に関する国際活動分類の紹介

—頻出手段の面からのこころのケア再考—

日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 森光 玲雄

3-PD30-4 日本の災害医療におけるMHPSSは、平時と連動できる点が特徴である！

～赤十字の例から考える～

日本赤十字社和歌山医療センター 救急科・消化器外科・精神科・国際医療救援登録要員/

JEMDRA-HAP(日本EMDR学会人道支援プログラム)/心のサポートネット和歌山 益田 充

3-PD30-5 精神保健・心理社会的支援（MHPSS）の

日本の災害精神医療領域における適応と展開について

筑波大学医学医療系 災害・地域精神医学／茨城県立こころの医療センター／筑波メディカルセンター病院 精神科 高橋 晶

■パネルディスカッション31

3日目（3月21日）10:20～11:50

第7会場（展示ホールA1（特設））

災害時に効果的な医薬品供給・薬事衛生を行うために今できることは

～これまでの課題とこれから何をすべきか～

座長 山田 卓郎（公益社団法人日本薬剤師会）

渡邊 暁洋（兵庫医科大学 危機管理医学講座）

3-PD31-1 災害時に効果的な医薬品供給・薬事衛生を行うための災害薬事

コーディネーターの配備の重要性について

厚生労働省医薬局総務課 至田 智行

3-PD31-2 大分市佐賀関大規模火災における大分県薬剤師会の災害薬事支援

（公社）大分県薬剤師会 伊藤 裕子

3-PD31-3 災害対応薬剤師における育成体制について

兵庫医科大学 危機管理医学講座 渡邊 暁洋

3-PD31-4 過去の災害事例から見えてくる医薬品フォーミュラリ

福岡大学薬学部 健康危機管理薬学研究室 江川 孝

■パネルディスカッション32

3日目（3月21日）14:20～15:50

第7会場（展示ホールA1（特設））

AI・DXが拓く次世代災害医療と、その実装を阻む『壁』の克服

座長 花本 芳洋（日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院）

林 秀樹（岐阜薬科大学 地域医療実践薬学研究室）

3-PD32-1 災害DX「ことはじめ」～DXの本格導入に繋ぐ低コストのシステム構築～

社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 救命救急センター 米盛 輝武

3-PD32-2 広島県における救急医療情報連携プラットフォーム実証と災害時活用の展望

－国主導DXの先行モデルとして－

広島県健康福祉局 健康危機管理課／広島大学医系科学研究科 公衆衛生学 小山 智士

3-PD32-3 災害対応DXの続報：

HRO体制構築を目指したAIによる問題対応支援システムの開発

春日井市民病院 河合 豊

3-PD32-4 危機下の病院を「データ駆動型」へ：

デジタル技術によるレジリエンスと意思決定支援の実現

順天堂大学医学部附属浦安病院 岡本 健

3-PD32-5 長期孤立地域高齢者施設に対する籠城支援策

～保健医療福祉情報共有システム（DH-Wins）の作成～

愛知医科大学災害医療研究センター 小澤 和弘

■パネルディスカッション33

3日目 (3月21日) 14:20～15:50

第8会場 (展示ホールA2(特設))

災害急性期の運動器外傷対応ー災害時に整形外科医がやるべきことを考えるー

座長 黒住 健人 (帝京大学医学部 救急医学講座)

細川 浩 (山鹿温泉リハビリテーション病院 リハビリテーション科)

3-PD33-1 日本整形外科学会災害対応委員会の成立ち

東京都立広尾病院 田尻 康人

3-PD33-2 熊本地震整形外傷報告と運動器外傷災害医療コーディネート制度の提案

山鹿温泉リハビリテーション病院 細川 浩

3-PD33-3 現場と後方をつなぐ整形外科医の役割

ー令和6年能登半島地震・急性期対応の経験から

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 整形外科学講座/金沢大学附属病院救急科 米澤 宏隆

3-PD33-4 日本整形外科学会の挑戦 災害対応委員会の設立と災害教育

鳥取大学医学部附属病院 生越 智文

3-PD33-5 国際・国内災害に学ぶ整形外科医の災害医療への貢献

ークラッシュ症候群と初動対応ー

国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局/

日本災害学会 災害時急性期傷病対応検討委員会 大場 次郎

3-PD33-6 搬送トリアージを用いた整形外科患者コーディネート

帝京大学医学部 救急医学講座/虎の門病院 外傷センター 黒住 健人

■パネルディスカッション34

3日目 (3月21日) 10:20～11:50

第9会場 (展示ホールA3(特設))

災害を科学する ～過去の災害に学び将来の災害に備える

座長 江川 新一 (東北大学 災害科学国際研究所 災害医療国際協力学)

津田 雅庸 (愛知医科大学 災害医療研究センター)

3-PD34-1 ICF分析による災害関連死の連鎖的構造と

生活機能アセスメントに基づく看護の役割

兵庫県立大学大学院看護学研究科 博士後期課程 松田 朋子

3-PD34-2 水害が被災地の死因に与える影響に関する研究

岡山大学病院/厚生労働省医政局地域医療計画課 飯田 淳義

3-PD34-3 平時と災害時を連続的に捉えるための新たな災害医療モデルの提案:

Safety- II と事前文化の視点から

帝京大学医学部 救急医学講座 安心院康彦

3-PD34-4 自然災害後の2次的健康被害に関する本邦の研究概況と課題:

5データベースを用いたスコーピングレビュー

岡山大学 原田 奈穂子

3-PD34-5 日本赤十字看護大附属災害救護研究所の使命
～人・地域・社会を護り、つなぐために～

日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 丸山 嘉一

3-PD34-6 大規模災害におけるアクセス出来ない現場や避難所への医療的介入の必要性

前橋赤十字病院 集中治療科・救急科 中村 光伸

■パネルディスカッション35

3日目 (3月21日) 14:20～15:50

第9会場 (展示ホールA3(特設))

災害時の静脈血栓塞栓症 (VTE) の多職種連携

座長 植田 信策 (日本赤十字社 医療事業推進本部 (兼) 事業局救護・福祉部)
津沢 和彦 (新潟大学医歯学総合研究科 先進血管病・塞栓症治療・予防講座)

3-PD35-1 大規模災害時における静脈血栓塞栓症予防に対する日本静脈学会の活動

JCHO 南海医療センター 心臓血管外科 岩田英理子

3-PD35-2 深部静脈血栓症 (DVT) 検診と保健医療福祉調整本部の課題

福井大学医学部 地域医療推進講座 山村 修

3-PD35-3 深部静脈血栓症 (DVT) 検診における臨床検査技師会の役割

一連携調整・部隊編成・人員確保について～

日本臨床衛生検査技師会/東京医療保健大学 板橋 匠美

3-PD35-4 災害時と平時をつなぐメディカルカーによるVTE対策と

医療経済循環を意識した多職種連携

宝来メデック株式会社/一般社団法人SNK Nowade clinic 平松 佑麻

3-PD35-5 災害時における静脈血栓塞栓症予防を目的としたJRATの機動的支援と

エコー活用の検討

愛仁会尼崎だいもつ病院/JRAT研修企画委員会 富岡 正雄

3-PD35-6 演題取下

■ワークショップ10

3日目 (3月21日) 09:10～10:10

第2会場 (2FスノーホールA)

避難所開設・運営と被災地支援の課題と新展開

座長 卜部 厚志 (新潟大学 災害・復興科学研究所)
宮島 衛 (長岡赤十字病院 救命救急センター)

3-WS10-1 住民主体の避難所開設・運営を実現する地域防災の実践と課題

(公社) 中越防災安全推進機構 河内 毅

3-WS10-2 近年の災害における避難所の課題

(公社) 中越防災安全推進機構 野村 祐太

3-WS10-3 災害復旧・復興時の受援力強化

新潟大学 災害・復興科学研究所 卜部 厚志

■ワークショップ11

3日目 (3月21日) 11:00～12:00

第4会場 (2F中会議室201)

キャリアの迷いに向き合う～災害医療に関わる人たちのリアルと対話～

座長 今井 一徳 (名古屋市立大学大学院医学研究科 救命救急医療学)
高橋 礼子 (愛知医科大学 災害医療研究センター)

3-WS11-1 医師としての専門性と災害医療の関わり～自身のキャリアを振り返って～

山鹿温泉リハビリテーション病院 細川 浩

3-WS11-2 災害医療に『関わり続ける』という選択—制約の中で見えた新たな役割

都城市郡医師会病院 平川 薫

■ワークショップ12

3日目 (3月21日) 14:20～15:20

第4会場 (2F中会議室201)

災害時における全国医療情報プラットフォームの活用

座長 和泉 邦彦 (藤田医科大学 防災教育センター)
渡邊 暁洋 (兵庫医科大学 危機管理医学講座)

3-WS12-1 災害時に備えた平時からの電子処方箋等の活用と課題

厚生労働省医薬局総務課 電子処方箋サービス推進室 長嶋 賢太

3-WS12-2 「平時」を「有事」の備えに—能登半島地震における医療ICTの光と影

タイガープライム (株) タイガー薬局 折戸 真澄

3-WS12-3 災害時における、医薬品の供給体制の効果的な医療情報の活用について

日本薬剤師会 災害対策委員会 越智 哲夫

3-WS12-4 災害時における全国医療情報プラットフォーム活用への期待

岩手医科大学医学部 救急・災害医学講座/日本災害医学会 災害薬事委員会/日本災害医学会 広報委員会 富永 綾

■ワークショップ13

3日目 (3月21日) 09:10～10:10

第5会場 (3F中会議室301)

病院で火災、その実際は？

座長 山下 和範 (長崎大学病院 災害医療支援室)

3-WS13 病院での火災 その時現場では・・・～避難訓練と実災害の違いを考える～

福岡大学病院 救急治療センター/福岡大学病院 救命救急センター 喜多村泰輔

■ワークショップ14

3日目 (3月21日) 09:10～10:10

第6会場 (3F中会議室302)

災害医療でのロボットの可能性

座長 松野 文俊 (大阪工業大学工学部 電子情報システム工学科/京都大学/福島国際研究教育機構 (F-REI))
本村 友一 (日本医科大学千葉北総病院)

3-WS14-1 ドローンによる人命救助・災害対応の最前線

F-REIロボット分野/先端ロボティクス財団/株式会社Autonomy 野波 健蔵

3-WS14-2 「災害医療における医工連携の期待」ーロボット技術の活用と将来への展開ー

東京曳舟病院 長橋 和希

3-WS14-3 災害対応ロボットの研究開発と社会適応

東北大学 大野 和則

3-WS14-4 現場起点で進める災害医療分野におけるロボット・ICT技術の実証と社会実装

済生会福岡総合病院 救命救急センター／九州大学大学院 救急医学講座／日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター 久城 正紀

3-WS14-5 災害対応ロボットの社会実装の課題とその解決戦略

東京大学東京カレッジ 浅間 一

■ワークショップ15

3日目 (3月21日) 09:10～10:10

第7会場 (展示ホールA1(特設))

災害時の電子処方せんについて

座長 富永 綾 (岩手医科大学医学部 救急・災害医学講座)
若井 聡智 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)

3-WS15-1 電子処方箋と災害医療への有用性

厚生労働省医薬局総務課電子処方箋サービス推進室 長嶋 賢太

3-WS15-2 令和6年能登半島地震における薬剤師の活動

ー支援と受援の両面から見えた課題ー

公益社団法人石川県薬剤師会 乙田 雅章

3-WS15-3 災害時における電子処方せんの今後の活用について

兵庫医科大学 危機管理医学講座 渡邊 暁洋

■ワークショップ16

3日目 (3月21日) 10:20～11:20

第8会場 (展示ホールA2(特設))

災害とテクノロジー

座長 末永利一郎 (綜合病院山口赤十字病院 医療情報課)
水野 浩利 (札幌医科大学医学部 救急医学講座)

3-WS16-1 災害とスタートアップ

医療法人社団季邦会／株式会社EN／東京医科大学病院 鎌形 博展

3-WS16-2 災害時院内情報管理システムを用いた情報共有により、

多数傷病者受け入れを可能にした近隣火災事例

泉大津急性期メディカルセンター 山本 啓雅

3-WS16-3 大学病院における災害対応力強化の取り組み

ー主要部署アクションカードの整備とテクノロジー活用による組織的課題への対応ー

北里大学病院 看護部 災害医療対策室 梶山 和美

3-WS16-4 実事案と訓練から検証する、

DMAT局地災害対応におけるグループウェア活用と情報共有体制の課題

大阪急性期・総合医療センター 吉田 紗理

■口演3-1

3日目(3月21日)09:10~10:10

第8会場(展示ホールA2(特設))

「感染」を科学する

座長 小笠原 賢(青森県立中央病院 災害医療管理監)
渡部 広明(島根大学医学部附属病院 災害医療・危機管理センター)

- 3-01-1 避難所運営時の感染症対策に関する地域保健師・栄養士向け研修の実施
地方独立行政法人市立秋田総合病院 山本由紀子
- 3-01-2 感染症対策の歴史から考える、災害と人権
国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局 三村 誠二
- 3-01-3 COVID-19感染症流行に伴う病院職員の心理的影響に関するスコーピングレビュー
聖路加国際病院 救命救急センター 小川裕美子
- 3-01-4 避難所における生活者の手指の経時的汚染状況と各種消毒剤の効果の検討
桐生大学医療保健学部 黒田 梨絵
- 3-01-5 災害ボランティア活動における健康管理や感染予防に関する検討
ー平常時および防災活動時の比較ー
名古屋市立大学大学院看護学研究科 吉川 寛美

■口演3-2

3日目(3月21日)09:10~10:10

第9会場(展示ホールA3(特設))

「地域連携」を科学する

座長 石原 諭(兵庫県災害医療センター)
萩原 裕也(前橋赤十字病院高度救命救急センター 集中治療科救急科)

- 3-02-1 水害リスクの高度理解とタイムラインの実践を目指した
地域連携推進プログラムの効果ー人吉球磨地域における医療連携の取組み・その3ー
清水建設株式会社 設計本部 諸星 玲子
- 3-02-2 院内救急救命士が地域の総合防災訓練に参加する意義
社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 北原 誠也
- 3-02-3 行政と医療機関の協働による多職種連携強化の効果
ー磐田市における病院前救護所構想を通じてー
磐田市立総合病院 救急科 一谷 真一
- 3-02-4 小規模町の災害医療訓練に
日本災害医学会セミナー(JADMS)を利用した新しい取り組み
ひがしおかメディケアクリニック/日本災害医学会セミナー委員会 東岡 宏明
- 3-02-5 DWATとDWASの協働における災害ソーシャルワーク実践の「見える化」
ー7次元統合体モデルによる実践知の科学化ー
熊本学園大学 黒木 邦弘
- 3-02-6 北海道の日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進地域における
積雪寒冷期対策としての備蓄に関する調査
札幌医科大学附属病院/国際医療福祉大学大学院 災害医療分野 進藤 由紀

3-02-7 防災庁がなすべき避難所の発想転換について

神戸学院大学現代社会学部 社会防災学科 中田 敬司

3-02-8 南海トラフ発生時における東三河の複合災害リスク評価：
ハザードマップを用いた医療・避難所の課題抽出

豊橋医療センター 伊藤 武

■口演3-3

3日目 (3月21日) 09:10～10:10

第10会場 (展示ホールA4(特設))

「災害精神」を科学する

座長 増野 智彦 (日本体育大学保健医療学部 救急医療学科)

山平 大介 (秋田大学医学部附属病院 高度救命救急センター)

3-03-1 大規模地震時医療活動訓練でのDPATの訓練内容から考える
精神科病院への支援の在り方とDMATとの協働方法の検証

西船ゆうなぎ診療所/DPAT事務局 吉田 航

3-03-2 実災害時におけるDPAT運用上の課題について
――大規模地震時医療活動訓練の振り返りから――

DPAT事務局 納橋 優奈

3-03-3 大阪府災害拠点精神科病院における受援と現状分析方法を再考する

大阪府立病院機構 大阪精神医療センター 藤江 直輝

3-03-4 都道府県におけるDPAT体制の現状評価

神経科浜松病院 福生 泰久

3-03-5 災害派遣精神医療チーム (DPAT) のブロック体制構築における課題
――DPAT関連体制整備調査の二次分析から――

DPAT事務局 納橋 優奈

3-03-6 クマ被害を災害として捉える心理的影響の構造
――秋田県被害者インタビューの質的分析――

尚綱学院大学 総合人間科学系 奥山 純子

■口演3-4

3日目 (3月21日) 10:20～11:20

第10会場 (展示ホールA4)

「子ども・医療的ケア児」を科学する

座長 一谷 真一 (磐田市立総合病院 救急科)

野村 智久 (順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科)

3-04-1 長野県小児科医会の災害対策への取組み ～こどものための災害対策～

竹内こども医院/長野県小児科医会 天野 芳郎

3-04-2 千葉県医療的ケア児等支援センターによる災害対策支援の取り組みとその一例

千葉県千葉リハビリテーションセンター リハビリテーション治療部/千葉県医療的ケア児等支援センター ぼらりす 後藤 達也

3-04-3 災害時小児周産期リエゾンが取り組む医療的ケア児の平時の備え

熊本大学病院 小児科 小籾 史郎

- 3-04-4 和歌山県における災害時小児周産期リエゾンの現状と課題
和歌山県立医科大学 小児科/和歌山県災害時小児周産期リエゾン 垣本 信幸
- 3-04-5 大規模地震時医療活動訓練における
災害時小児周産期リエゾンの遠隔地域連携訓練報告
手稲溪仁会病院 小児科/小児集中治療科 荻原 重俊
- 3-04-6 医療的ケア児の家族が抱える自然災害への不安と求められる支援
鶴岡市立荘内病院 木村 晃一
- 3-04-7 救命教育を通じた災害に強い次世代の育成
～とうおんハート救命プロジェクトの取り組み～
東温市消防本部 二神 平
- 3-04-8 医療的ケア児等災害対策研修会を通じた災害対策に関する取り組み
鳥取大学医学部 脳神経小児科学/日本小児神経学会 災害対策委員会 中村 裕子

■口演3-5

3日目 (3月21日) 14:20～15:20

第10会場 (展示ホールA4(特設))

「人材育成」を科学する3

座長 木谷 昭彦 (鳥根大学 Acute Care Surgery 講座)
高桑 大介 (災害医療ACT研究所)

- 3-05-1 特別支援学校の防災イベントを看護学生と機動隊員が協働して盛り上げてみた！
東海大学医学部 看護学科 大山 太
- 3-05-2 看護学生と救急救命士学生協働による大災害シミュレーション訓練
Brigham Young University アンダーソン マット
- 3-05-3 「垂直的カリキュラム」による医学生への災害医療教育の試み
防衛医科大学校 防衛医学講座 黒川 貴幸
- 3-05-4 熊本地震の知見に基づく日本で求められるCSM教育プラットフォーム開発
日本医科大学多摩永山病院/日本医科大学救急医学教室/国際緊急援助隊救助チーム医療班 阪本 太吾
- 3-05-5 災害や感染症に対する薬剤師の研修の推進
明治国際医療大学/NPOわれらはふるさと医療応援団 平出 敦
- 3-05-6 大学院生及び実務者向け健康危機管理人材育成プログラムの開発と実施
京都大学大学院医学研究科附属 ヘルスセキュリティセンター 健康危機管理システム学分野/
京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻医療経済学分野 今中 雄一

■ポスター3-1

3日目 (3月21日) 13:10～14:10

ポスター会場 (展示ホール)

「被災地域支援」を科学する

座長 大桃 丈知 (正志会 平成立石病院 地域救急医療センター)
白倉 透規 (社会医療法人立川メディカルセンター 立川綜合病院 地域医療介護連携センター)

- 3-P1-1 災害時に行政区における保健医療福祉関係者の拠点となるための
名古屋市保健所西保健センターの取り組み
名古屋市保健所西保健センター 田邊 裕
- 3-P1-2 災害病院ボランティア体制の構築と取り組み～継続的な育成を目指して～
医療法人辰星会 栞記念病院 三瓶 七海
- 3-P1-3 響けマンドリン！届け真心！輝く未来へ！～地域住民がつなぐ災害支援～
榎本はりきゅう院／公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会 災害対策委員会／災害支援鍼灸マッサージ師合同委員会 榎本 恭子
- 3-P1-4 災害時における透析患者対応のマニュアル整備と地域連携体制の構築
順天堂大学医学部附属練馬病院 救命救急センター 廣田 恵典
- 3-P1-5 想定地震が災害医療のコーディネーションに与える影響評価
東北大学 災害科学国際研究所 佐藤 健
- 3-P1-6 在宅療養支援診療所（訪問診療クリニック）の災害対策
医療法人社団季邦会／株式会社EN／東京医科大学病院 鎌形 博展
- 3-P1-7 チーム名古屋で取り組む感染対策に強い災害ボランティアの育成に関する活動
名古屋市立大学大学院看護学研究科 中嶋 未佳
- 3-P1-8 南海トラフ巨大地震の被害想定と地域防災ボランティアグループの活動
安城更生病院 織田 智治

■ポスター3-2

3日目（3月21日）13:10～14:10

ポスター会場（展示ホール）

「教育」を科学する

座長 川原千香子（帝京大学 シミュレーション教育研究センター）
高山 和之（神戸大学大学院医学研究科 外科系講座 災害・救急医学分野）

- 3-P2-1 医学生による災害時の病院支援を実現するための教育と社会実装
東北医科薬科大学医学部 医学科 浦尾 樹正
- 3-P2-2 多学部学生が板橋区および
日本大学医学部附属板橋病院総合防災訓練に参画することで得た学び
日本大学医学部 秋山 裕亮
- 3-P2-3 庄内地域沿岸部の小学校における防災教育の現状
山形県立保健医療大学 熊田 風紗
- 3-P2-4 災害を想定した避難時持ち出し物品の状況と課題
山形県立保健医療大学 橋本奈々美
- 3-P2-5 医療従事者がいない場合に市民が実施する
トリアージの効果と問題点に関する文献研究
高知大学 菅野 匠真
- 3-P2-6 多数傷病者受け入れ訓練を通じた千葉大学医学部機能別消防団員としての
医学生の学びと課題ー トリアージ・連携・コミュニケーションを中心にー
千葉大学医学部 神ノ田瑞季

3-P2-7 学生対象のトリアージ勉強会は、災害時に実働可能な人材の育成に寄与する

千葉大学医学部 医学科 向坊 颯

■ポスター3-3

3日目 (3月21日) 13:10～14:10

ポスター会場 (展示ホール)

「清潔・排泄」を科学する

座長 島津 和久 (兵庫県災害医療センター 救急部)

竹内 美妃 (札幌医科大学医学部 社会医学講座公衆衛生学分野)

3-P3-1 “おなかすいた”より“トイレがない”が先にくる—災害対応BOXの作成—

地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立多摩総合医療センター 災害対策チーム 木本 雅人

3-P3-2 災害時における院内トイレ確保と初動体制の構築

磐田市立総合病院 川本 貴子

3-P3-3 動画教材を用いた災害トイレ教育の実践報告と今後の展望

～多職種連携と実践的訓練の必要性～

洛和会音羽病院 加藤 尚

3-P3-4 災害拠点病院における災害時の簡易トイレ備蓄について

徳島赤十字病院 救急科 福田 靖

3-P3-5 避難所仮設トイレの臭気強度に影響する要因と
臭気を抑えるための介入タイミングの検討

東京医療保健大学立川看護学部 看護学科 竹内さや乃

3-P3-6 DMATが使用するトイレ衛生環境の保持に向けたプロトコル作成に向けた取り組み
～能登半島地震で被災した拠点病院へのアンケート調査から～

公立能登総合病院 看護部/DMAT隊員/感染管理認定看護師 内山 広志

3-P3-7 災害時の手洗い場環境と口腔ケアに関する調査

熊本大学大学院生命科学部 内藤 久貴

3-P3-8 当院における災害時の断水被害を想定したトイレ対策の検討

—災害時トイレマニュアルの作成—

島田市立総合医療センター 佐藤 充

■ポスター3-4

3日目 (3月21日) 13:10～14:10

ポスター会場 (展示ホール)

「災害時要配慮者と鍼灸マッサージ」を科学する

座長 谷口健太郎 (松阪中央総合病院 救命救急センター)

松園 幸雅 (荒尾市立 有明医療センター 救急科)

3-P4-1 高次脳機能障害患者とその家族を対象とした災害の備えに関する退院指導の試み

川崎市立多摩病院/国際医療福祉大学大学院 災害医療分野 國谷さやか

3-P4-2 災害医療分野における鍼灸マッサージの認知度と需要について
施術体験後のアンケート調査に基づく検討

日本災害鍼灸マッサージ連絡協議会/一般社団法人全国鍼灸マッサージ協会/杉浦鍼灸院 杉浦 雄

- 3-P4-3 2025年世界災害救急医学会 (WADEM2025)
鍼灸マッサージ体験ブースにおけるアンケート結果と世界各国の反応
DSAM 災害支援鍼灸マッサージ師合同委員会/公益社団法人日本鍼灸師会 危機管理委員会 是元 佑太
- 3-P4-4 災害時初動対応訓練を振り返って～黒 (死亡群・不処置群) エリアで見えた課題～
松山赤十字病院 浅野 安彦
- 3-P4-5 大規模災害時遺体取扱 (Disaster Victim Identification; DVI) 訓練の成果と課題
国際医療福祉大学医学部 法医学 本村あゆみ
- 3-P4-6 外国人災害死対応の問題点 ー外国人遺族対応動画教材による検証ー
岩手医科大学 法科学講座 法歯学・災害口腔医学分野 熊谷 章子
- 3-P4-7 演題取下

■ポスター3-5

3日目 (3月21日) 13:10～14:10

ポスター会場 (展示ホール)

「災害看護」を科学する

座長 國方 美佐 (香川大学医学部附属病院 救命救急センターICU)
若狭 真美 (京都第一赤十字病院)

- 3-P5-1 大雨警報下の災害対策本部設置に関する病院看護管理者の意識調査
ー看護部長・副看護部長・師長を対象としたアンケート結果ー
秋田大学医学部附属病院 山平 大介
- 3-P5-2 災害支援ナース必携マニュアル改訂における意思決定プロセスの理論的分析
～制度移行期における不確実性下の意志決定と理論の実践的循環～
医療法人徳洲会 庄内余目病院 渡会 輝美
- 3-P5-3 2024年能登半島地震における寒冷・雪環境下での災害看護実践上の困難と工夫
(第1報) ー石川県内の病院看護師を対象とした調査ー
札幌市立大学看護学部 鬼塚 美玲
- 3-P5-4 2024年能登半島地震における寒冷・雪環境下での災害看護実践上の困難と工夫
(第2報) ーDMAT看護師を対象とした調査ー
札幌市立大学看護学部 鬼塚 美玲
- 3-P5-5 日赤救護班看護師長への教育に関する取り組み
～令和6年能登半島地震の事例を教材として～
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 角 由美子
- 3-P5-6 国際災害対応における看護師リーダー育成の実践的検討
埼玉医科大学総合医療センター/国際緊急援助隊医療チーム 増田由美子
- 3-P5-7 ラダー研修に組み込んだ災害対応教育の実践
ー看護部の災害対応力向上を目指してー
社会医療法人緑泉会 米盛病院 看護部 山之内千絵
- 3-P5-8 看護師の災害研修後の役割認識の実態と学びの定着について
～アクションカードを用いた机上シミュレーションを通して～
国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院 茂藤 智美

■ポスター3-6

3日目 (3月21日) 13:10~14:10

ポスター会場 (展示ホール)

「イベントと防災活動」を科学する

座長 丹羽 一見 (愛知淑徳大学健康医療科学部 救急救命学専攻)
服部 友紀 (名古屋市立大学病院 救急科)

3-P6-1 阿武隈リバーサイドマラソン大会の応急救護体制構築

医療法人本多友愛会 仙南病院/医療法人本多友愛会 介護老人保健施設 はくあいホーム/社会福祉法人 ふくじゅの森 本多 正久

3-P6-2 熊本城マラソン2025におけるフィニッシュエリア救護所の活動報告

国立病院機構 熊本医療センター 救命救急センター 渋谷 崇行

3-P6-3 神戸マラソン2025 ゴール位置変更に伴う救護体制の変革と展望

神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター 平湯 峻馬

3-P6-4 陸上競技大会医務活動において集団災害医療も意識して作成したEAP
【広島モデル】運用の実際

川崎医科大学/広島化学学園大学 板井 由佳

3-P6-5 大規模スポーツイベントの救護対応に連動させた、
災害時の救急外来の増床展開及び、運営訓練の実施

一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院 寺内 文平

3-P6-6 スポーツイベントを活用した国際EMT訓練：
徳之島トライアスロン大会における症例検討と運営体制の改善

医療法人徳洲会 徳之島徳洲会病院 看護部/NPO法人TMAT 浅野 京香

3-P6-7 アスリートの熱中症対応から、
将来の災害医療としてのプラネタリーヘルスを考える

日本赤十字社和歌山医療センター 救急科・集中治療部・消化器外科・精神科・国際医療救援登録要員/
日本臨床スポーツ医学会 益田 充

3-P6-8 祭りの熱気と防災の温度差：よさこい祭り参加者における災害対策の実態

高知大学医学部 災害・救急医療学講座 竹内 慎哉

■ポスター3-7

3日目 (3月21日) 13:10~14:10

ポスター会場 (展示ホール)

「人材育成」を科学する

座長 久野 将宗 (日本医科大学多摩永山病院 救命救急科)
益満 西 (京都橋大学 救急救命学科)

3-P7-1 初期臨床研修医における災害医療教育の経験と教育的意義

健和会大手町病院 大瀧 郁香

3-P7-2 機能的な災害対応実現のための病院オリジナル災害医療認定コースの開発

順天堂大学医学部附属練馬病院 高見 浩樹

3-P7-3 薬学実務実習生へのフィジカルアセスメント講習会の導入
～災害医療を視野に入れた試み～

埼玉医科大学総合医療センター 平澤 笑

- 3-P7-4 文部科学省支援事業「即戦力火山人材育成プログラム」の概要と、
それを活用した保健医療福祉担当者向け火山災害対応研修プログラム開発の試み
山梨県富士山科学研究所 石峯 康浩
- 3-P7-5 初学者を対象としたドローンを活用した災害支援教育プログラムの開発と課題
国士館大学 防災・救急救助総合研究所 都 城治
- 3-P7-6 BHELP開催の現状と今後の展望：2025年度の取り組みと経年分析
広島大学大学院医系科学研究科 公衆衛生学／BHELP運営委員会 村山 華子
- 3-P7-7 保育現場におけるBLS教育を通じた災害時初期対応力の育成
－QCPRによる技能評価からの検討－
横浜創英大学看護学部 杉山 洋介
- 3-P7-8 震災対策に特化した震災時医療検討委員会の役割
草加市立病院 看護部 黒田 祐季

■ポスター3-8

3日目（3月21日）13:10～14:10

ポスター会場（展示ホール）

「災害精神」を科学する

座長 小林 映子（日本赤十字社医療センター薬剤部・国際医療救援部）
中尾 博之（医誠会国際総合病院 救急科）

- 3-P8-1 石川こころのケアセンター設立の経緯と活動報告
獨協医科大学埼玉医療センター／厚生労働省委託事業DPAT事務局 五明佐也香
- 3-P8-2 ア・テイル・オブ・トゥー・パンデミックス
神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター 有吉 孝一
- 3-P8-3 南海トラフ地震等巨大地震時における精神科病院の被災状況について
神経科浜松病院／DPAT事務局／藤田医科大学 精神神経学講座 福生 泰久
- 3-P8-4 新型コロナ禍の救急活動に関わるストレス対策と今後の課題：
コロナ禍における救急隊員のストレス（17）
名城大学 畑中 美穂
- 3-P8-5 令和6年能登半島地震におけるDMAT看護師のセルフケアに関する研究
東京医療保健大学立川看護学部 看護学科 櫻井 敬子
- 3-P8-6 災害支援者のメンタルヘルスに関わる
ソーシャルサポートについてのインタビュー調査【第3報】
東洋大学大学院ライフデザイン学研究所 博士後期課程 山本建太郎
- 3-P8-7 令和6年能登半島地震に対する三重県内のDMAT隊員を対象とした
メンタルヘルスに関するアンケート調査
三重大学医学部 医学科 森 誠人
- 3-P8-8 COVID-19禍における災害派遣医療チームの
メンタルヘルス支援に関する文献レビュー
筑波大学医学医療系 山下美智代

■ポスター3-9

3日目 (3月21日) 13:10～14:10

ポスター会場 (展示ホール)

「本部運営」を科学する

座長 安部 史生 (神戸赤十字病院検査部)
森崎 善久 (武蔵野総合病院)

3-P9-1 DMAT事務局本部内ドクターヘリ支援本部設置の試み
ー令和7年度大規模地震訓練の経験からー

兵庫県立加古川医療センター 宮崎 大

3-P9-2 CSCAを強調して訓練災害対策本部に医療のテーブルを
～十勝岳噴火防災訓練での試み～

浦河赤十字病院 大友 元

3-P9-3 大雨で思いがけず浸水した病棟から入院患者を垂直避難させた事例における
災害対策本部の有用性

川崎市立井田病院 災害時医療等委員会 DMAT部会 下澤 信彦

3-P9-4 本部活動における情報伝達記録データ運用の有用性について

大阪赤十字病院 天野 順子

3-P9-5 夜間・休日の災害対応力向上への取り組み
～視覚的教材を活用した共通理解の促進～

徳島赤十字病院 谷澤 俊亮

3-P9-6 「本部のイメージ動画」を活用した新EMIS入力研修

大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 横野 良典

3-P9-7 本部活動における安定したWi-Fi環境の構築

福島赤十字病院事務部 三浦 有樹

3-P9-8 演題取下

■ポスター3-10

3日目 (3月21日) 13:10～14:10

ポスター会場 (展示ホール)

「地域と防災」を科学する 2

座長 岡本 博之 (手稲仁会病院 救命救急センター)
富尾 淳 (国立保健医療科学院 健康危機管理研究部)

3-P10-1 体験型防災教育が促す主体的な学び
ー親子で学ぶ「災害」にみる行動変容の可能性ー

大阪赤十字病院 三浦 知絢

3-P10-2 メディカルラリーへの参加が高校生の進路・職業選択に与える影響 (第一報)

三重大学医学部附属病院 看護部 森川 寛之

3-P10-3 透析患者の災害意識を高める取り組み ～患者参加型訓練の実践と評価～

医療法人清明会 やよいがおか鹿毛病院 城野 弥生

- 3-P10-4 離島の「【地域らしさ】を守る災害保健活動」研修開発
国立保健医療科学院生涯健康研究部、丸谷 美紀
- 3-P10-5 減災カードゲームを活用した水防避難訓練
松山赤十字病院 吉岡 雄一
- 3-P10-6 常駐医師不在の離島における住民主体の防災教育モデル構築の試み
鹿児島赤十字病院 平田 悠哉
- 3-P10-7 災害医療におけるトリアージ実施者の法的保護：アメリカの法制度の分析
森・濱田松本法律事務所 南谷 健太

■ポスター3-11

3日目 (3月21日) 13:10～14:10

ポスター会場 (展示ホール)

「DMAT」を科学する

座長 畑 倫明 (米盛病院 消化器外科)
室野井智博 (島根大学医学部附属病院 災害医療危機管理センター)

- 3-P11-1 院内災害対応力を高めるDMATの役割ー協働型訓練の実践から
高崎総合医療センター 岡崎 直子
- 3-P11-2 指定外医療機関で勤務するDMAT隊員が果たす役割
(受援側の立場として) <第2報>
一般財団法人永頼会 松山市民病院 救急科 小田原一哉
- 3-P11-3 長時間の東京DMAT活動における看護師の課題
日本医科大学付属病院 高度救命救急センター 池田 慎人
- 3-P11-4 院内DMAT事務局としての院内DMAT隊員への継続教育に関する取り組み
りんくう総合医療センター危機管理室/りんくう総合医療センター看護局初療手術室 西村 直子
- 3-P11-5 当院業務調整員の東京DMAT出場機会の確保に向けた輪番制構築の検討
東京医科大学病院 救命救急センター 吉田 成孝
- 3-P11-6 DMAT継続教育の体制整備
～隊員の受講歴の見える化と能力向上への取り組み～
独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター 八木 美穂
- 3-P11-7 院内新規DMAT隊員向けシミュレーション型教育の実践報告
地方独立行政法人都立病院機構 東京都立広尾病院 青木 翔
- 3-P11-8 院内災害対策チームを活用したDMAT隊員養成研修の推薦者決定方法について
関東労災病院 矢尾 淳

■ポスター3-12

3日目 (3月21日) 13:10～14:10

ポスター会場 (展示ホール)

「国際災害支援」を科学する

座長 江津 繁 (独立行政法人国立病院機構 埼玉病院)
瀬戸 弘和 (伊東市民病院 薬剤室)

- 3-P12-1 ミャンマー中部で発生した地震被害における
国際緊急援助隊2次隊臨床検査部門での活動報告と課題
岡崎市保健所 生活衛生課 佐藤 千歳
- 3-P12-2 暑熱環境下における診療活動の調整と看護実践：
ミャンマー地震対応にみるJDR医療チームと他国EMTの比較
広島大学大学院/東京科学大学病院/国際緊急援助隊医療チーム 高村 ゆ希
- 3-P12-3 国際危機下の医療搬送（MEDEVAC）体制整備と今後の展望
－PCPM国際会議とWHO新ガイダンスを踏まえて－
国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局 豊國 義樹
- 3-P12-4 ミャンマー地震緊急救援における赤十字看護師の活動と長期的支援への取り組み
日本赤十字社 大阪赤十字病院 藤原 真由
- 3-P12-5 ネパールにおける干ばつ支援計画の立ち上げ経験とコーディネーションの重要性
大阪赤十字病院 薬剤部/大阪赤十字病院 国際医療救援部 仲里泰太郎
- 3-P12-6 国際緊急援助隊医療チームにおける診療放射線技師の役割と課題
独立行政法人国立病院機構 災害医療センター 中央放射線部 三好 貴裕
- 3-P12-7 戦傷医学の最新トピックについて
防衛医科大学校病院 外傷・熱傷・事應對処医療センター/
防衛医科大学 防衛医学研究センター 外傷研究部門 霧生 信明

■ポスター3-13

3日目（3月21日）13:10～14:10

ポスター会場（展示ホール）

「多数傷病者/局地災害」を科学する

座長 鷗澤 佑（神戸大学大学院医学研究科 外科系講座 災害・救急医学分野）
藤塚 健次（前橋赤十字病院 集中治療科・救急科）

- 3-P13-1 地下鉄工事現場で発生した集団CO中毒
聖路加国際病院 救急科・救急救命センター 飯田 英希
- 3-P13-2 一酸化炭素中毒による多数傷病者事案でのトリアージの一例
日本医科大学付属病院 高度救命救急センター 高橋 聡子
- 3-P13-3 催涙スプレーによる小児外因性多数傷病者事案におけるドクターカー/
消防と院内の連携
済生会滋賀県病院 救急集中治療科 奥村 能城
- 3-P13-4 多数の蜂刺症患者発生事案における東京DMATの活動と
当院における受け入れ体制の報告
市立青梅総合医療センター 救命救急センター 原田 巽矢
- 3-P13-5 僻地病院での多数傷病者対応
海陽町国民健康保険海南病院 國永 直樹
- 3-P13-6 報告1「高速道での多数傷病者発生事案」検討会について
徳島県保健福祉部 高井 雅行

3-P13-7 報告2「高速道での多数傷病者発生事案」における
県医療調整本部の設置・運営について

徳島県保健福祉部 鎌村 好孝

3-P13-8 多数傷病者受け入れ訓練の課題と考察

京都府立医科大学附属病院 看護部 上辻 杏

■ポスター3-14

3日目(3月21日)13:10~14:10

ポスター会場(展示ホール)

「災害訓練」を科学する3

座長 酒井 智彦(大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター)
杉田 学(順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科)

3-P14-1 医療福祉関係者と災害中間支援組織の合同研修の提案

健生会土庫病院 中尾 武

3-P14-2 内閣府訓練への道 その1 ー津波初動のリアルを語ろうー

市立室蘭総合病院 下館 勇樹

3-P14-3 内閣府訓練への道 その2 ー現実を重視した想定でー

市立室蘭総合病院 下館 勇樹

3-P14-4 兵庫県西播磨地域における保健所職員によるDHCoS訓練

神戸常盤大学 味木和喜子

3-P14-5 被災病院で描くDMAT×DPAT協働の可能性
～令和7年度大規模地震時医療活動訓練を通じて～

市立大津市民病院 吉田 修

3-P14-6 大規模地震を想定した、DHEAT,
保健師等チームの応援派遣調整システム訓練の報告

一般財団法人日本公衆衛生協会 健康危機管理支援部 高岡 誠子

3-P14-7 災害拠点病院としての使命ー院内訓練を通じた備えの再構築ー

日本赤十字社和歌山医療センター 災害医療救援センター 大谷 香織

3-P14-8 令和7年度大規模地震時医療活動訓練参加における
青森県庁内での日臨技リエゾンとしての経験について

八戸市立市民病院 救命救急センター 奥沢 悦子

■ポスター3-15

3日目(3月21日)13:10~14:10

ポスター会場(展示ホール)

「災害訓練」を科学する4

座長 町田 浩志(国立病院機構 高崎総合医療センター 救急科)
松岡 良太(まつおか内科循環器クリニック)

3-P15-1 救命救急病棟における災害訓練の効果と課題
ートリアージシートの導入・患者情報収集シートの改善ー

聖隷浜松病院 竹村昭一郎

- 3-P15-2 ウェアラブルカメラを用いた薬剤師への災害対応訓練の振り返りと課題抽出
三重大学医学部附属病院 薬剤部 田坂 健
- 3-P15-3 手術室における災害時初期対応標準化への取り組み
ーアクションカードと被害状況報告書を用いた机上訓練の実践ー
JCHO東京山手メディカルセンター 竹内希実華
- 3-P15-4 救命救急センター病棟の看護師に対する、
南海トラフ地震を想定した緊急地震速報発表から発災超急性期の机上演習の試み。
高知赤十字病院 麻酔・集中治療部 山崎 浩史
- 3-P15-5 局地災害における多数傷病者受け入れを想定した机上訓練の取り組みと課題
筑波メディカルセンター病院 救急診療科 前田 道宏
- 3-P15-6 災害訓練におけるトリアージ教育の工夫
川崎市立多摩病院/聖マリアンナ医科大学 救急医学 野村 悠
- 3-P15-7 放射線科における初期災害対応を標準化するための訓練ツールの開発と評価
社会医療法人宏潤会 大同病院 村田 昌也
- 3-P15-8 リハビリテーション技術科における
災害対応能力向上を目的とした教育的介入と効果
磐田市立総合病院 寺田 僚介

■ポスター3-16

3日目 (3月21日) 13:10~14:10

ポスター会場 (展示ホール)

「支援と体制の構築」を科学する 2

座長 野中 良恵 (厚生労働省大臣官房厚生科学課 災害等危機管理対策室)
山崎 元靖 (神奈川県健康医療局)

- 3-P16-1 令和7年度大規模地震時医療活動訓練における青森県の医療訓練企画
弘前大学災害・被災く医療教育センター、辻口 貴清
- 3-P16-2 演題取下
- 3-P16-3 演題取下
- 3-P16-4 小児・周産期医療が地域の災害訓練にコラボレーションするために
前橋赤十字病院 集中治療科・救急科 中林 洋介
- 3-P16-5 防災の心理的ハードルを下げるにはー備蓄おやつの選択行動からの考察
北見赤十字病院 谷口 治
- 3-P16-6 災害支援者の携行食の実態調査に関する研究
兵庫県栄養士会 濱田 真里
- 3-P16-7 広域災害における初動支援遅延を見据えた家庭の非常食備蓄状況：
全国世帯調査に基づく横断解析
徳島大学大学院医歯薬学研究部 疾患病理学分野 清水真祐子

3-P16-8 全国世帯調査に基づく災害食備蓄行動の関連因子：
社会経済・居住・災害経験要因に着目した横断解析

徳島大学大学院医歯薬学研究所 予防医学分野 渡邊 毅

■ポスター3-17

3日目（3月21日）13:10～14:10

ポスター会場（展示ホール）

「学生活動」を科学する2

座長 奥山 純子（尚綱学院大学 健康栄養学類）
齋藤 博則（岡山赤十字病院 医療社会事業部）

3-P17-1 医療系学生団体による災害医療の学習・啓発活動の報告

国際医療福祉大学 田村 晃子

3-P17-2 “もしも”を“じぶんごと”に変える
学生による避難所運営体験から見えた意識の変化

滋賀医科大学 大坪 琉奈

3-P17-3 立場を変えて関わり続ける医系学生災害医療ロジスティクス演習

長崎大学医学部 医学科 下野 舞花

3-P17-4 学生団体千葉EggMATの立ち上げ報告と今後の展望

千葉県立保健医療大学健康科学部 看護学科 田中寿莉亜

3-P17-5 体験が育む当事者意識—多大学合同体験型防災教育の効果検証

岡山大学医学部 保健学科 看護学専攻/岡山大学災害支援学生チーム「Aegis(エイジス)」 中務 美遥

3-P17-6 離島医療を想定した災害ロジスティクス演習における
多職種連携教育に対するチューター介入の役割

福岡大学薬学部 健康危機管理薬学研究室 吉田 奈央

3-P17-7 学生主体によるPOCUS教育活動と災害医療教育への応用

—和歌山県立医科大学K-PICSの取り組み—

和歌山県立医科大学 医学部 医学科 樋上 和真

■ポスター3-18

3日目（3月21日）13:10～14:10

ポスター会場（展示ホール）

「院内災害対策」を科学する4

座長 豊田 泉（岐阜県総合医療センター 救命救急センター）
中村 誠昌（長浜赤十字病院 医療社会事業部）

3-P18-1 防災減災に向けた病院内多職種連携による試み—防災減災リンク活動の始動報告

東京女子医科大学病院 病院災害対策実務部会/東京女子医科大学病院 産婦人科 石川 源

3-P18-2 個人備蓄を始めるきっかけづくり—院内備蓄販売会の取り組み—

地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立多摩総合医療センター 災害対策チーム 梅澤 雄

3-P18-3 職員の災害対策意識向上を図るための体験型学習会

東京都立広尾病院 岡野 美穂

- 3-P18-4 外来で働くスタッフの災害時対応に対する意識調査
金沢医療センター 福間 睦子
- 3-P18-5 職員の個人防災リテラシーの変化—家庭と職場における意識と行動の比較検討—
鹿児島大学病院 救命救急センター・集中治療部 入来 泰久
- 3-P18-6 大学病院外科医を対象とした災害時参集に関する意識調査
千葉大学大学院医学研究院 先端応用外科学 藏田 能裕
- 3-P18-7 当科及び当科病棟の災害意識向上への取り組み
川崎医科大学総合医療センター 赤木 晃久
- 3-P18-8 災害拠点病院新入職員の災害医療に対する意識調査
さぬき市民病院 脳神経外科 笹岡 昇

■ポスター3-19

3日目(3月21日) 13:10～14:10

ポスター会場(展示ホール)

「避難所」を科学する

座長 小倉 憲一(富山県厚生部)
香田 将英(岡山大学学術研究院 医歯薬学域 地域医療共済推進オフィス)

- 3-P19-1 日本の避難所の質向上への課題と展望
～令和6年能登半島地震におけるNPOの実践から～
特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 木下真由香
- 3-P19-2 千葉県印旛および香取保健所管内における
行政職員へ向けた避難所運営ゲーム(HUG)の実施について
日本医科大学千葉北総病院 災害対策室 山内 延貴
- 3-P19-3 日本初のイタリア型避難所支援を参考にした、
横浜市の避難所の広域相互支援の仕組み
避難所・避難生活学会/Jバックス株式会社 水谷 嘉浩
- 3-P19-4 イタリア式避難所開設訓練報告
信州大学医学部附属病院 高山 浩史
- 3-P19-5 看護実習室における演習時の室内空気環境の実態
～災害時避難所における模擬生活行動の視点で検討～
大阪大学医学系研究科 保健学専攻 木戸 倫子
- 3-P19-6 イスラムの文化的尊厳に配慮した避難所運営に関する
自治体の対応とモスクとの連携の実態調査
日本赤十字広島看護大学 高田 洋介